

第2章 調査結果の詳細

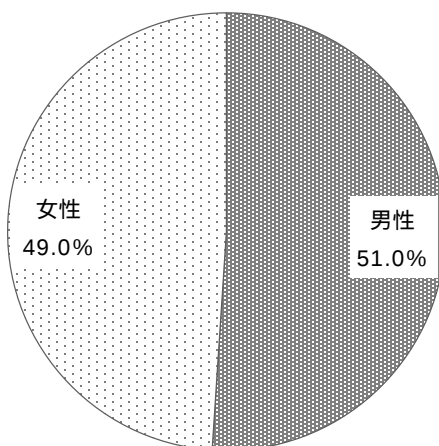
基本属性

1 性別

SQ1.あなたの性別を教えてください。[SA]

図4 7

全体(n=10000)

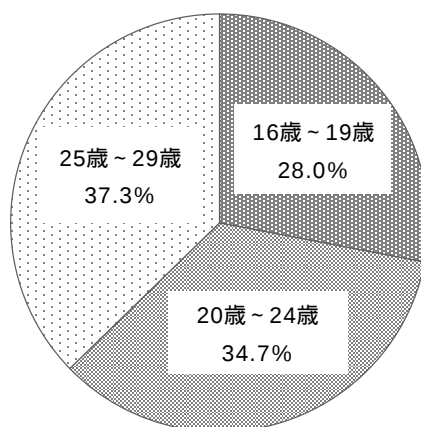


2 年齢

SQ2.あなたの年齢を教えてください。[SA]

図4 8

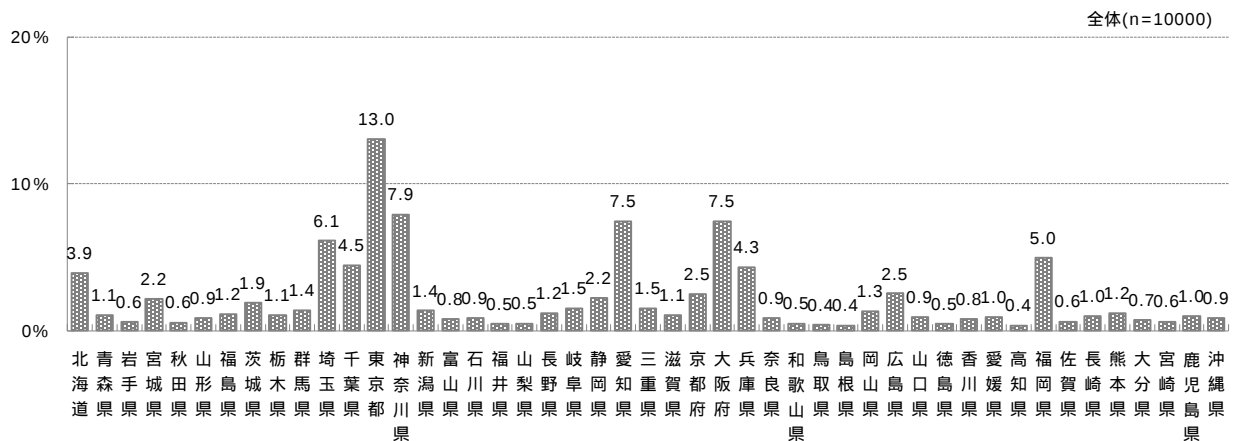
全体(n=10000)



3 居住地

SQ3.あなたのお住まいを教えてください。[SA]

図 4 9



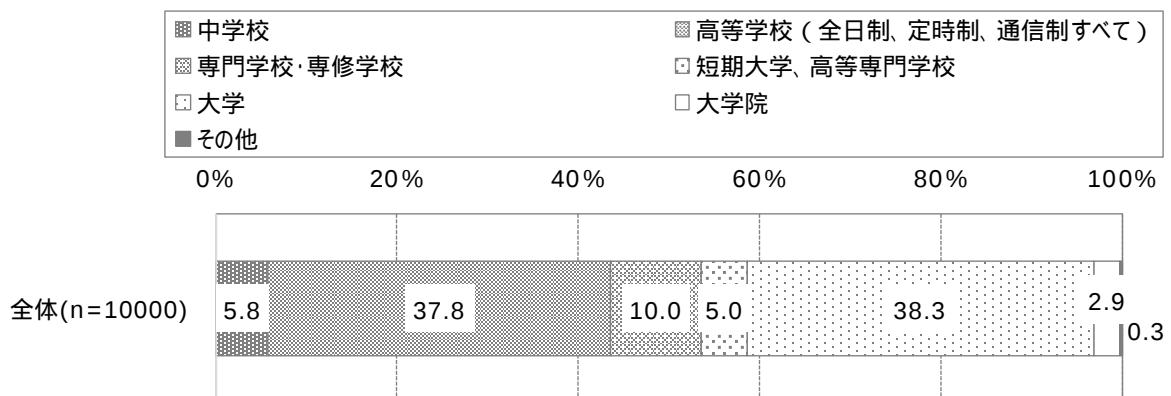
4 最終学歴

SQ4. あなたの最後に卒業した学校を教えてください。

学生の場合、現在在学している学校の種類を教えてください。[SA]

例えば、高校を中途退学した場合、最終学歴は中学校と回答してください。

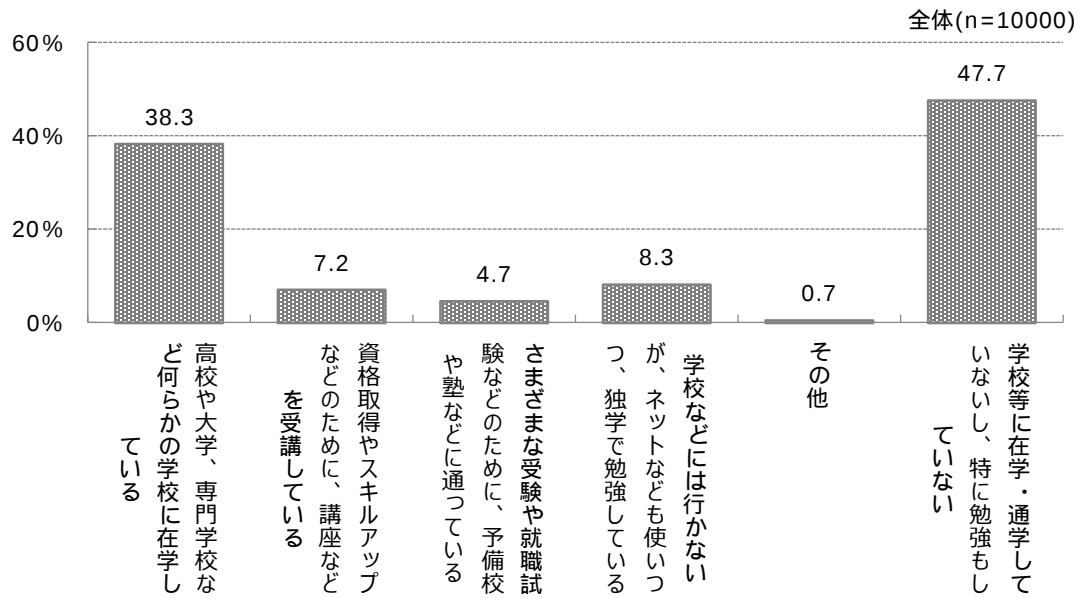
図 5 0



5 就学状況

SQ5. あなたは、現在、学校や予備校などで勉強をしていますか。[MA]

図 5 1

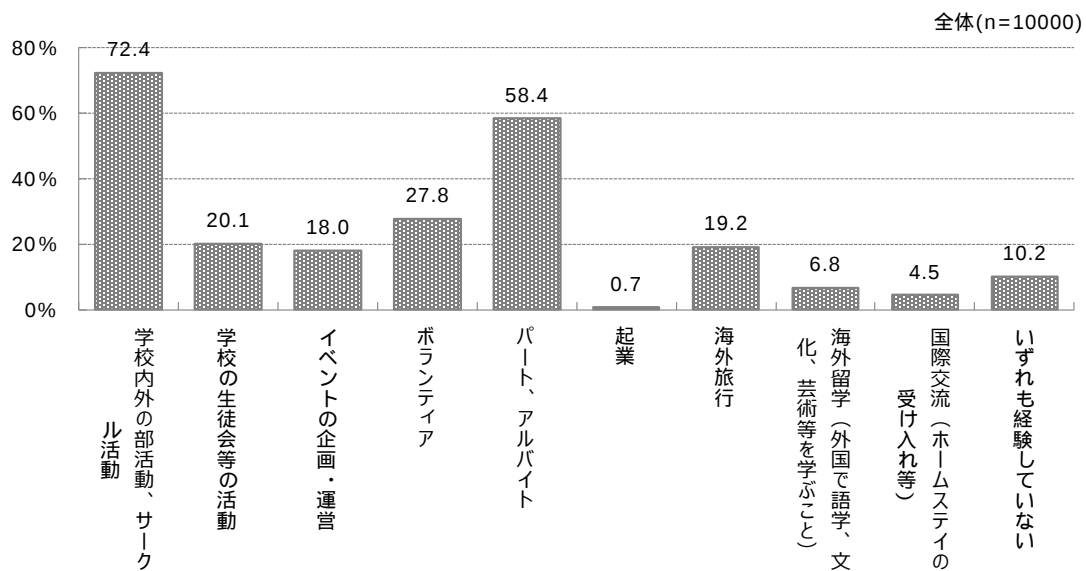


6 学生時代の活動

SQ6. あなたは、学生時代（小学校、中学校、高等学校、大学等に在学したすべての学校の期間）に、次のような活動を経験しましたか。

学生の場合は、今活動していることも含めて教えてください。[MA]

図 5 2

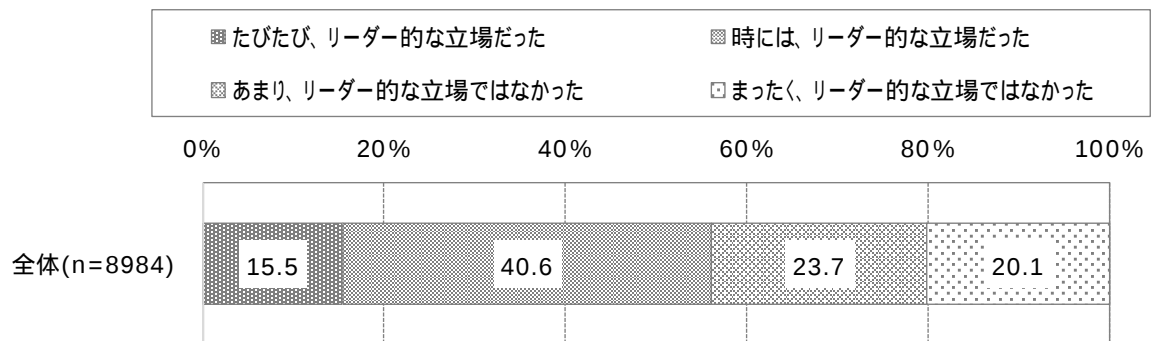


7 リーダー経験

SQ7. 前問で、「学生時代に活動経験がある」と回答した方にお伺いします。

前問で回答した活動で、リーダー的な立場になったことはありますか。[SA]

図 5 3



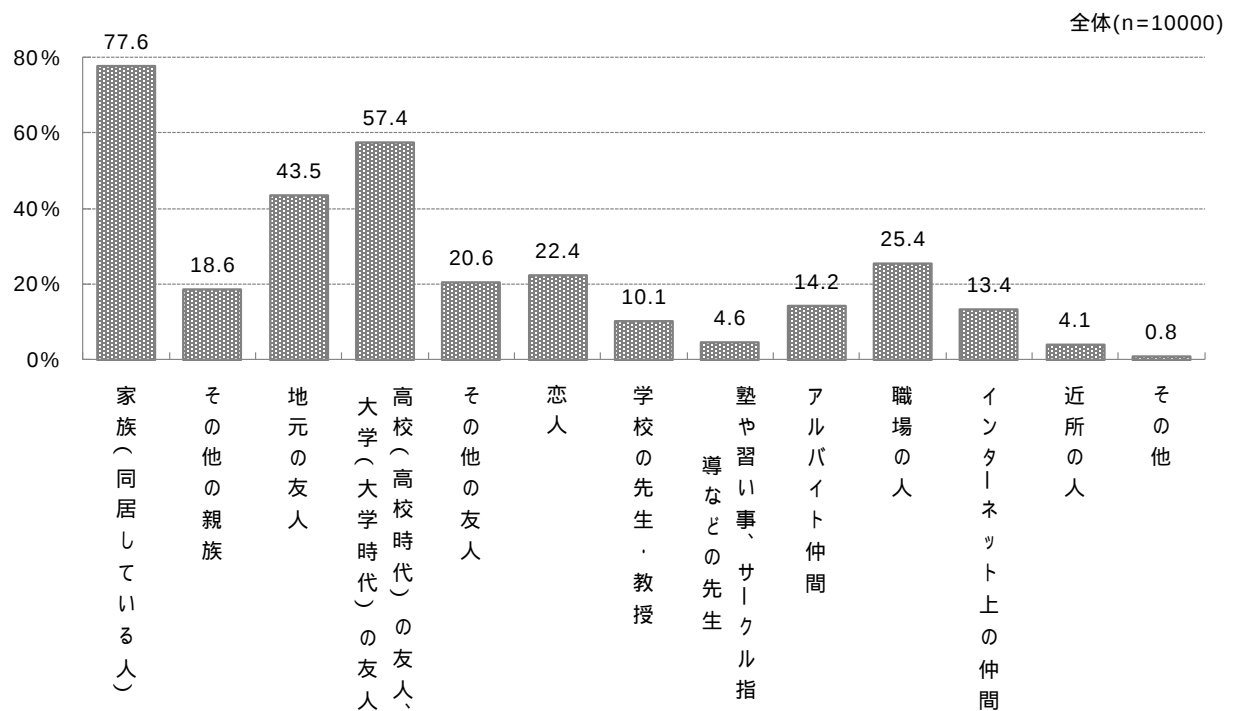
SQ6 で学生時代にいずれかの活動経験がある者のみ回答。

8 普段の接触相手

SQ8. あなたは普段の生活でどのような人と会話やメール等でよくやりとりがありますか。

あてはまる相手を教えてください。[MA]

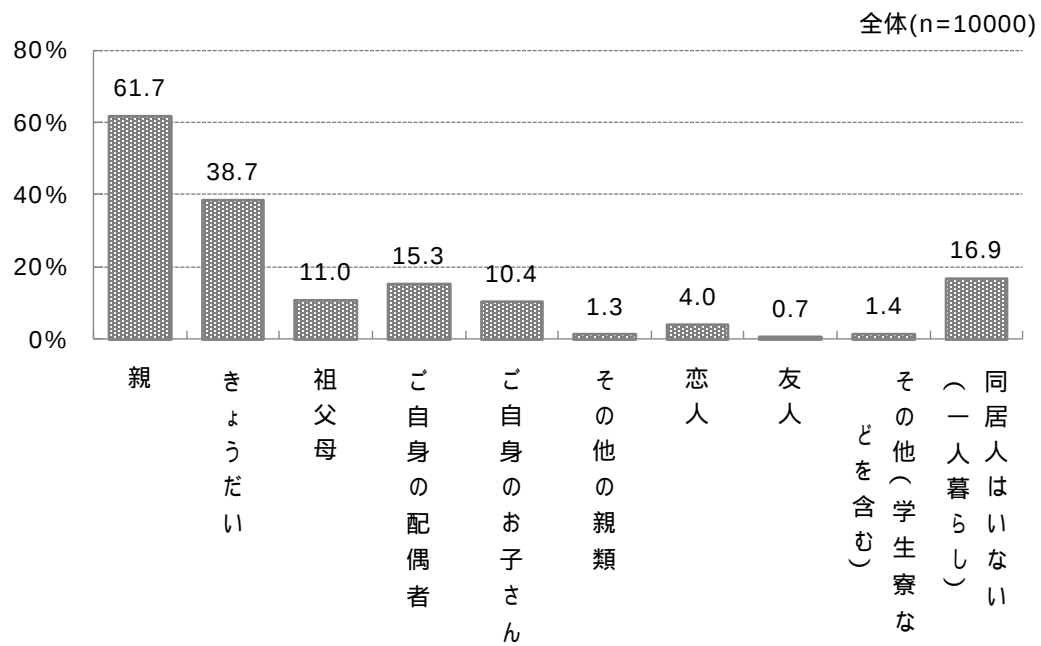
図 5 4



9 同居者

SQ9. あなたが、現在、一緒に住んでいる人を教えてください。[MA]

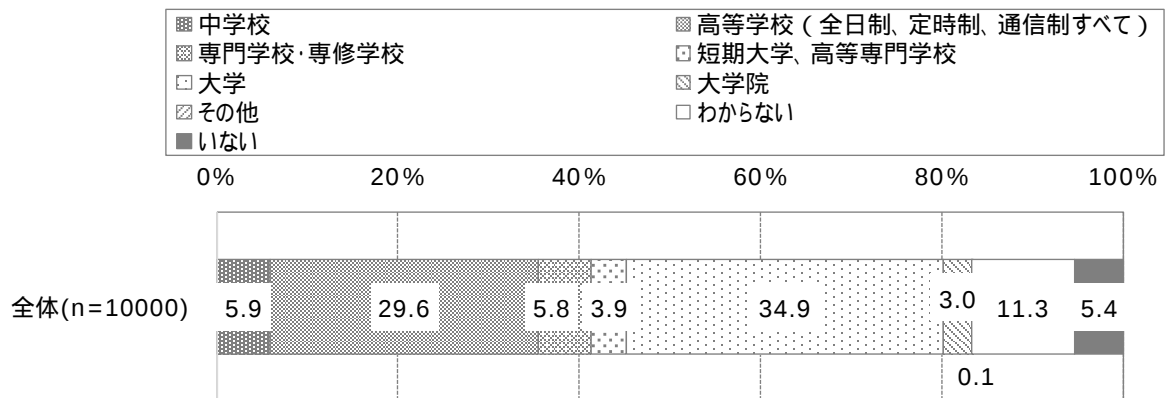
図 5 5



10 親の最終学歴

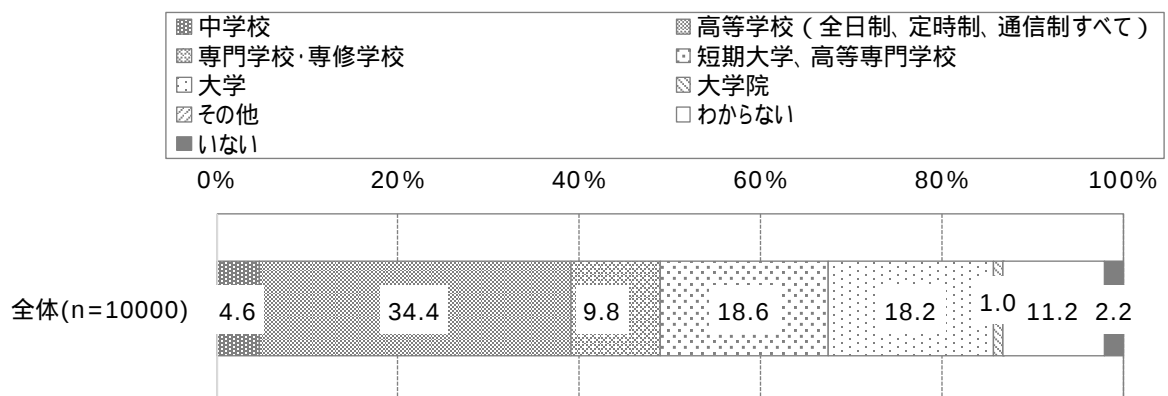
SQ10. あなたの保護者（父親、母親）の最終学歴を教えてください。【父親について】[SA]

図56



SQ10. あなたの保護者（父親、母親）の最終学歴を教えてください。【母親について】[SA]

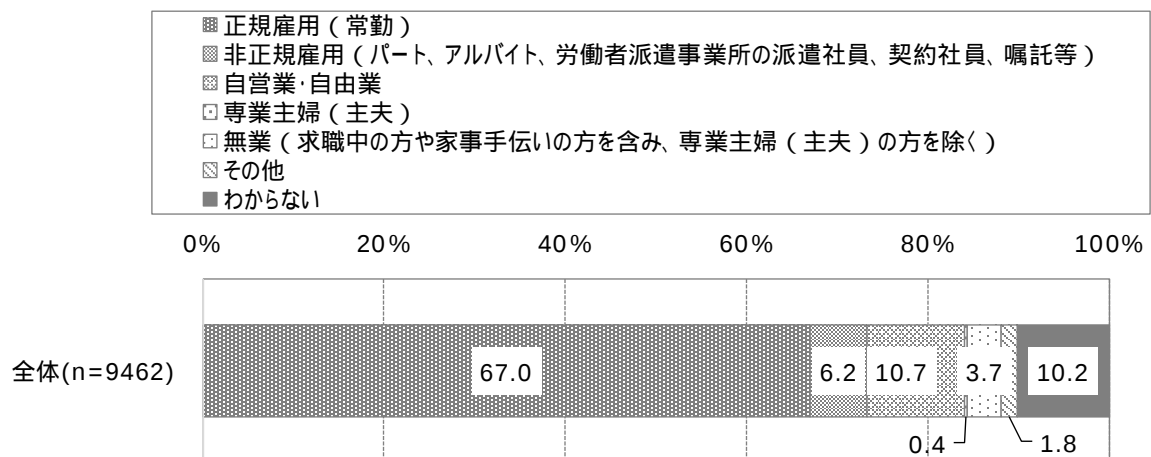
図57



1 1 親の雇用形態

SQ11. あなたの保護者(父親、母親)の現在の雇用形態等を教えてください。【父親について】[SA]

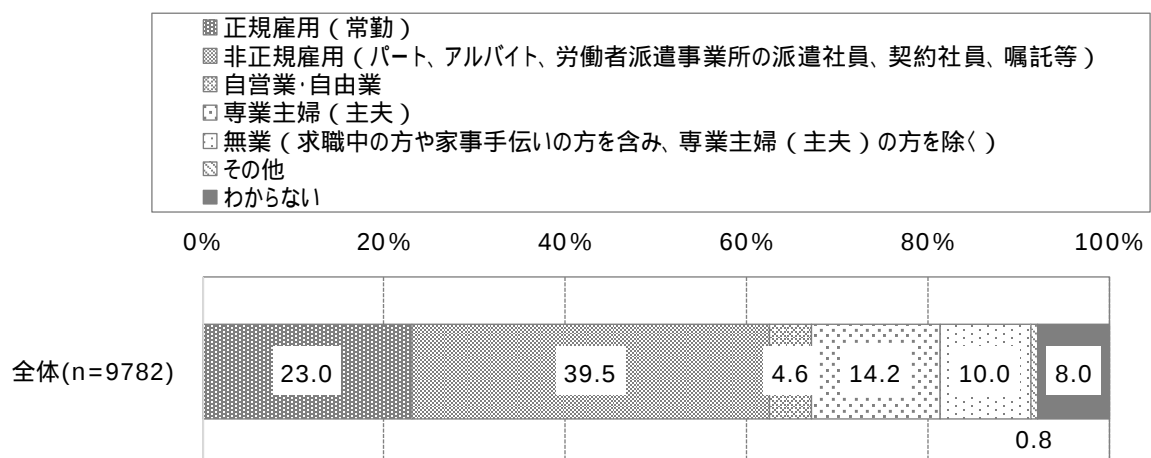
図 5 8



SQ10 で父親がいる者のみ回答。

SQ11. あなたの保護者(父親、母親)の現在の雇用形態等を教えてください。【母親について】[SA]

図 5 9



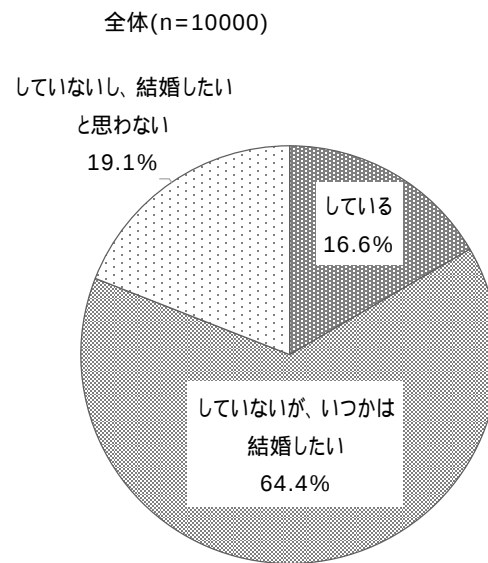
SQ10 で母親がいる者のみ回答。

1 2 婚姻状況

SQ12. あなたは、現在、結婚していますか。

また、結婚していない方は、したいと思いますか。[SA]

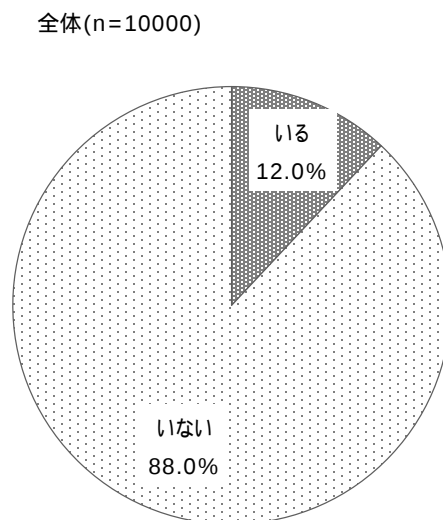
図 6 0



1 3 子供の有無

SQ13. あなたは、現在、子供がいますか。[SA]

図 6 1



■ 子供・若者の現状と意識の調査結果

1 仕事に対する意識

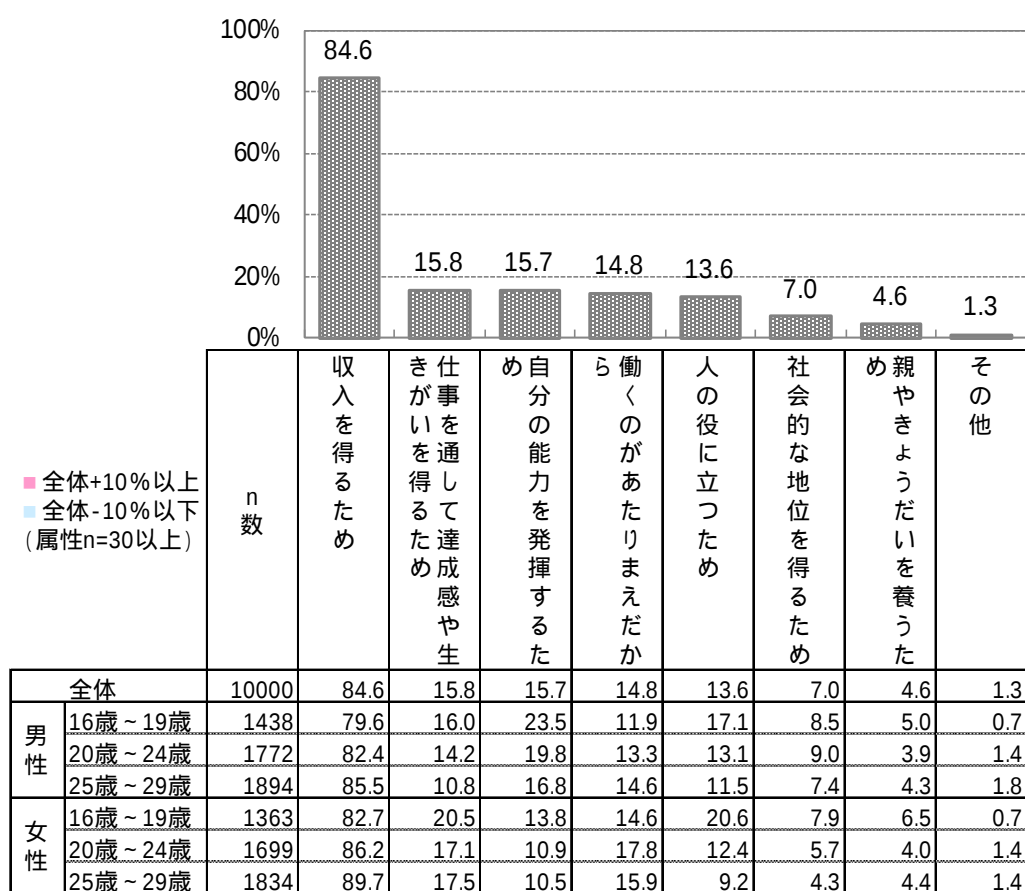
(1) 仕事の目的

Q1. あなたは、主として、何のために仕事をするのですか。(就業していない方は、あなたの仕事に対する考え方をお答えください。)(2つまで複数選択可)[MA]

仕事の目的について全体で最も高いのは、「収入を得るため」(84.6%)。次いで「仕事を通して達成感や生きがいを得るため」(15.8%)、「自分の能力を発揮するため」(15.7%)と続く。

性年齢区分別では、「自分の能力を発揮するため」の回答は、“男性16歳～19歳”に占める割合(23.5%)、「仕事を通して達成感や生きがいを得るため」及び「人の役に立つため」の回答は、“女性16歳～19歳”に占める割合(それぞれ20.5%、20.6%)、「収入を得るため」の回答は、“女性25歳～29歳”に占める割合(89.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

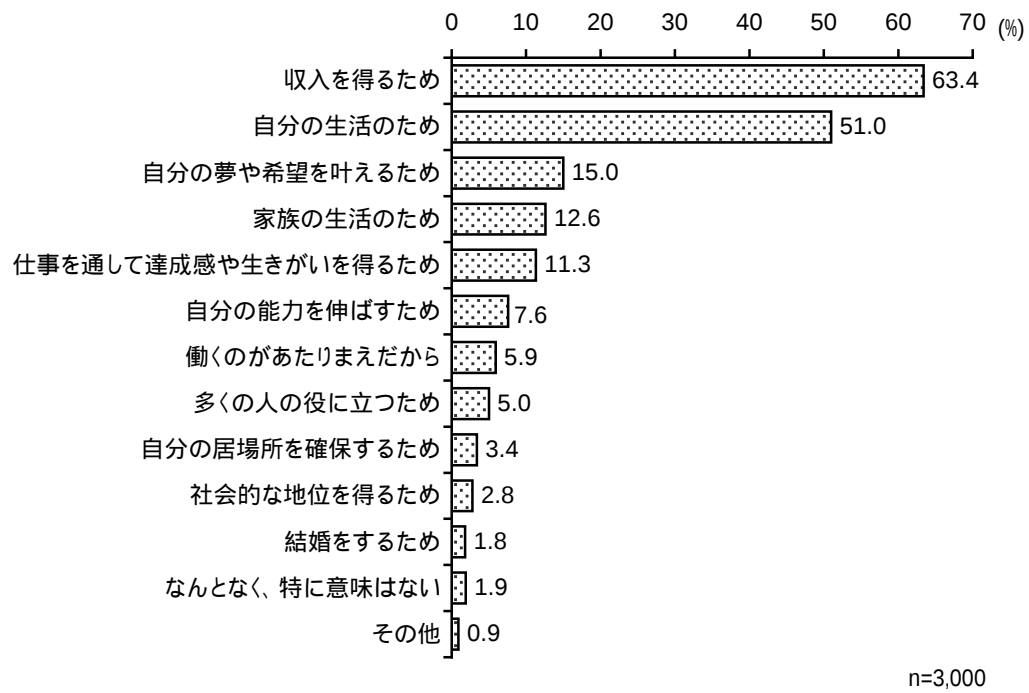
図6 2



<平成 23 年度調査結果>

Q あなたは、主として、何のために仕事をするのですか。(2 つまで選択可)

図 6 3



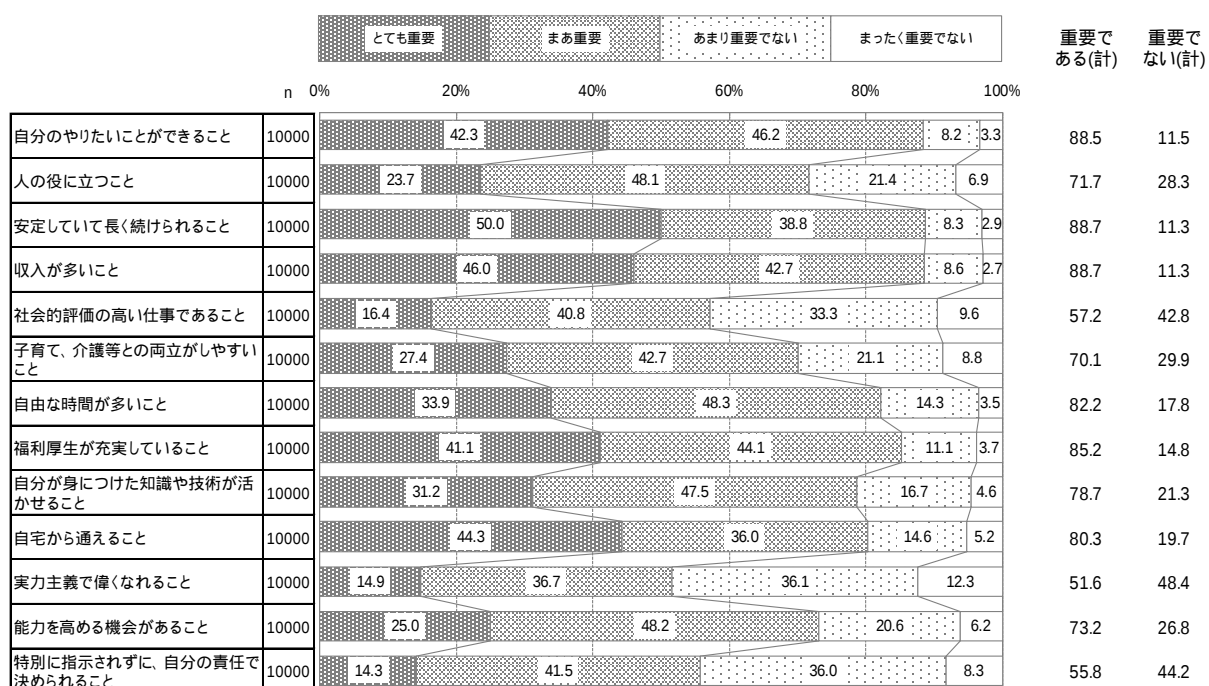
(2) 仕事選択時の重要な観点

Q2. あなたは、仕事を選ぶ際に、以下の観点をどれくらい重要だと思いますか。(就職していない方は、将来の仕事を選ぶ理由についてお答えください)

以下のそれぞれについて、「とても重要」「まあ重要」「あまり重要でない」「まったく重要でない」のうちから1つ選んで答えてください。[SA]

仕事選択時の重要な観点として、「重要である(計)」が最も高いのは、“安定していて長く続けられること”、“収入が多いこと”(88.7%)。次いで“自分のやりたいことができること”(88.5%)、“福利厚生が充実していること”(85.2%)と続く。一方、「重要でない(計)」が最も高いのは、“実力主義で偉くなれること”(48.4%)。次いで“特別に指示されずに、自分の責任で決められること”(44.2%)、“社会的評価の高い仕事であること”(42.8%)と続く。

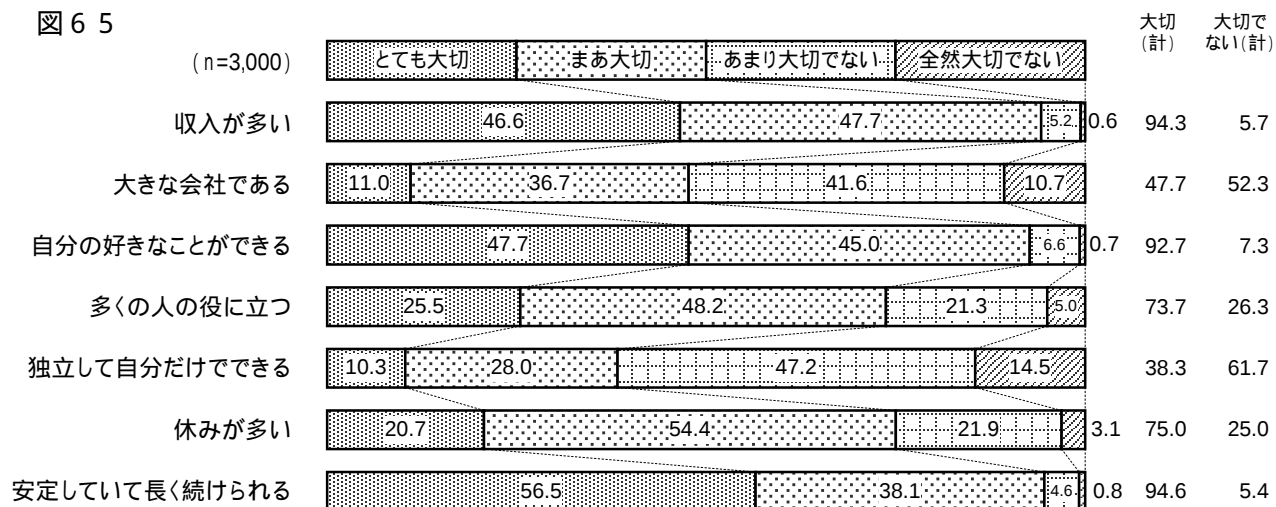
図 6 4



<平成 23 年度調査結果>

Q 仕事を選ぶ理由として何がどれくらい大切ですか。以下のそれぞれについて、 とても大切、
まあ大切、 あまり大切でない、 全然大切でない、 のうちから一つ選んで教えてください。

図 6 5

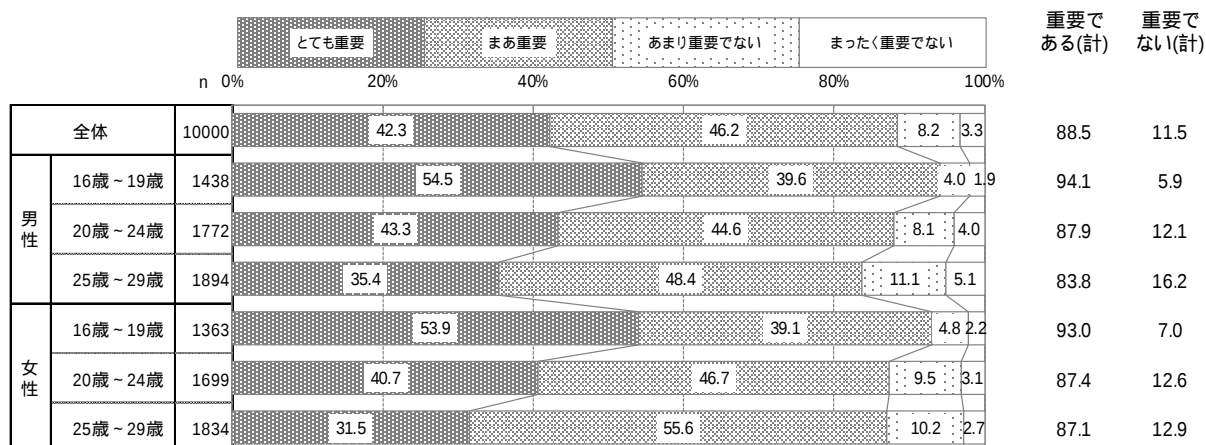


【自分のやりたいことができること】

仕事選択時の重要な観念の【自分のやりたいことができること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(46.2%)。次いで「とても重要」(42.3%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に“16歳～19歳”は「とても重要」が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。また、「まあ重要」の回答は、“女性25歳～29歳”に占める割合(55.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図6 6

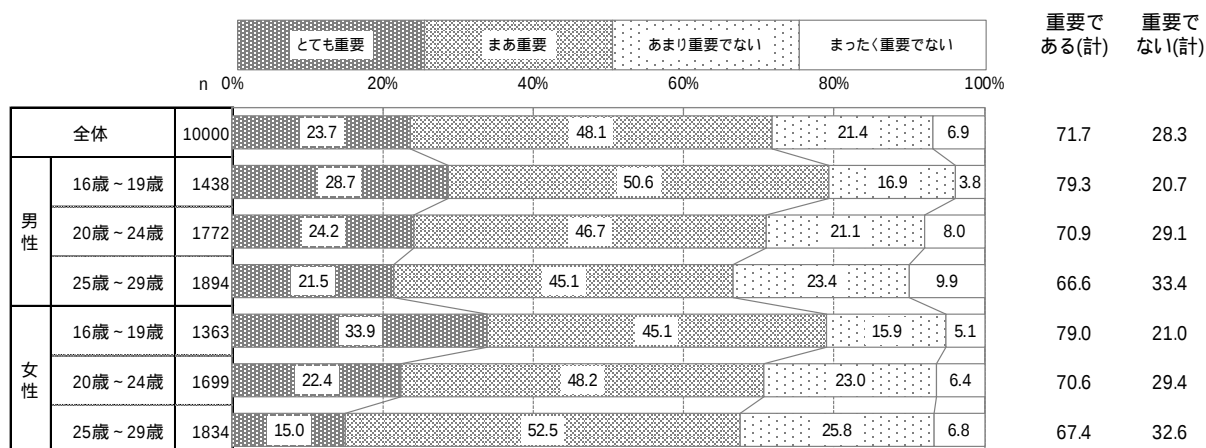


【人の役に立つこと】

仕事選択時の重要な観念の【人の役に立つこと】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(48.1%)。次いで「とても重要」(23.7%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても重要」の回答は、“女性16歳～19歳”に占める割合(33.9%)が最も高い。一方、「まったく重要でない」の回答は、“男性25歳～29歳”に占める割合(9.9%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図6 7

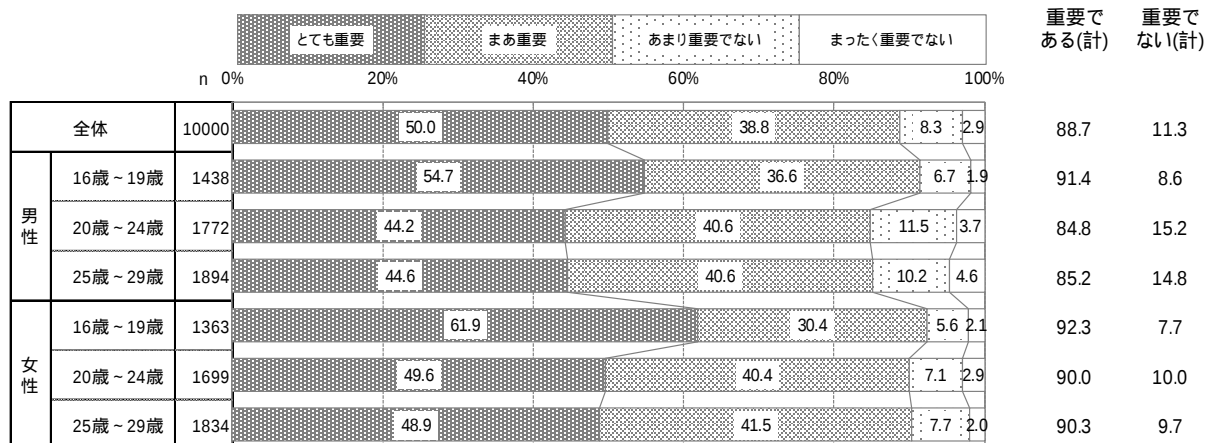


【安定していて長く続けられること】

仕事選択時の重要な観点の【安定していて長く続けられること】について全体で最も高いのは、「とても重要」(50.0%)。次いで「まあ重要」(38.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、“女性 16 歳～19 歳”は「とても重要」(61.9%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 6 8

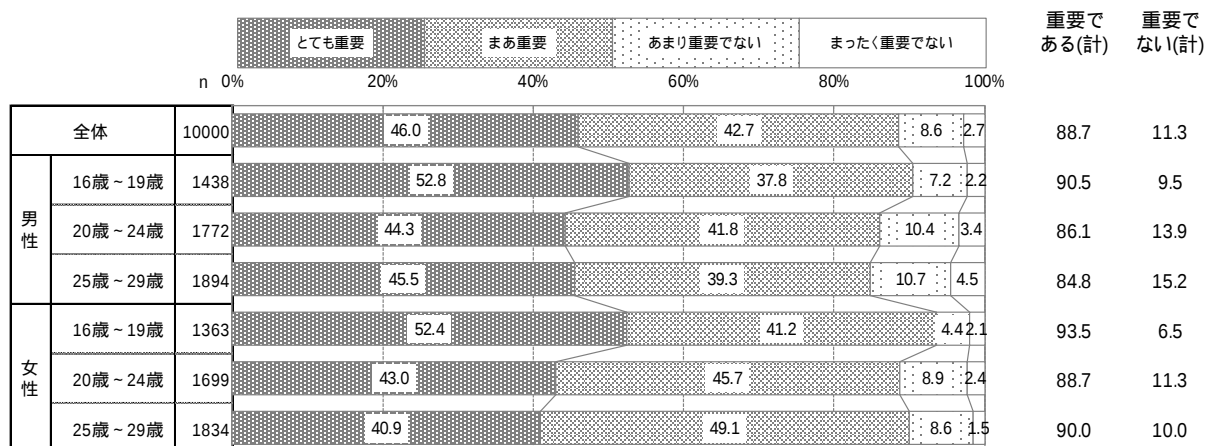


【収入が多いこと】

仕事選択時の重要な観点の【収入が多いこと】について全体で最も高いのは、「とても重要」(46.0%)。次いで「まあ重要」(42.7%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても重要」の回答は男女共に“16 歳～19 歳”に占める割合が高く、また、「まあ重要」の回答は“女性 20 歳～24 歳”及び“女性 25～29 歳”に占める割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 6 9

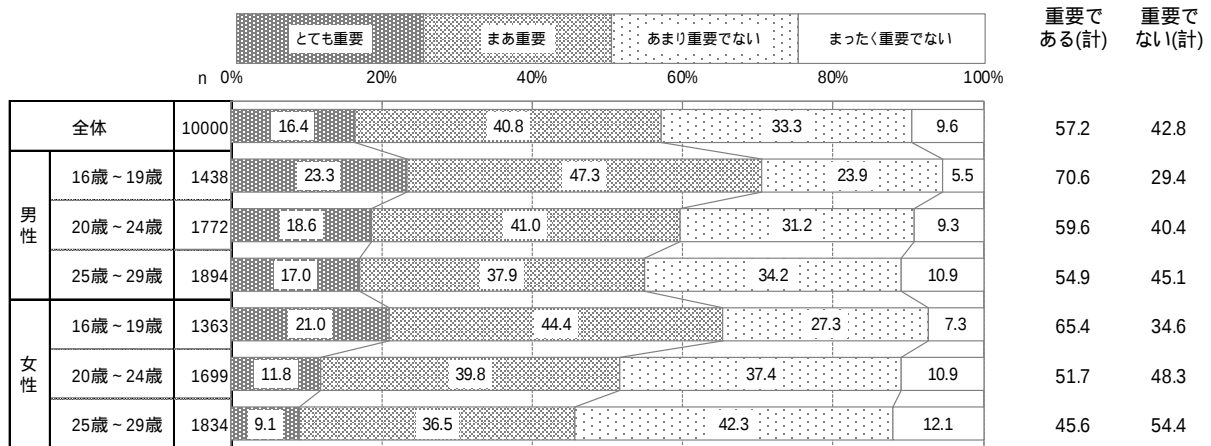


【社会的評価の高い仕事であること】

仕事選択時の重要な観点の【社会的評価の高い仕事であること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(40.8%)。次いで「あまり重要でない」(33.3%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に“16歳～19歳”は「重要である(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、“女性25歳～29歳”は「あまり重要でない」(42.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図70

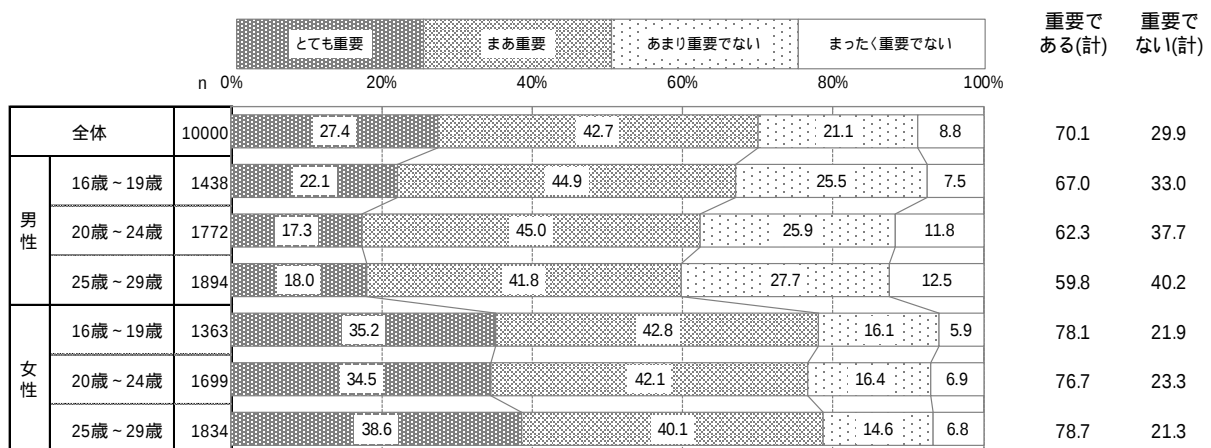


【子育て、介護等との両立がしやすいこと】

仕事選択時の重要な観点の【子育て、介護等との両立がしやすいこと】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(42.7%)。次いで「とても重要」(27.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても重要」の回答は、“女性25歳～29歳”に占める割合(38.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた

図71

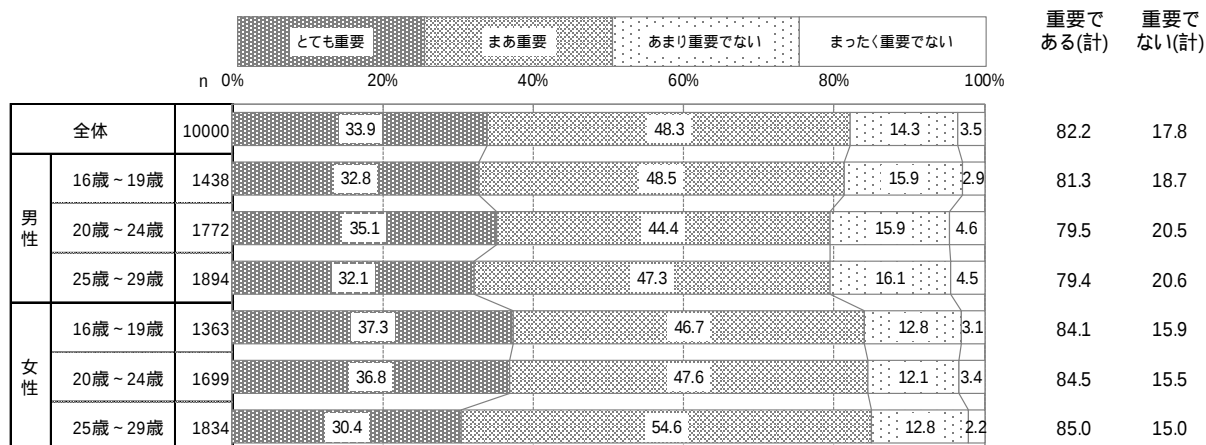


【自由な時間が多いこと】

仕事選択時の重要な観点の【自由な時間が多いこと】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(48.3%)。次いで「とても重要」(33.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあ重要」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(54.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 7 2

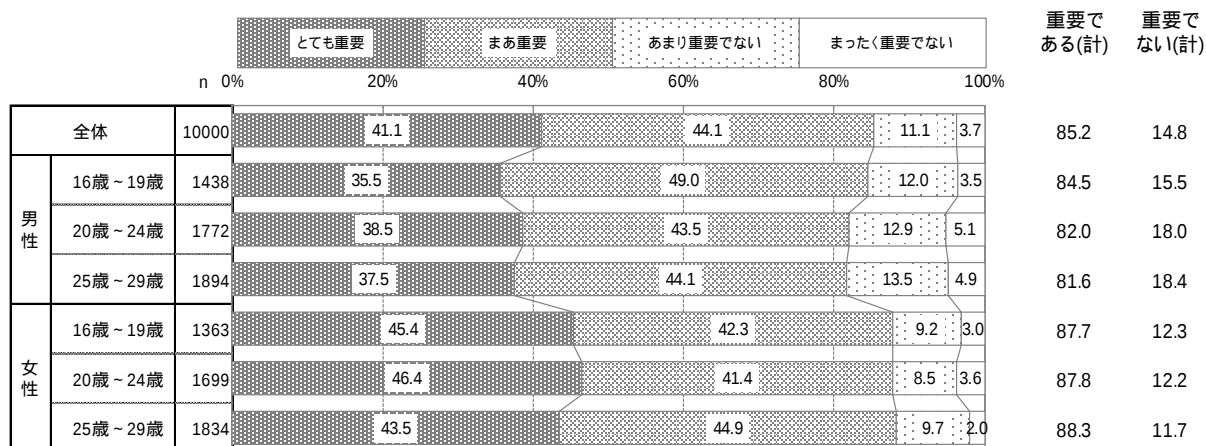


【福利厚生が充実していること】

仕事選択時の重要な観点の【福利厚生が充実していること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(44.1%)。次いで「とても重要」(41.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあ重要」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(49.0%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 7 3

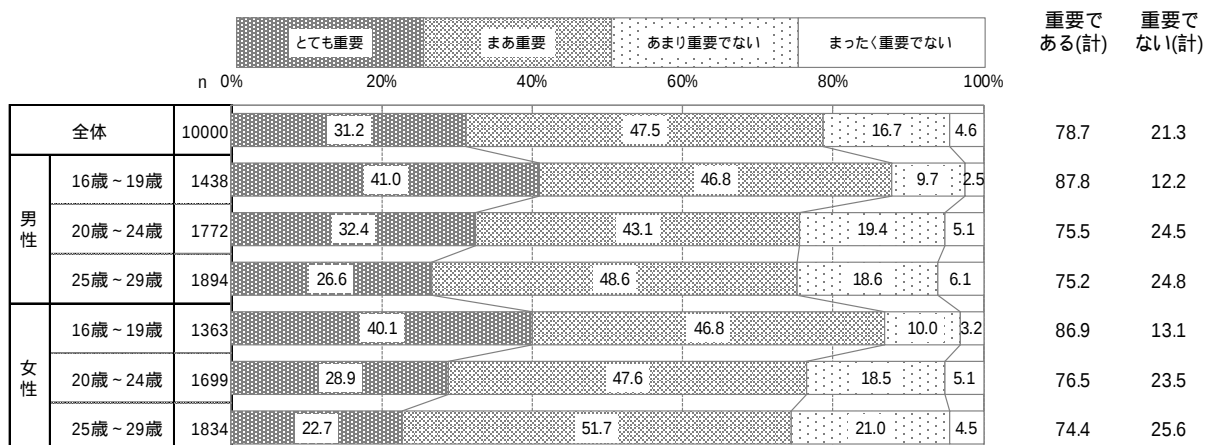


【自分が身につけた知識や技術が活かせること】

仕事選択時の重要な観点の【自分が身につけた知識や技術が活かせること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(47.5%)。次いで「とても重要」(31.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても重要」の回答は男女共に“16歳～19歳”に占める割合が高く、また、「まあ重要」の回答は“女性25歳～29歳”に占める割合(51.7%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図74

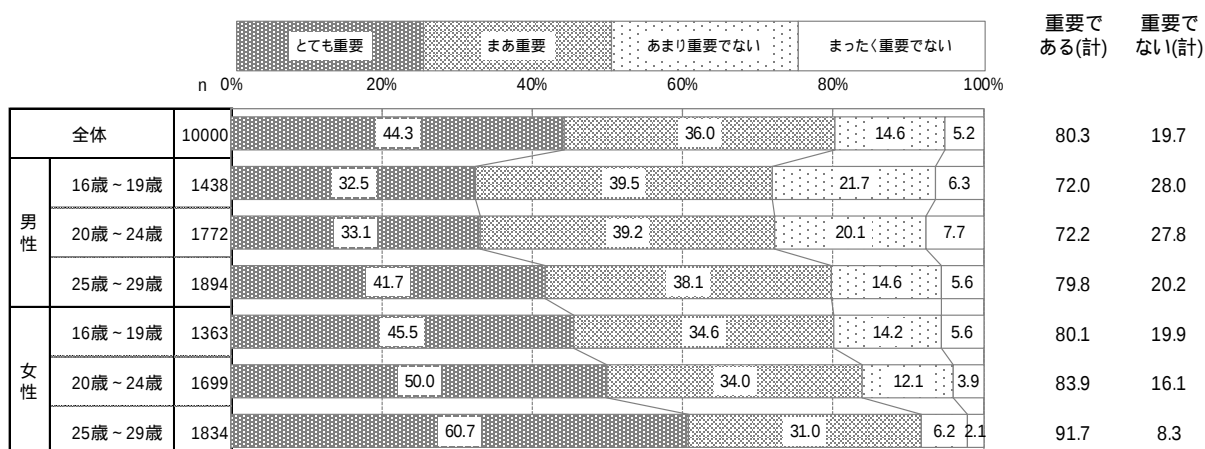


【自宅から通えること】

仕事選択時の重要な観点の【自宅から通えること】について全体で最も高いのは、「とても重要」(44.3%)。次いで「まあ重要」(36.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、女性は全年齢層で「とても重要」の割合が全体に比べ高い。特に“女性25歳～29歳”の「とても重要」(60.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。一方、“男性16歳～19歳”、“男性20歳～24歳”は「重要ではない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図75

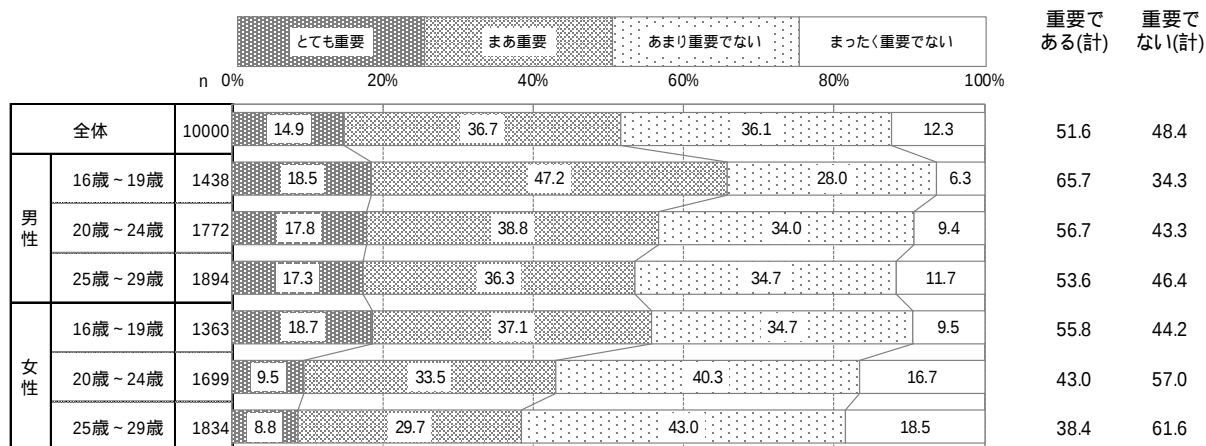


【実力主義で偉くなれること】

仕事選択時の重要な観点の【実力主義で偉くなれること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(36.7%)。次いで「あまり重要でない」(36.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあ重要」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(47.2%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。一方、“女性 20 歳～24 歳”、“女性 25 歳～29 歳”は「重要でない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 7 6

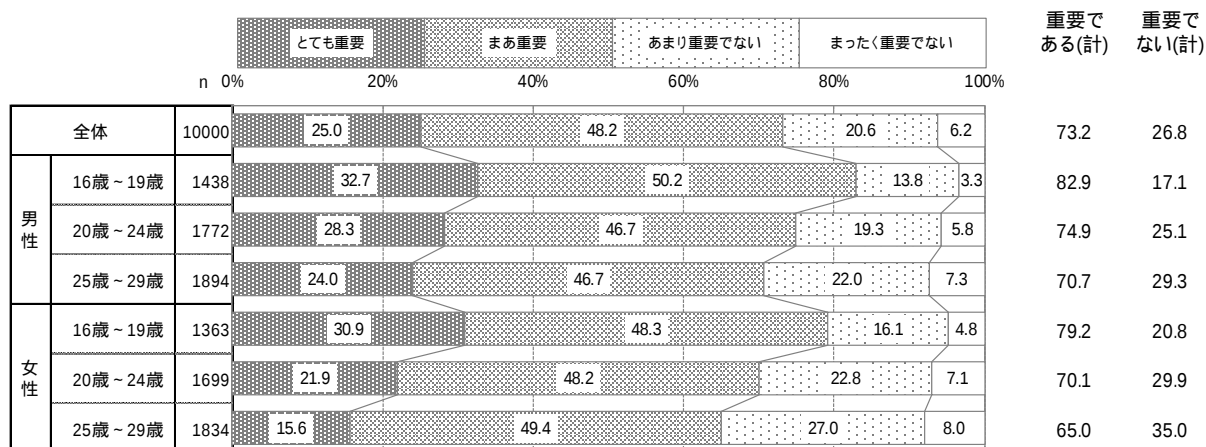


【能力を高める機会があること】

仕事選択時の重要な観点の【能力を高める機会があること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(48.2%)。次いで「とても重要」(25.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても重要」の回答は男女共に“16 歳～19 歳”に占める割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「あまり重要でない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(27.0%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 7 7

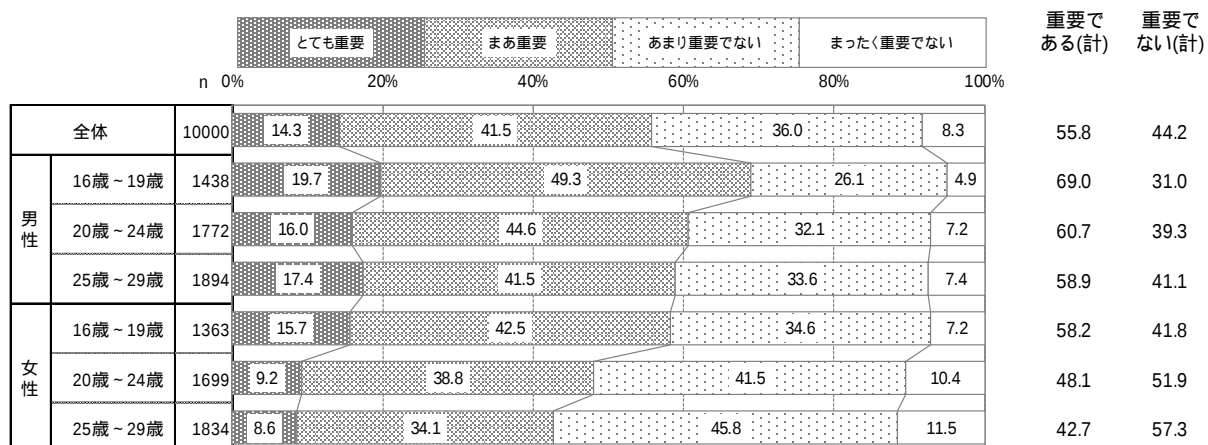


【特別に指示されずに、自分の責任で決められること】

仕事選択時の重要な観点の【特別に指示されずに、自分の責任で決められること】について全体で最も高いのは、「まあ重要」(41.5%)。次いで「あまり重要でない」(36.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、“男性 16 歳～19 歳”は「重要である(計)」(69.0%)が最も高い。一方、“女性 25 歳～29 歳”は「重要ではない(計)」(57.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 7 8



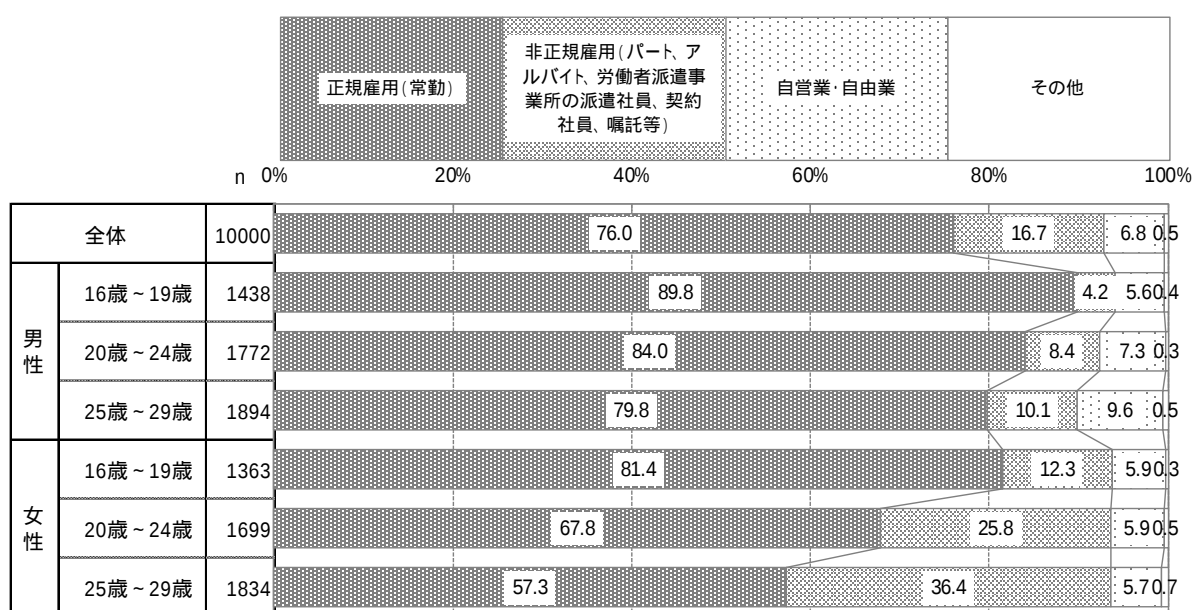
(3) 希望する雇用形態

Q3. あなたが、現在、最も希望する雇用の形態等を教えてください。(就業していない方も、現在就業するとした場合に希望する雇用の形態をお答えください。)[SA]

希望する雇用形態について、全体では「正規雇用(常勤)」(76.0%)が最も高い。次いで「非正規雇用(パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等)」(16.7%)、「自営業・自由業」(6.8%)と続く。

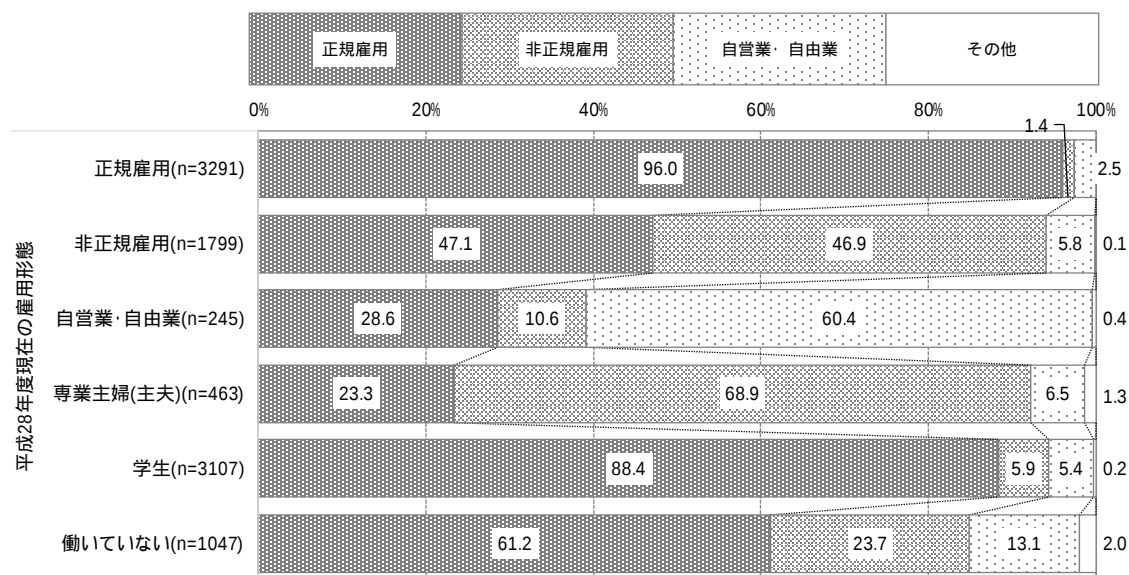
性年齢区分別でみると、「正規雇用(常勤)」の回答は「男性 16歳～19歳」占める割合(89.8%)、「自営業・自由業」の回答は「男性 25歳～29歳」に占める割合(9.6%)、「非正規雇用(パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等)」の回答は「女性 25歳～29歳」に占める割合(36.4%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図79



Q3.の現在の就業別に最も希望する雇用形態を見ると、現在の「正規雇用」者の96.0%、現在の「学生」の88.4%が「正規雇用」を希望すると回答している。また、現在「自営業・自由業」者の60.4%が「自営業・自由業」を希望すると回答し、現在「専業主婦（主夫）」の68.9%が「非正規雇用」を希望すると回答している。

図 8 0



(4) 希望する雇用形態の選択理由

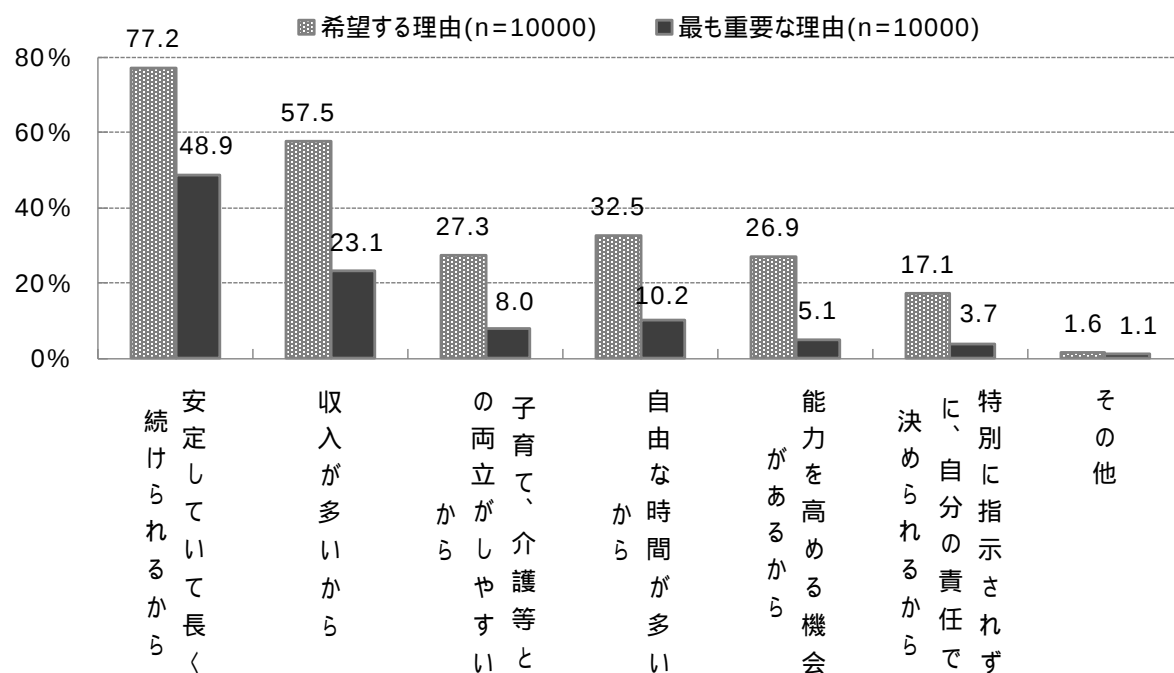
Q4. Q3 で回答した雇用形態等を希望する理由を教えてください。[MA]

そのうち、最も重要な理由は何ですか。[SA]

希望する雇用形態の選択理由(複数選択)について、「安定していて長く続けられるから」(77.2%)が最も高く、次いで「収入が多いから」(57.5%)、「自由な時間が多いから」(32.5%)と続く。

最も重要な理由については、「安定していて長く続けられるから」(48.9%)が最も高く、次いで「収入が多いから」(23.1%)、「自由な時間が多いから」(10.2%)と続く。

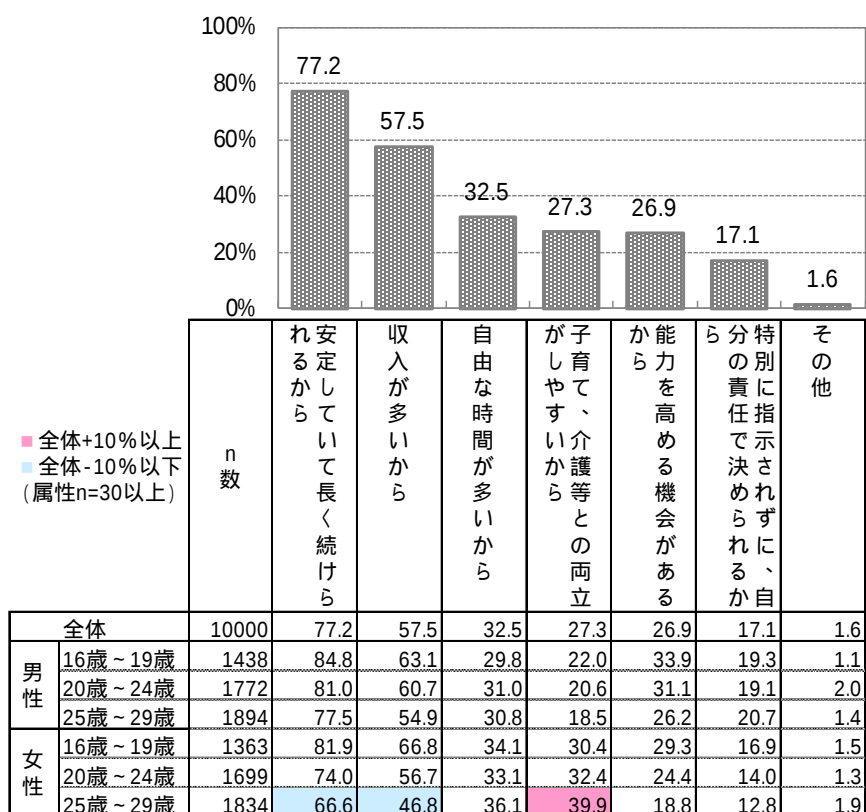
図 8 1



【希望する理由（複数選択）】

希望する雇用形態の選択理由（複数選択）を性年齢区分別でみると、「安定していて長く続けられるから」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(84.8%)、「収入が多いから」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(66.8%)、「子育て、介護等との両立がしやすいから」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(39.9%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

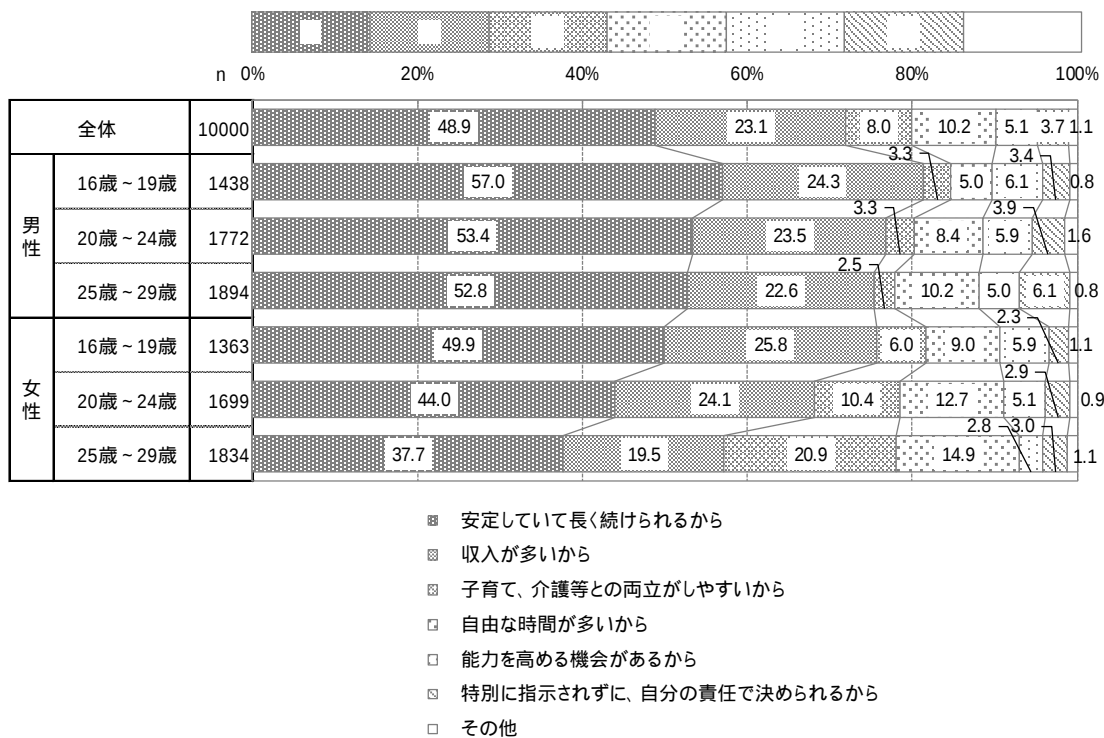
図 8 2



【最も重要な理由】

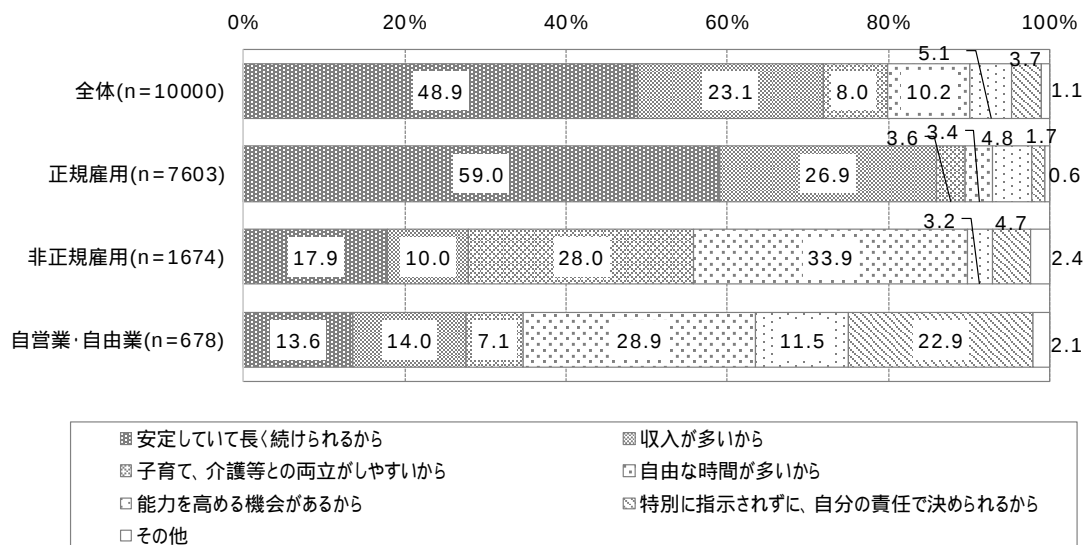
最も重要な理由を性年齢区分別でみると、「安定していて長く続けられるから」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(57.0%)、「収入が多いから」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(25.8%)、「特別に指示されずに、自分の責任で決められるから」の回答は“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(6.1%)、「子育て、介護等との両立がしやすいから」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(20.9%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 8 3



Q4.の質問(最も重要な理由)を希望する雇用形態別で見ると、「正規雇用」を希望する者の選択理由として多かった回答は「安定していて長く続けられるから」(59.0%)、「収入が多いから」(26.9%)。「非正規雇用」を希望する者の選択理由として多かった回答は「自由な時間が多いから」(33.9%)、「子育て、介護等との両立がしやすいから」(28.0%)。「自営業・自由業」を希望する者の選択理由として多かった回答は「自由な時間が多いから」(28.9%)であった。

図 8 4



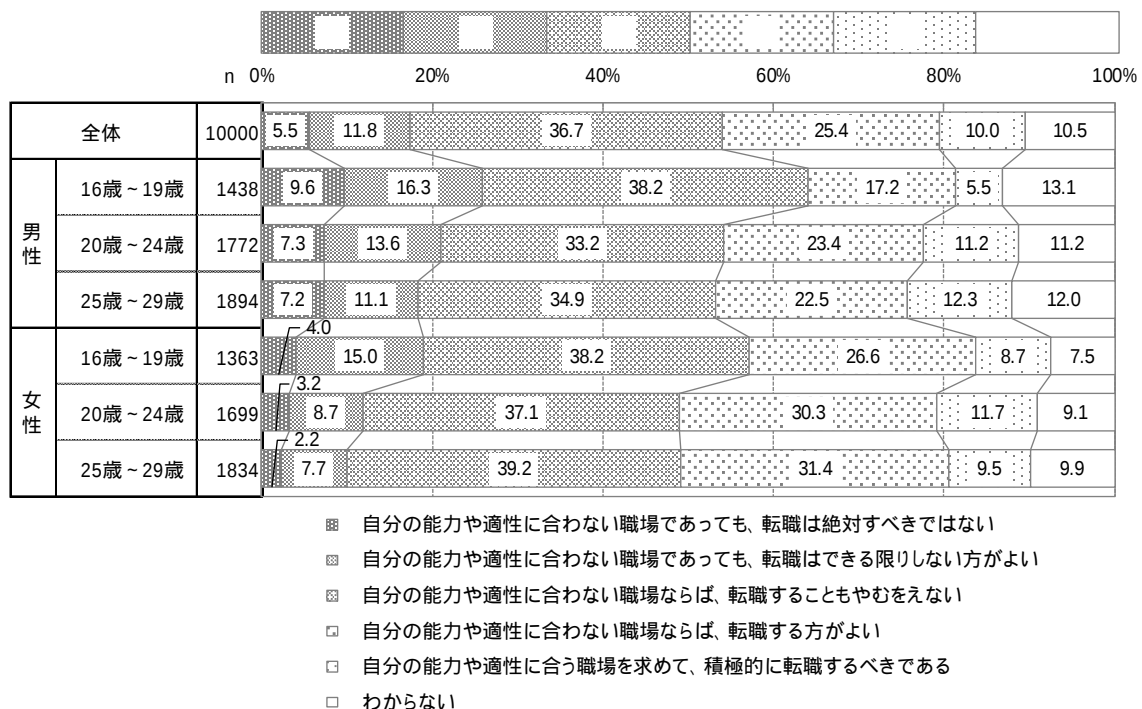
(5) 転職に対する意識

Q5. 転職については、様々な考え方があります。あなたの考えに最も近いものを選んでください。[SA]

転職に対する意識について全体で最も高いのは、「自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職することもやむをえない」(36.7%)。次いで「自分の能力や適性に合わない職場ならば、転職の方がよい」(25.4%)、「自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職はできる限りしない方がよい」(11.8%)、「わからない」(10.5%)と続く。

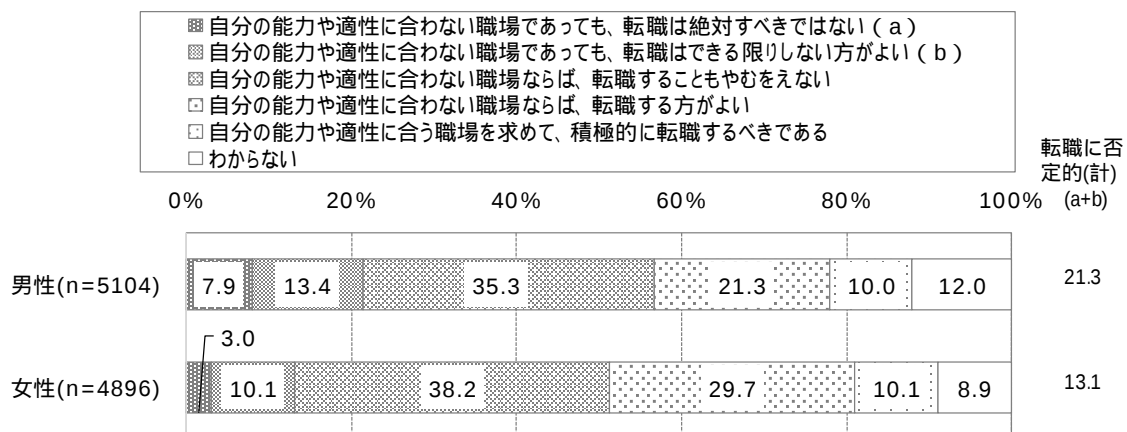
性年齢区分別でみると、「自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職は絶対すべきではない」及び「自分の能力や適性に合わない職場であっても、転職はできる限りしない方がよい」の回答は、“男性 16～19 歳”に占める割合(それぞれ 9.6%、16.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 8 5



Q5.の質問に対して性別でみると、「転職に否定的(計)」において男性は 21.3%、女性は 13.1%であった。

図 8 6



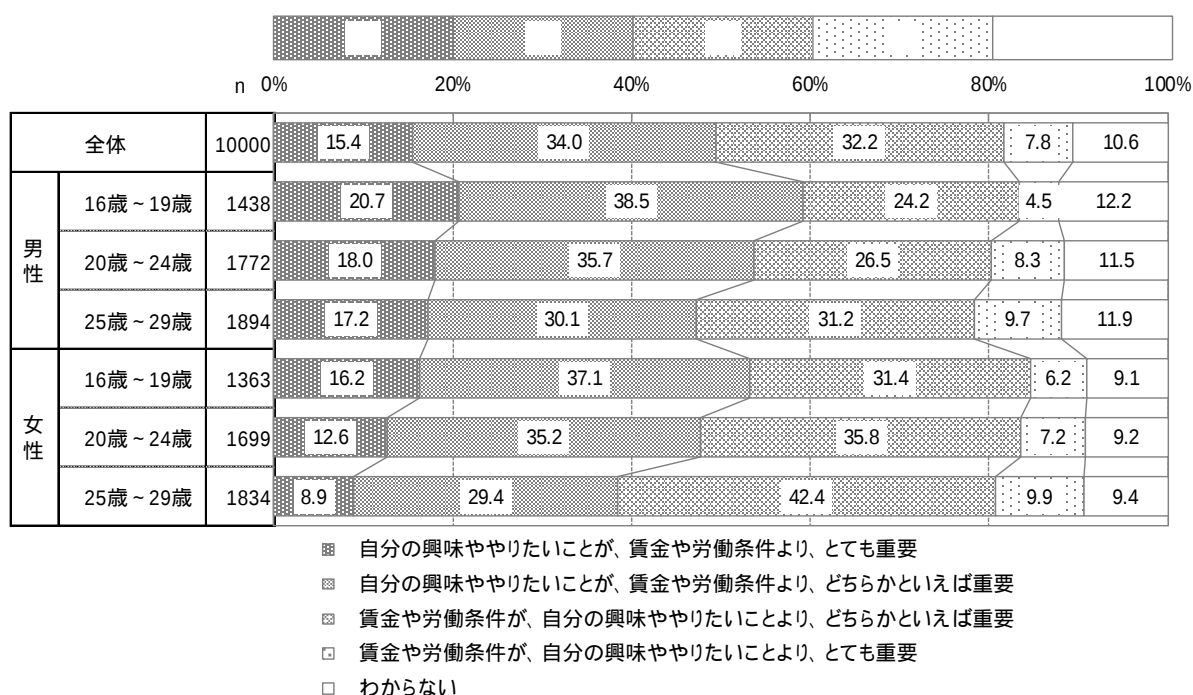
(6) 転職時のワークライフバランス

Q6. 転職する機会があるとしたら、どちらかといえば、自分の興味ややりたいことに合うことが重要ですか。それとも賃金や労働条件が重要ですか。[SA]

転職時のワークライフバランスについて全体で最も高いのは、「自分の興味ややりたいことが、賃金や労働条件より、どちらかといえば重要」(34.0%)。次いで「賃金や労働条件が、自分の興味ややりたいことより、どちらかといえば重要」(32.2%)、「自分の興味ややりたいことが、賃金や労働条件より、とても重要」(15.4%)、「わからない」(10.6%)と続く。

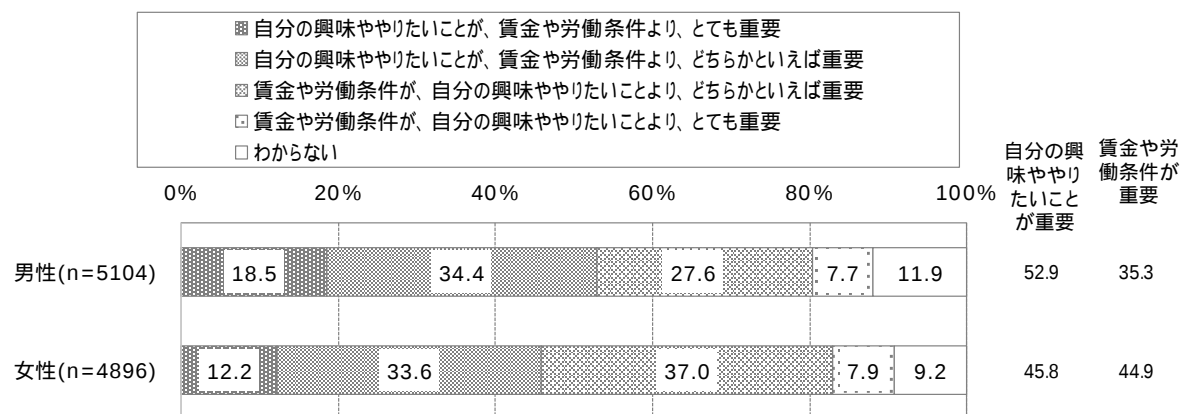
性年齢区分別でみると、「賃金や労働条件が、自分の興味ややりたいことより、どちらかといえば重要」の回答は、“女性 25～29 歳”に占める割合(42.4%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 8 7



Q6.の質問に対して性別でみると、「賃金や労働条件が重要」との回答は男性が 35.3%、女性は 44.9%であった。

図 8 8



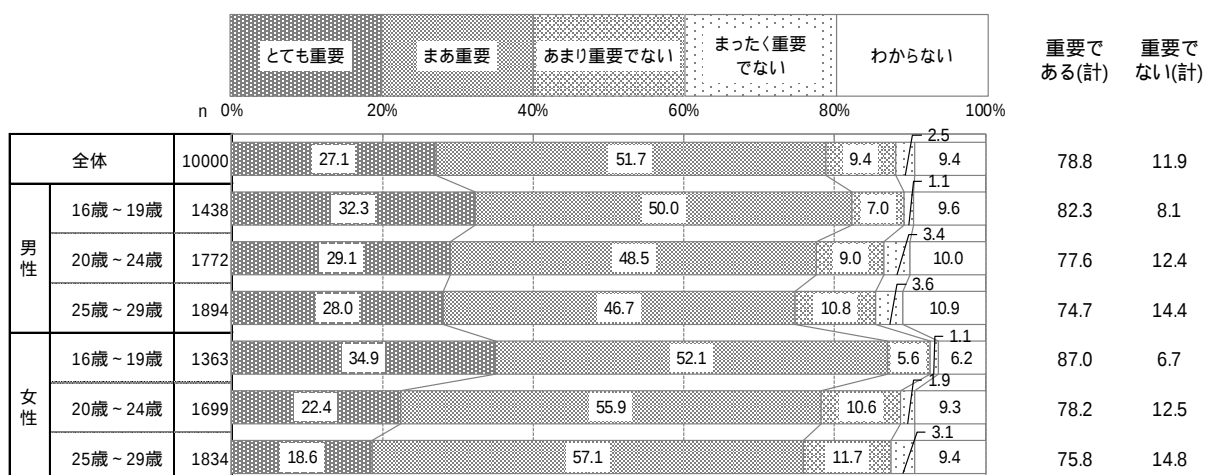
(7) 転職時のスキルアップ重要度

Q7. 転職のために、スキルアップや資格取得などに励むことが重要であると思いますか。[SA]

転職時のスキルアップの重要度について全体で最も高いのは、「まあ重要」(51.7%)。次いで「とても重要」(27.1%)、「あまり重要でない」(9.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても重要」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(34.9%)、「まあ重要」の回答は“女性 20 歳～24 歳”及び“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(それぞれ 55.9%、57.1%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 8 9



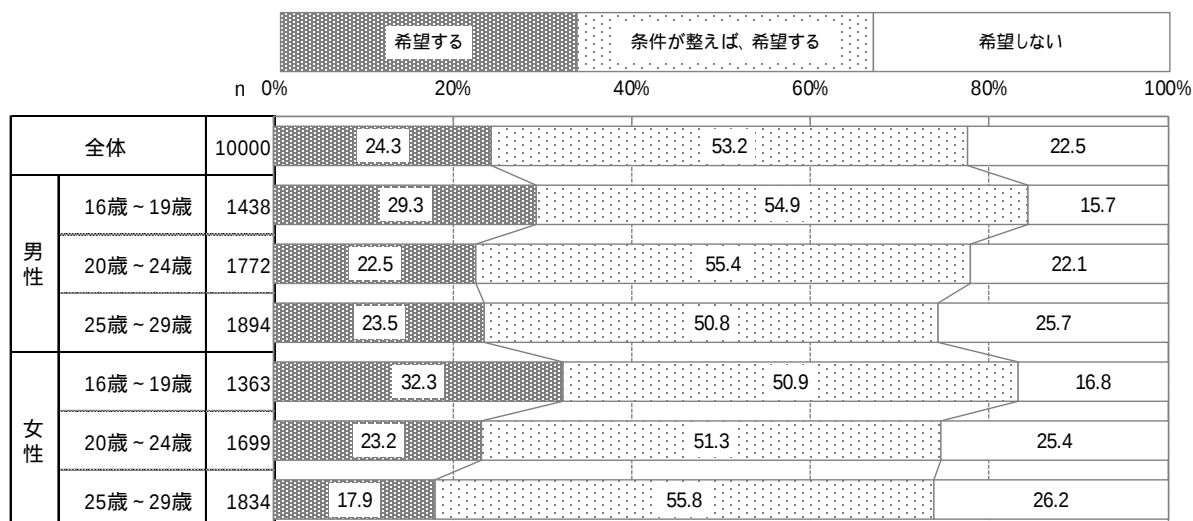
(8) 学び継続の希望度

Q8. あなたは、より良い仕事に就くために、就職後、学校や専門の機関、各種スクールなどで学び続けられるのであれば希望しますか。[SA]

学び継続の希望度について全体で最も高いのは「条件が整えば、希望する」(53.2%)。次いで「希望する」(24.3%)と続く。

性年齢区分別でみると、「希望する」の回答は、男女共に“ 16 歳～19 歳 ”に占める割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 0



(9) 学び継続の条件

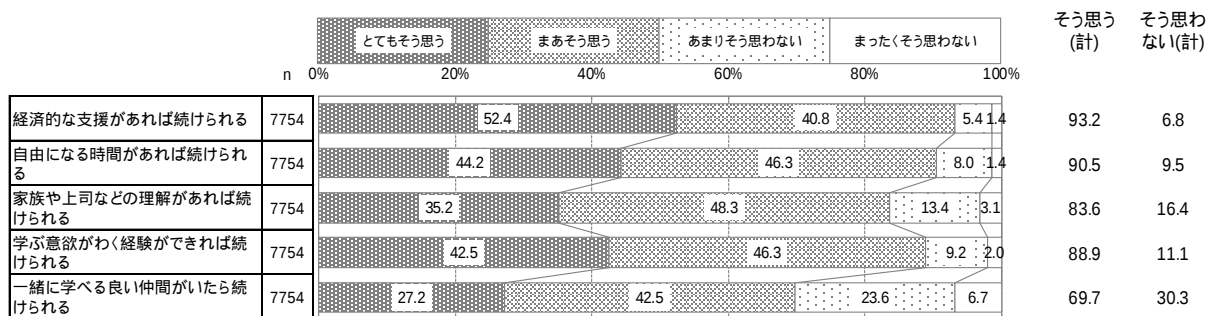
Q9. 前問で、「学びの継続を希望する」と回答した方にお伺いします。

特にどのような条件があれば続けられると思いますか。

以下のそれぞれについて、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」のうちから 1 つ選んで答えてください。[SA]

学びを継続させるための条件について、「そう思う(計)」が最も高いのは“ 経済的な支援があれば続けられる ”(93.2%)。次いで“ 自由になる時間があれば続けられる ”(90.5%)、“ 学ぶ意欲がわく経験ができれば続けられる ”(88.9%)と続く。一方、「そう思わない(計)」が最も高いのは“ 一緒に学べる良い仲間がいたら続けられる ”(30.3%)。次いで“ 家族や上司などの理解があれば続けられる ”(16.4%)と続く。

図 9 1



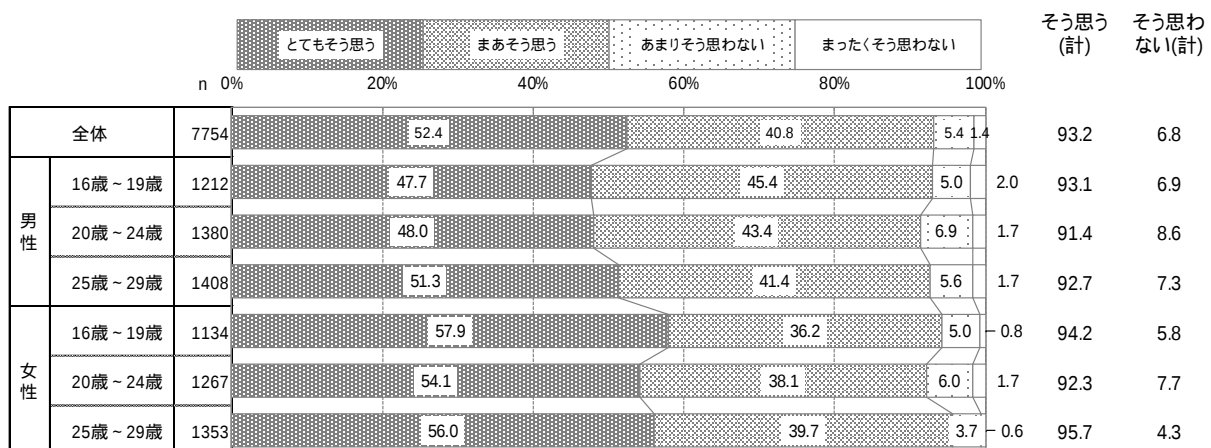
Q8 で学びの継続について「希望する」「条件が整えば、希望する」の選択者のみ回答。

【経済的な支援があれば続けられる】

学びを継続させるための条件【経済的な支援があれば続けられる】について全体で最も高いのは、「とてもそう思う」(52.4%)。次いで「まあそう思う」(40.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、女性は全年齢層で「とてもそう思う」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 2



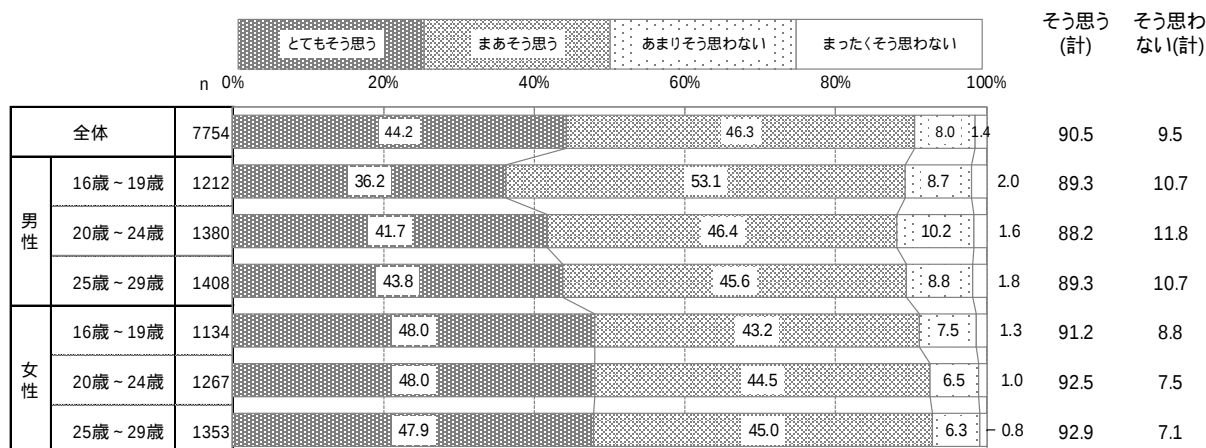
Q8 で学びの継続について「希望する」「条件が整えば、希望する」の選択者のみ回答。

【自由になる時間があれば続けられる】

学びを継続させるための条件【自由になる時間があれば続けられる】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(46.3%)。次いで「とてもそう思う」(44.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(53.1%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 3



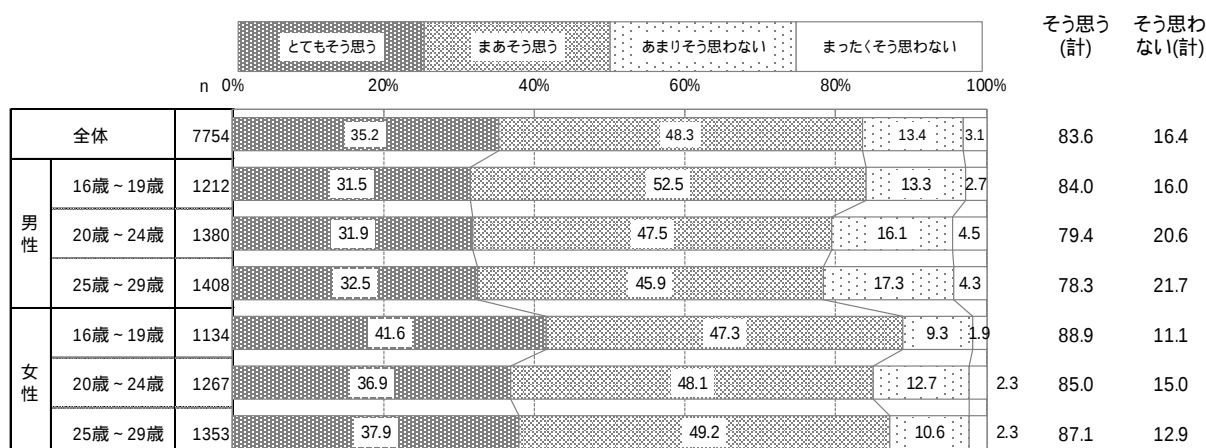
Q8 で学びの継続について「希望する」「条件が整えば、希望する」の選択者のみ回答。

【家族や上司などの理解があれば続けられる】

学びを継続させるための条件【家族や上司などの理解があれば続けられる】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(48.3%)。次いで「とてもそう思う」(35.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、女性は全年齢層で「とてもそう思う」の割合が高い。一方、“男性 20 歳～24 歳”、“男性 25 歳～29 歳”は「そう思わない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 4



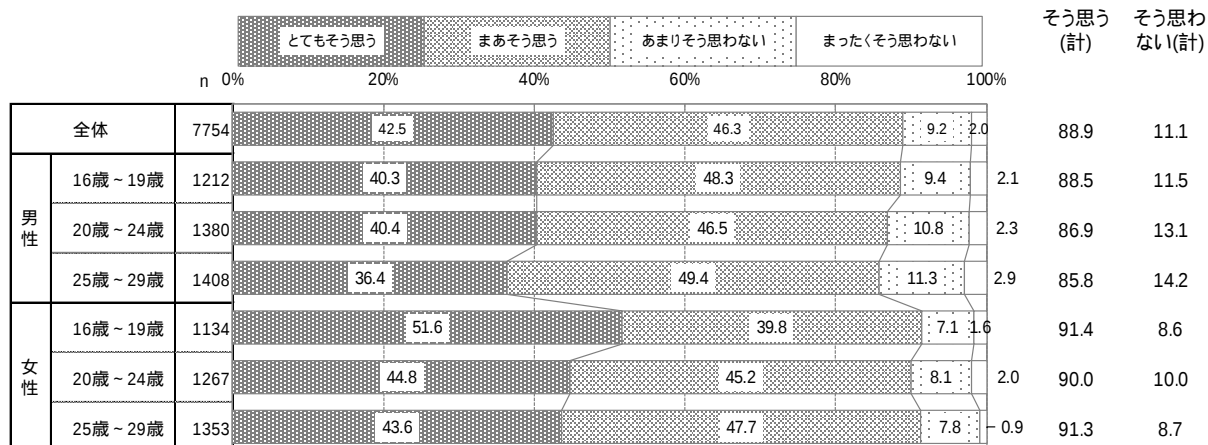
Q8 で学びの継続について「希望する」「条件が整えば、希望する」の選択者のみ回答。

【学ぶ意欲がわく経験ができれば続けられる】

学びを継続させるための条件【学ぶ意欲がわく経験ができれば続けられる】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(46.3%)。次いで「とてもそう思う」(42.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(51.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 5



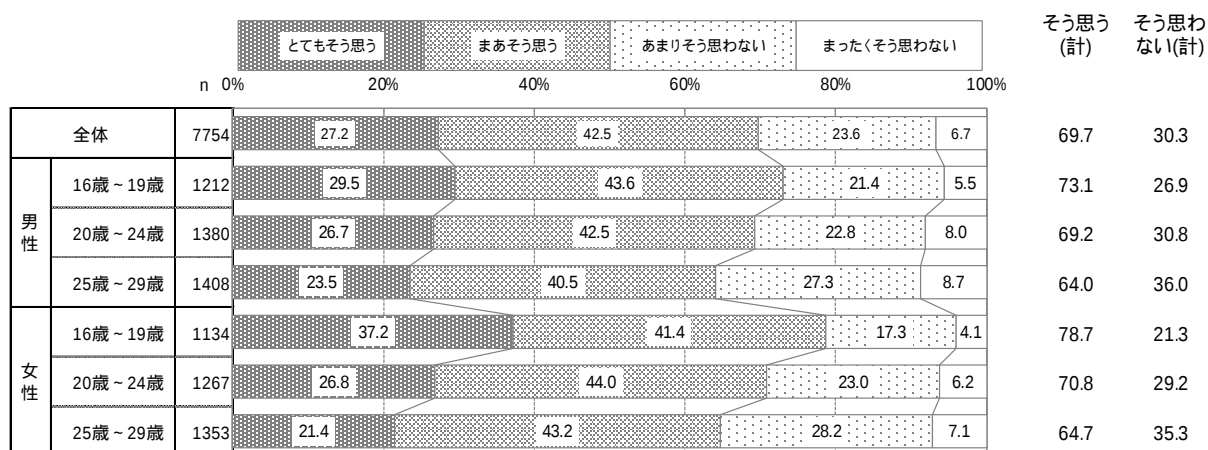
Q8 で学びの継続について「希望する」「条件が整えば、希望する」の選択者のみ回答。

【一緒に学べる良い仲間がいたら続けられる】

学びを継続させるための条件【一緒に学べる良い仲間がいたら続けられる】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(42.5%)。次いで「とてもそう思う」(27.2%)と続く。

年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(37.2%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 6



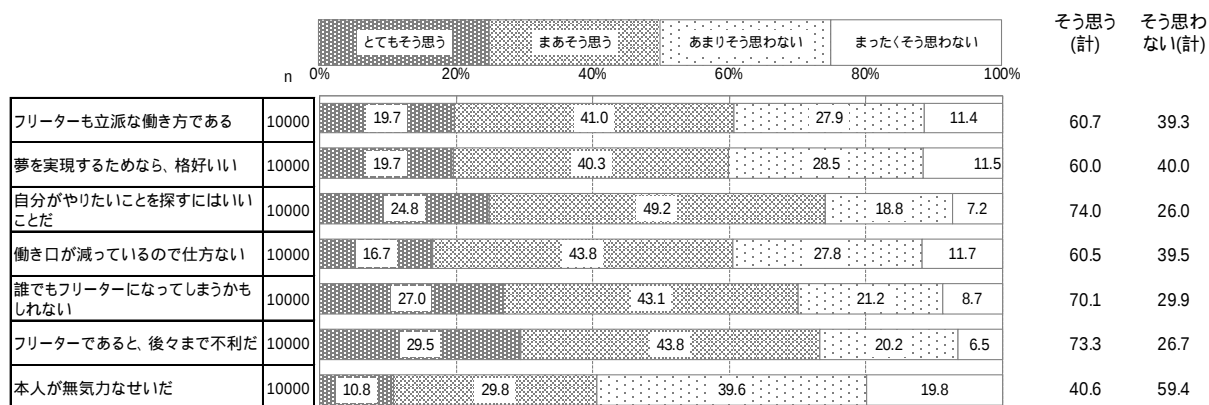
Q8 で学びの継続について「希望する」「条件が整えば、希望する」の選択者のみ回答。

(1 0) フリーターに対する意見

Q10. フリーター（主にアルバイトやパートで生活する人）を続ける生き方をどう思いますか。
 以下のそれぞれについて、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」のうちから 1 つ選んで答えてください。[SA]

フリーターに対する意見として、「そう思う(計)」が最も高いのは、“自分がやりたいことを探すにはいいことだ”(74.0%)。次いで“フリーターであると、後々まで不利だ”(73.3%)、“誰でもフリーターになってしまうかもしれない”(70.1%)と続く。一方、「そう思わない(計)」が最も高いのは、“本人が無気力なせいだ”(59.4%)。次いで“夢を実現するためなら、格好いい”(40.0%)、“働き口が減っているので仕方ない”(39.5%)と続く。

図 9 7

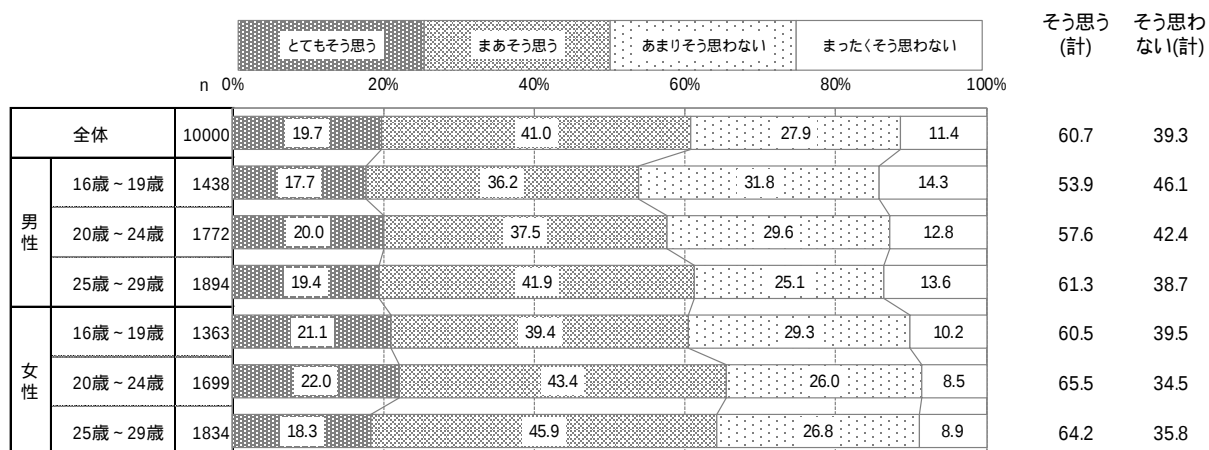


【フリーターも立派な働き方である】

フリーターに対する意見【フリーターも立派な働き方である】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(41.0%)。次いで「あまりそう思わない」(27.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(45.9%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 8

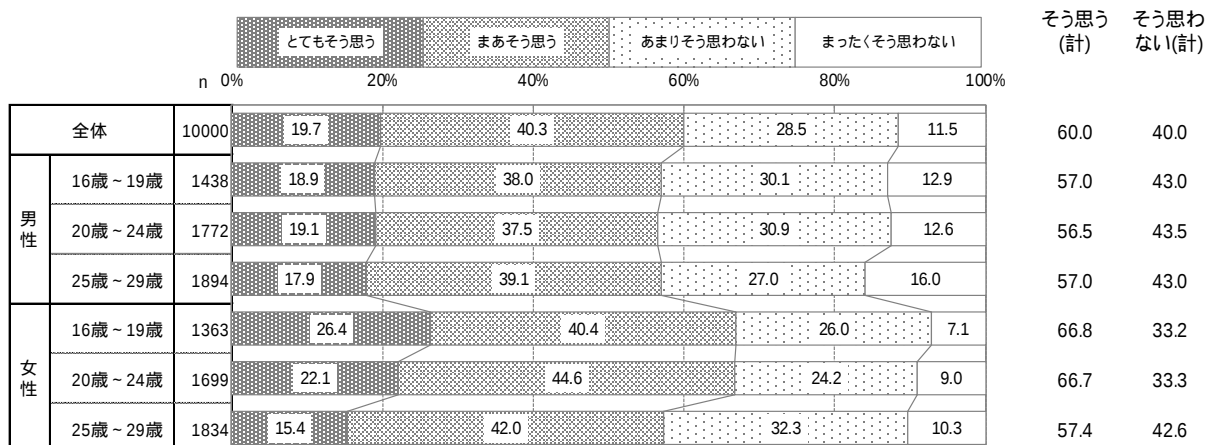


【夢を実現するためなら、格好いい】

フリーターに対する意見【夢を実現するためなら、格好いい】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(40.3%)。次いで「あまりそう思わない」(28.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(26.4%)が最も高い。一方、「まったくそう思わない」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(16.0%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 9 9

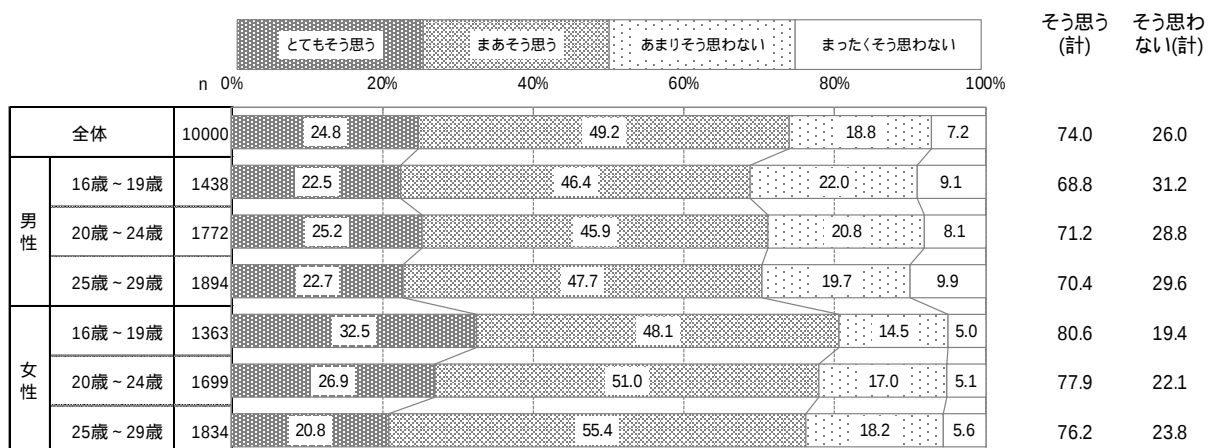


【自分がやりたいことを探すにはいいことだ】

フリーターに対する意見【自分がやりたいことを探すにはいいことだ】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(49.2%)。次いで「とてもそう思う」(24.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(32.5%)、「まあそう思う」の回答は“女性 25～29 歳”に占める割合(55.4%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 0 0

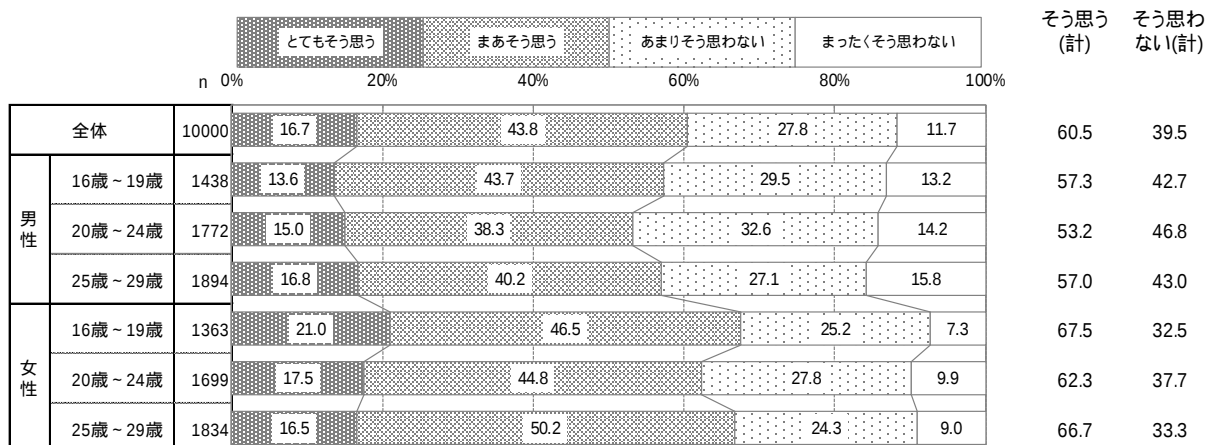


【働き口が減っているので仕方ない】

フリーターに対する意見【働き口が減っているので仕方ない】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(43.8%)。次いで「あまりそう思わない」(27.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(21.0%)、「まあそう思う」の回答は“女性 25～29 歳”に占める割合(50.2%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 0 1

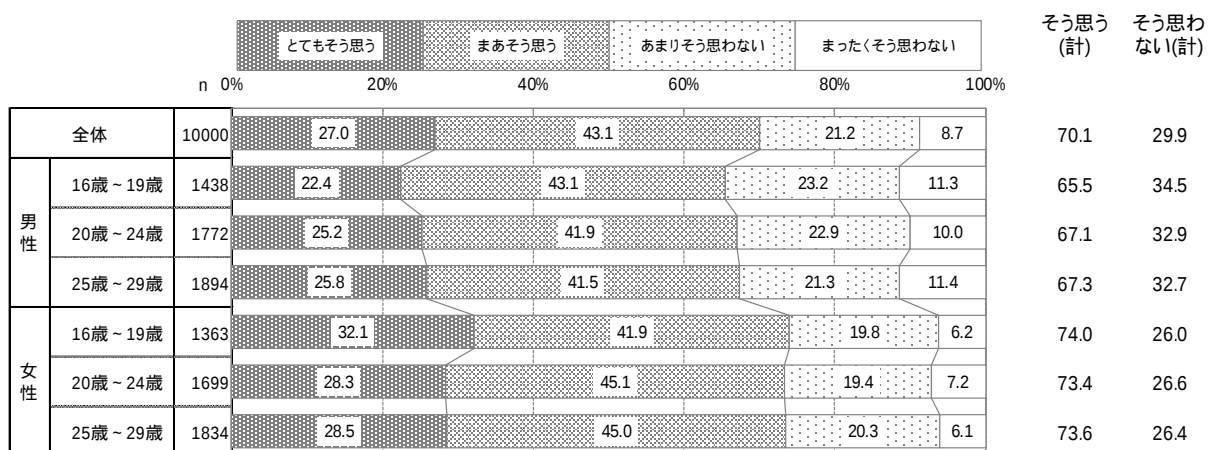


【誰でもフリーターになってしまうかもしれない】

フリーターに対する意見【誰でもフリーターになってしまうかもしれない】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(43.1%)。次いで「とてもそう思う」(27.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(32.1%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 0 2

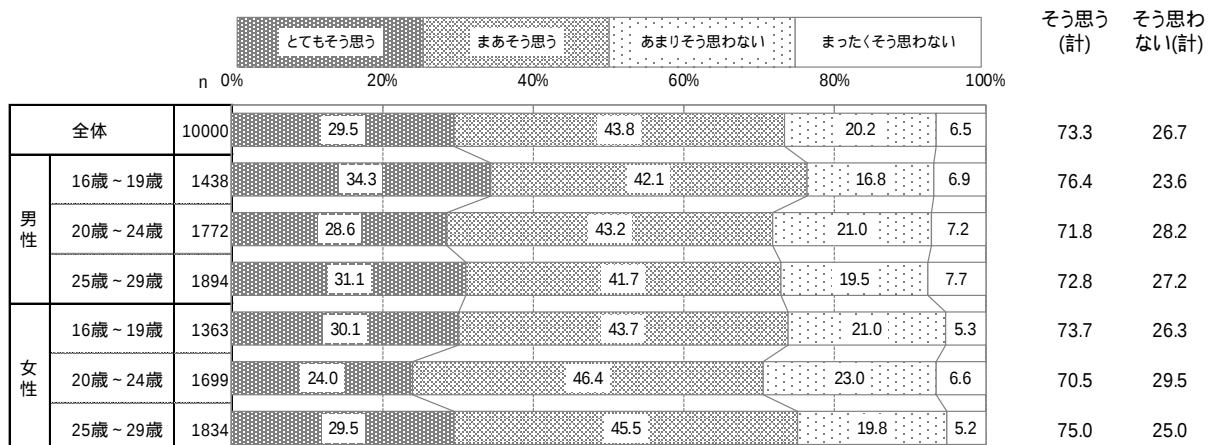


【フリーターであると、後々まで不利だ】

フリーターに対する意見【フリーターであると、後々まで不利だ】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(43.8%)。次いで「とてもそう思う」(29.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(34.3%)が高い。一方、「あまりそう思わない」の回答は、“女性 20 歳～24 歳”に占める割合(23.0%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 0 3

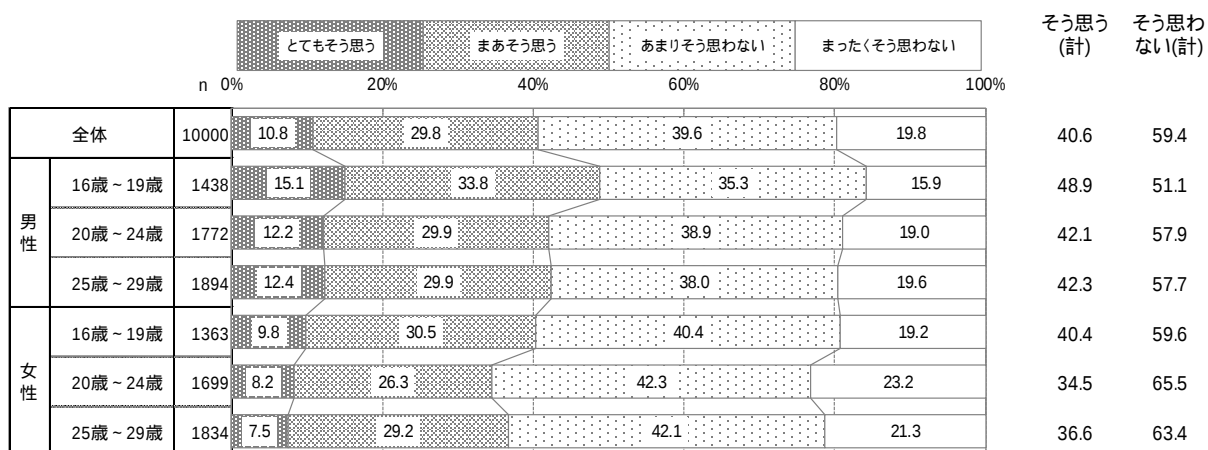


【本人が無気力なせいだ】

フリーターに対する意見【本人が無気力なせいだ】について全体で最も高いのは、「あまりそう思わない」(39.6%)。次いで「まあそう思う」(29.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(15.1%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 0 4



2 将来像

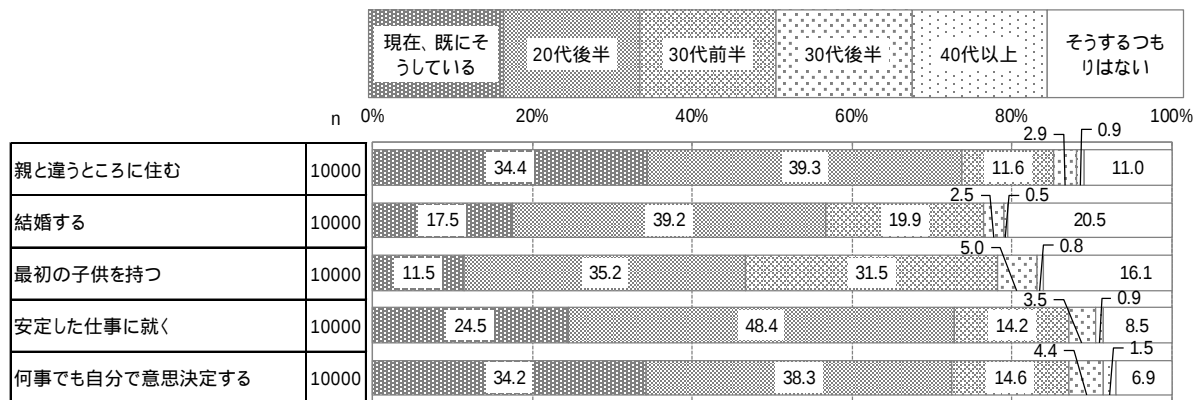
(1) 将来設計

Q11. あなたは、何歳ぐらいになったときに、次のようなことをしたいと思いますか。

以下のそれぞれについて、「現在、既にそうしている」「20代後半」「30代前半」「30代後半」「40代以上」「そうするつもりはない」のうちから1つ選んで教えてください。[SA]

将来設計として“親と違うところに住む”時期は「20代後半」(39.3%)、“結婚する”時期は「20代後半」(39.2%)、“最初の子供を持つ”時期は「20代後半」(35.2%)、“安定した仕事に就く”時期は「20代後半」(48.4%)、“何事でも自分で意思決定する”時期は「20代後半」(38.3%)が最も高い結果となった。

図105



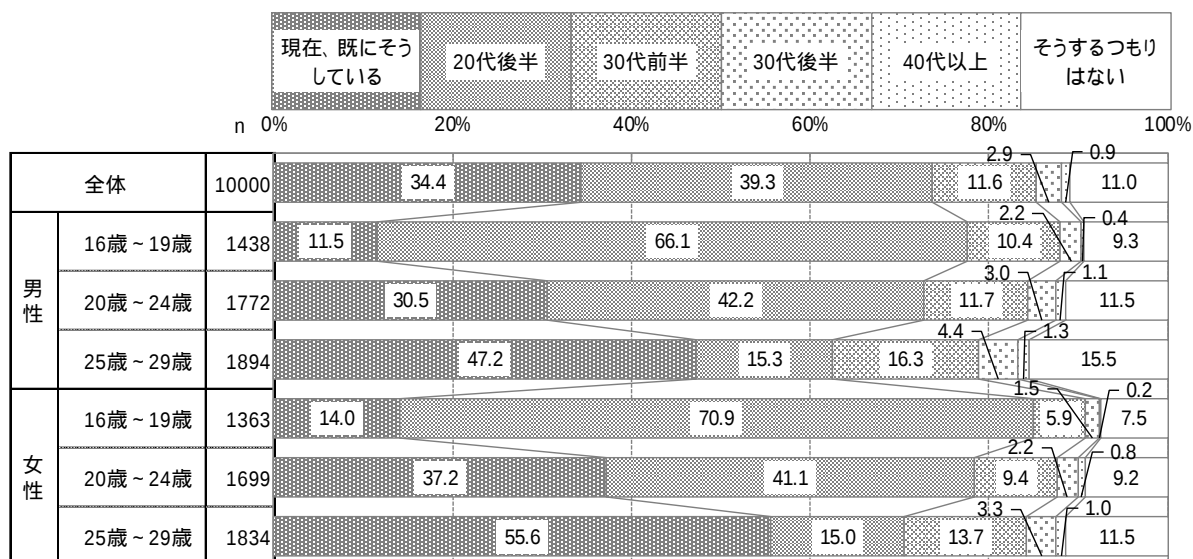
「結婚する」はSQ12で現在は結婚「していないが、いつかは結婚したい」の選択者のみ回答。SQ12で「している」は「現在、既にそうしている」、「していないし、結婚したいと思わない」は「そうするつもりはない」に加算。

【親と違うところに住む】

将来設計の【親と違うところに住む】について全体で最も高いのは、「20代後半」(39.3%)。次いで「現在、既にそうしている」(34.4%)、「30代前半」(11.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、「20代後半」の回答は男女共に「16歳～19歳」に占める割合が高く、また、「現在、既にそうしている」の回答は男女共に「25歳～29歳」に占める割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「そうするつもりはない」との回答は、「男性25歳～29歳」に占める割合(15.5%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図106

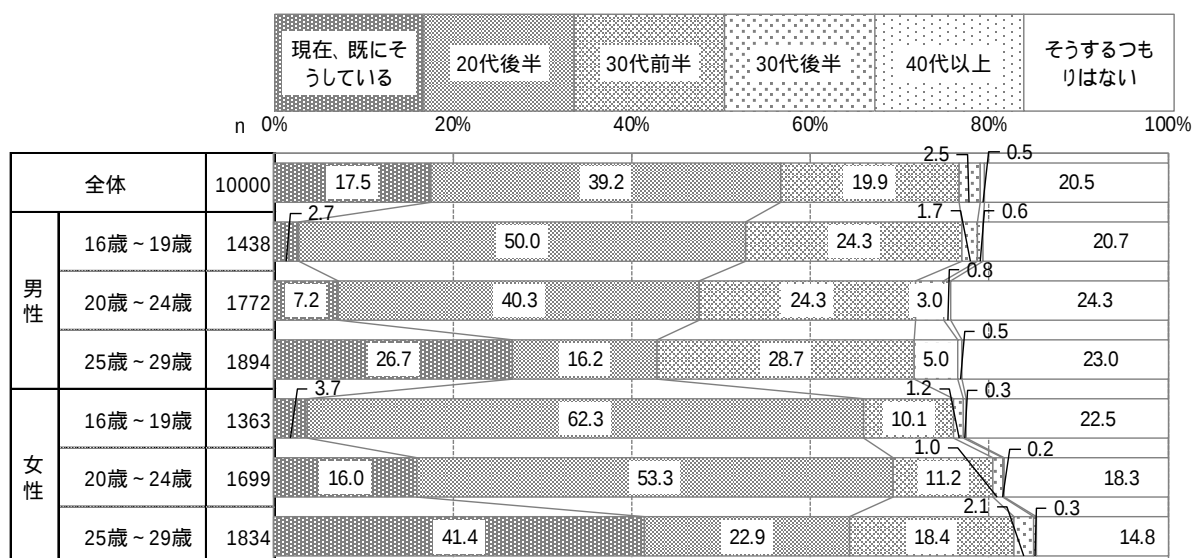


【結婚する】

将来設計の【結婚する】について全体で最も高いのは、「20代後半」(39.2%)。次いで「そうするつもりはない」(20.5%)、「30代前半」(19.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「20代後半」の回答は「女性 16歳～19歳」に占める割合(62.3%)、「現在、既にそうしている」の回答は「女性 25歳～29歳」に占める割合(41.4%)、「30代前半」の回答は「男性 25歳～29歳」に占める割合(28.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 107



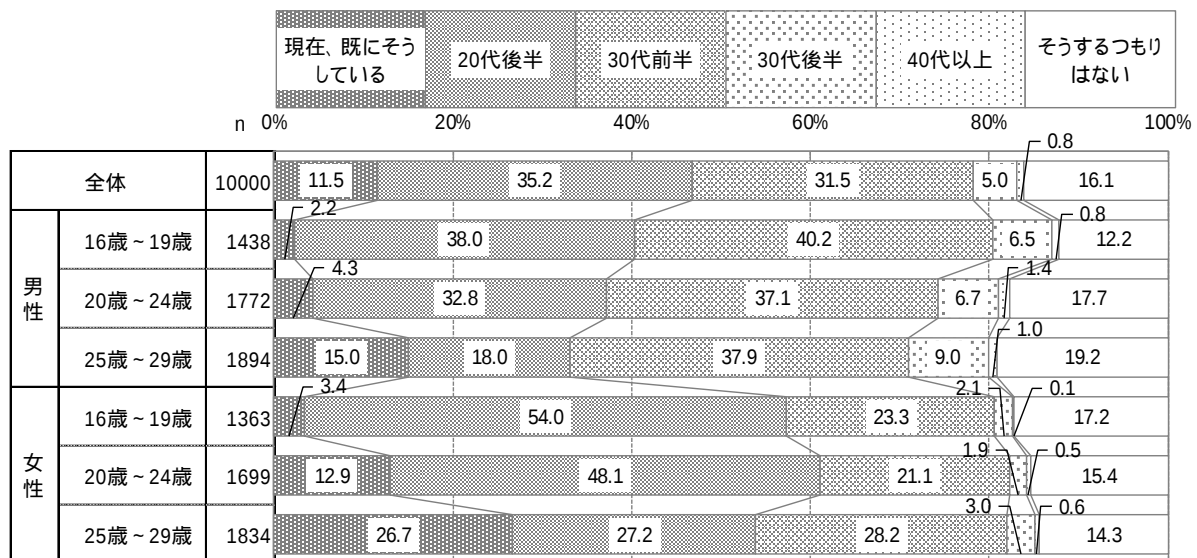
「結婚する」はSQ12で現在は結婚「していないが、いつかは結婚したい」の選択者のみ回答。SQ12で「している」は「現在、既にそうしている」、「していないし、結婚したいと思わない」は「そうするつもりはない」に加算。

【最初の子供を持つ】

将来設計の【最初の子供を持つ】について全体で最も高いのは、「20代後半」(35.2%)。次いで「30代前半」(31.5%)、「そうするつもりはない」(16.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、「30代後半」の回答は“男性25歳～29歳”に占める割合(9.0%)、「20代後半」の回答は“女性16歳～19歳”に占める割合(54.0%)、「現在、既にそうしている」の回答は“女性25歳～29歳”に占める割合(26.7%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図108

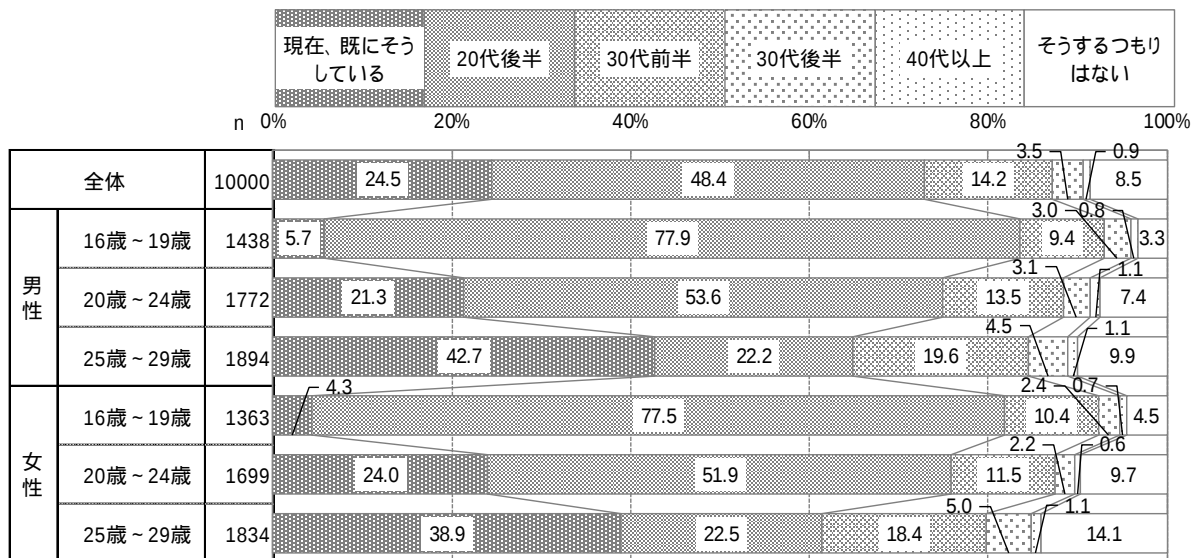


【安定した仕事に就く】

将来設計の【安定した仕事に就く】について全体で最も高いのは、「20代後半」(48.4%)。次いで「現在、既にそうしている」(24.5%)、「30代前半」(14.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「現在、既にそうしている」の回答は、“男性25歳～29歳”に占める割合(42.7%)が最も高い。一方、「そうするつもりはない」の回答は、“女性25歳～29歳”に占める割合(14.1%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図109

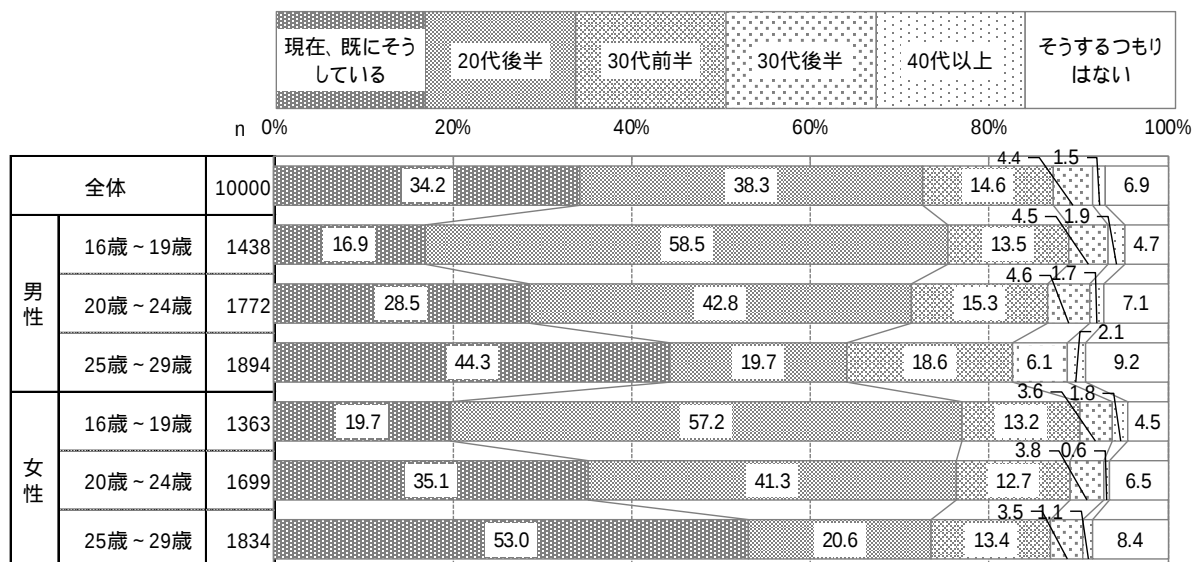


【何事でも自分で意思決定する】

将来設計の【何事でも自分で意思決定する】について全体で最も高いのは、「20代後半」(38.3%)。次いで「現在、既にそうしている」(34.2%)、「30代前半」(14.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に“25歳～29歳”は「現在、既にそうしている」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。「30代前半」の回答は、“男性25歳～29歳”に占める割合(18.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図110



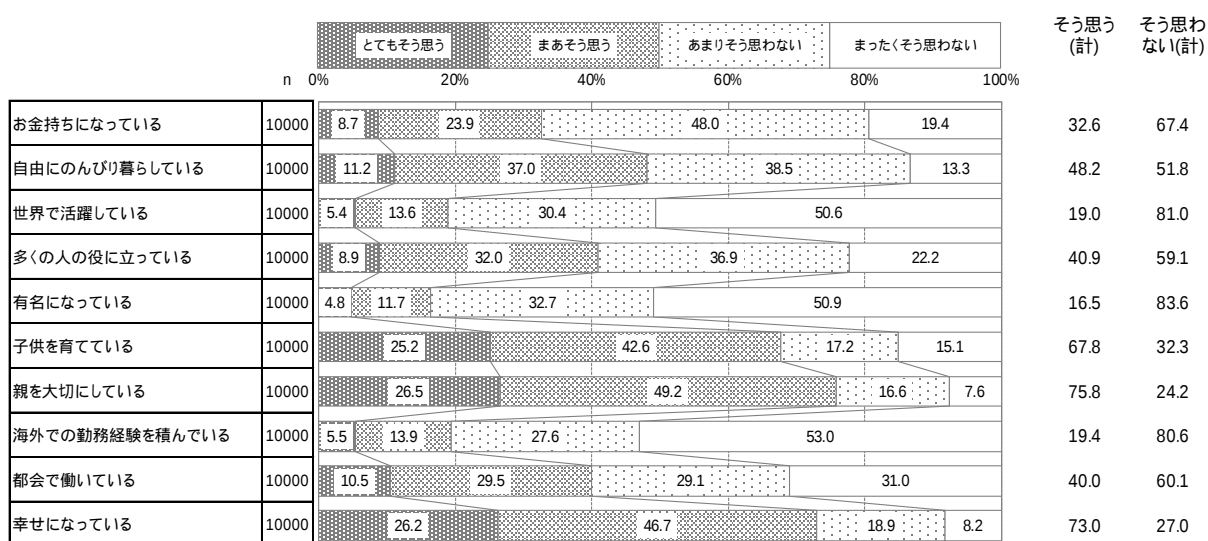
(2) 40代の将来像

Q12. あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。

以下のそれぞれについて、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」のうちから1つ選んで答えてください。[SA]

40代の将来像として、「そう思う(計)」が最も高いのは、“親を大切にしている”(75.8%)。次いで“幸せになっている”(73.0%)、“子供を育てている”(67.8%)と続く。一方、「そう思わない(計)」が最も高いのは、“有名になっている”(83.6%)。次いで“世界で活躍している”(81.0%)、“海外での勤務経験を積んでいる”(80.6%)と続く。

図111



<平成23年度調査結果>

Q あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。以下のそれぞれについて、とてもそう思う、まあそう思う、あまりそう思わない、まったくそう思わない、のうちから一つ選んで答えてください。

図112

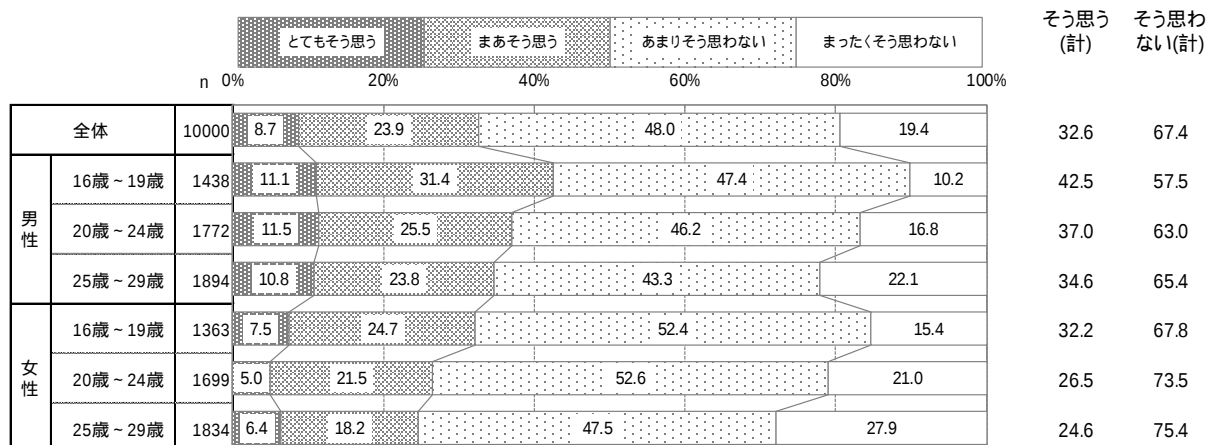


【お金持ちになっている】

40代の将来像【お金持ちになっている】について全体で最も高いのは、「あまりそう思わない」(48.0%)。次いで「まあそう思う」(23.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(31.4%)が最も高い。また、「まったくそう思わない」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(27.9%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 3

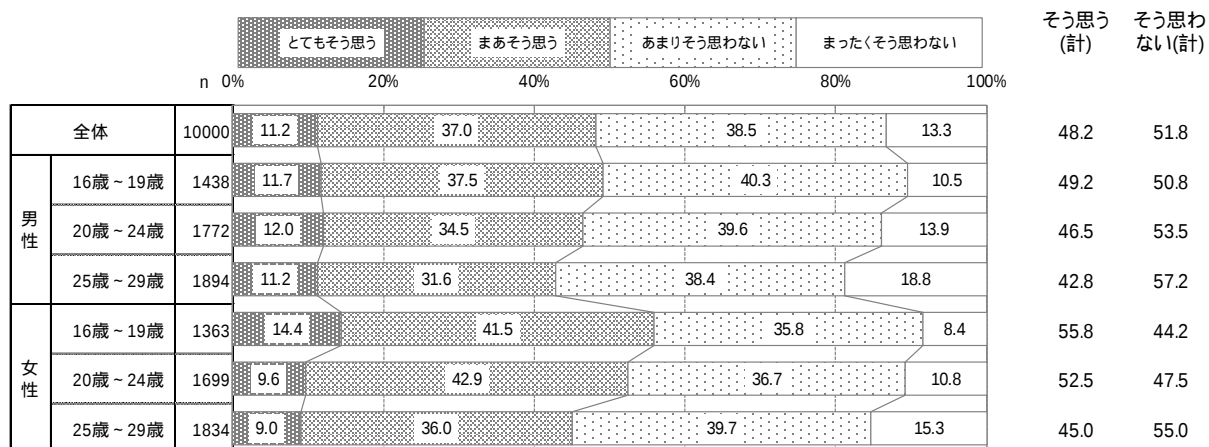


【自由にのんびり暮らしている】

40代の将来像【自由にのんびり暮らしている】について全体で最も高いのは、「あまりそう思わない」(38.5%)。次いで「まあそう思う」(37.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合、“まあそう思う”の回答は女性 20～24 歳”及び“女性 25 歳～29 歳”に占める割合がそれぞれ高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「まったくそう思わない」の回答は“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(18.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 4

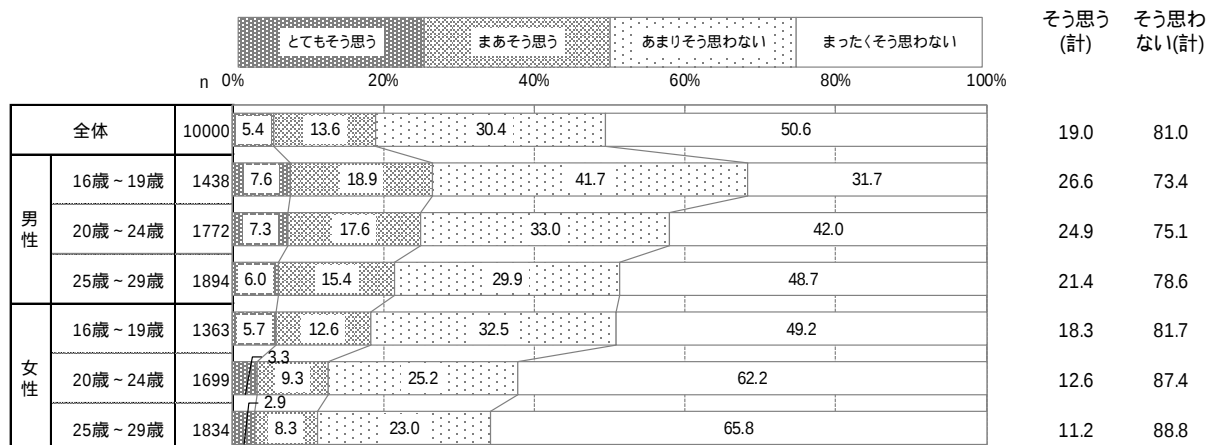


【世界で活躍している】

40代の将来像【世界で活躍している】について全体で最も高いのは、「まったくそう思わない」(50.6%)。次いで「あまりそう思わない」(30.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「あまりそう思わない」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(41.7%)、「まったくそう思わない」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(65.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 5

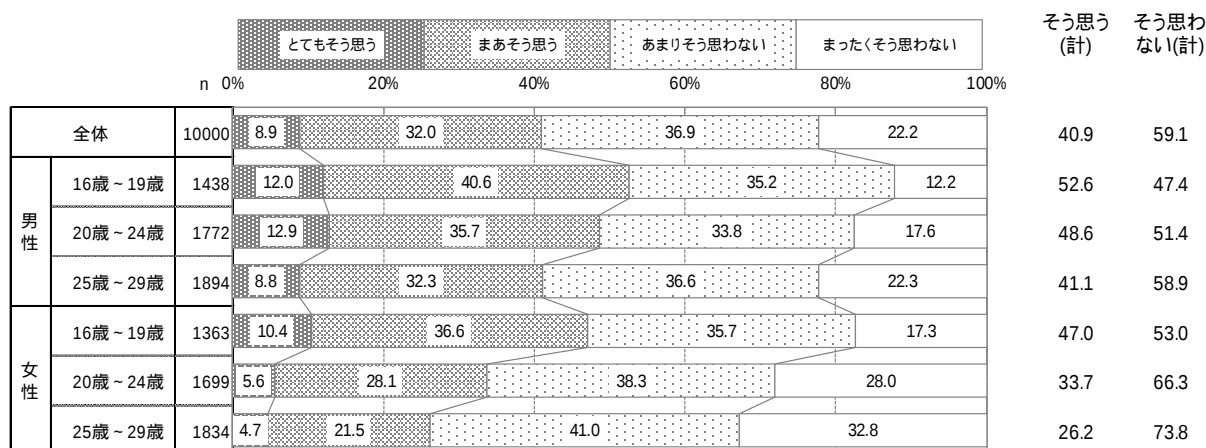


【多くの人の役に立っている】

40代の将来像【多くの人の役に立っている】について全体で最も高いのは、「あまりそう思わない」(36.9%)。次いで「まあそう思う」(32.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(40.6%)が最も高い。一方、「まったくそう思わない」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(32.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 6

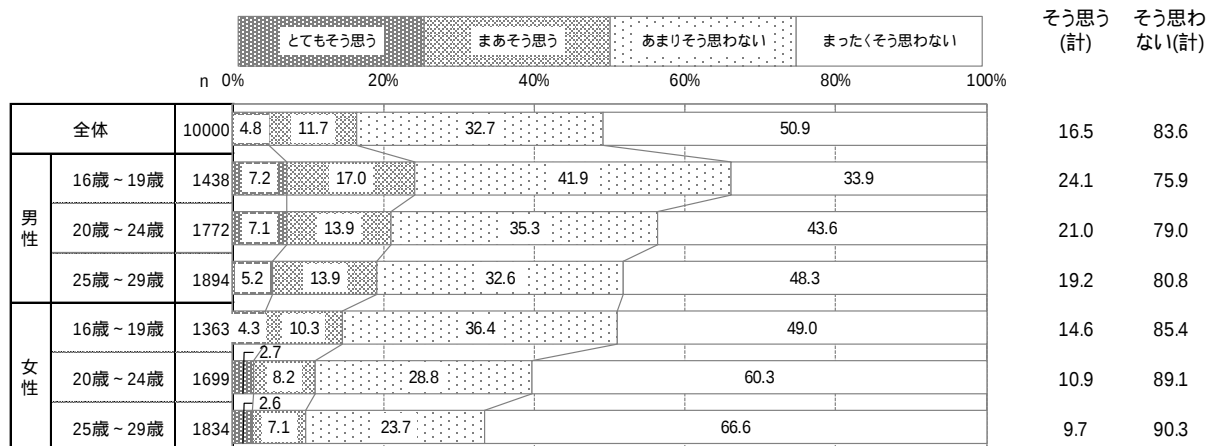


【有名になっている】

40代の将来像【有名になっている】について全体で最も高いのは、「まったくそう思わない」(50.9%)。次いで「あまりそう思わない」(32.7%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」及び「あまりそう思わない」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(それぞれ 17.0%、41.9%)が最も高い。また、「まったくそう思わない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(66.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 7

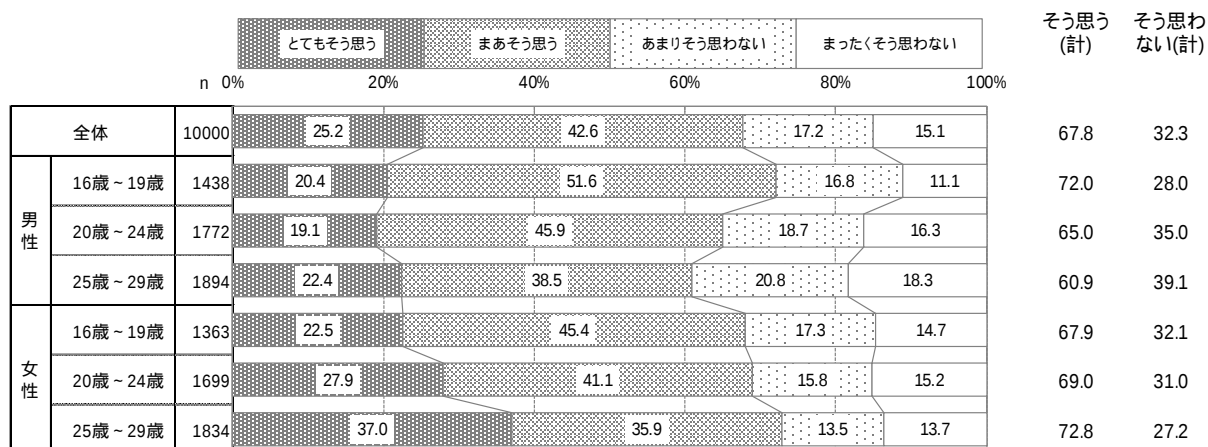


【子供を育てている】

40代の将来像【子供を育てている】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(42.6%)。次いで「とてもそう思う」(25.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(51.6%)、「とてもそう思う」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(37.0%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 8

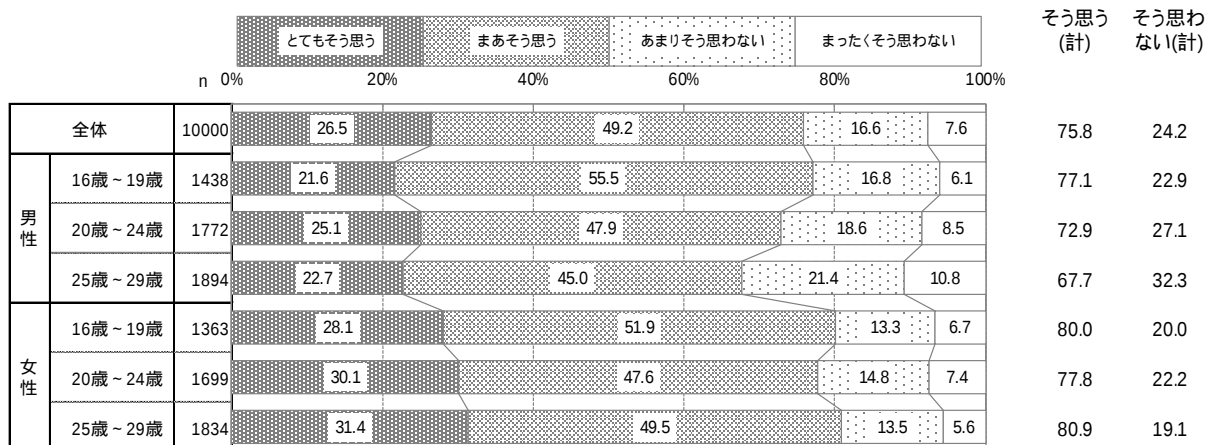


【親を大切にしている】

40代の将来像【親を大切にしている】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(49.2%)。次いで「とてもそう思う」(26.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、“男性 25 歳～29 歳”は「そう思わない(計)」(32.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 1 9

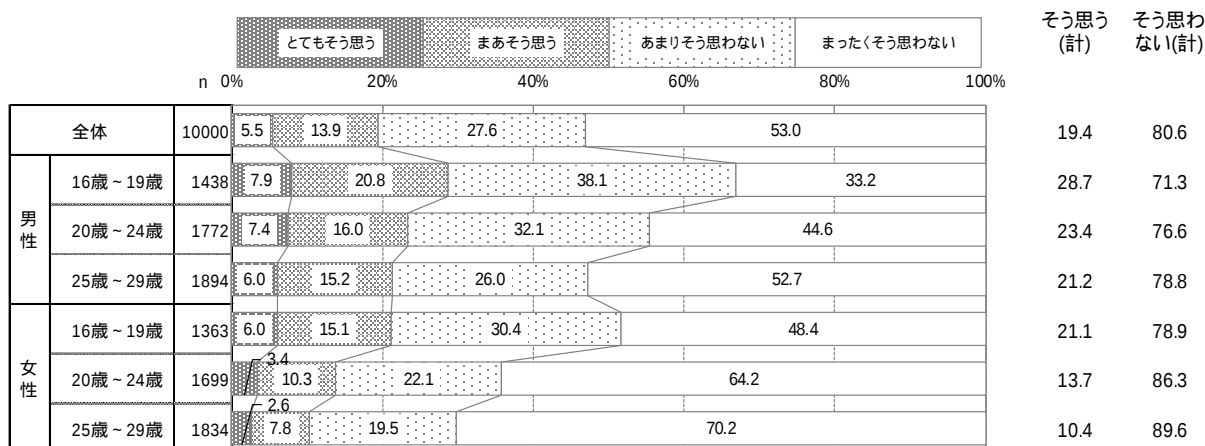


【海外での勤務経験を積んでいる】

40代の将来像【海外での勤務経験を積んでいる】について全体で最も高いのは、「まったくそう思わない」(53.0%)。次いで「あまりそう思わない」(27.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」及び「あまりそう思わない」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(それぞれ 20.8%、38.1%)が最も高い。また、「まったくそう思わない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(70.2%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 2 0

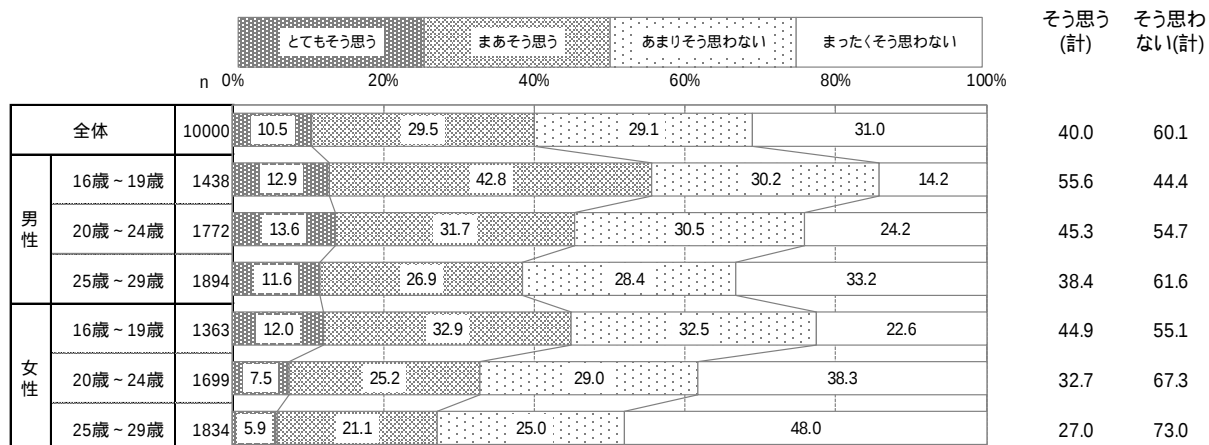


【都会で働いている】

40 代の将来像【都会で働いている】について全体で最も高いのは、「まったくそう思わない」(31.0%)。次いで「まあそう思う」(29.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(42.8%)が最も高い。一方、「まったくそう思わない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(48.0%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 2 1

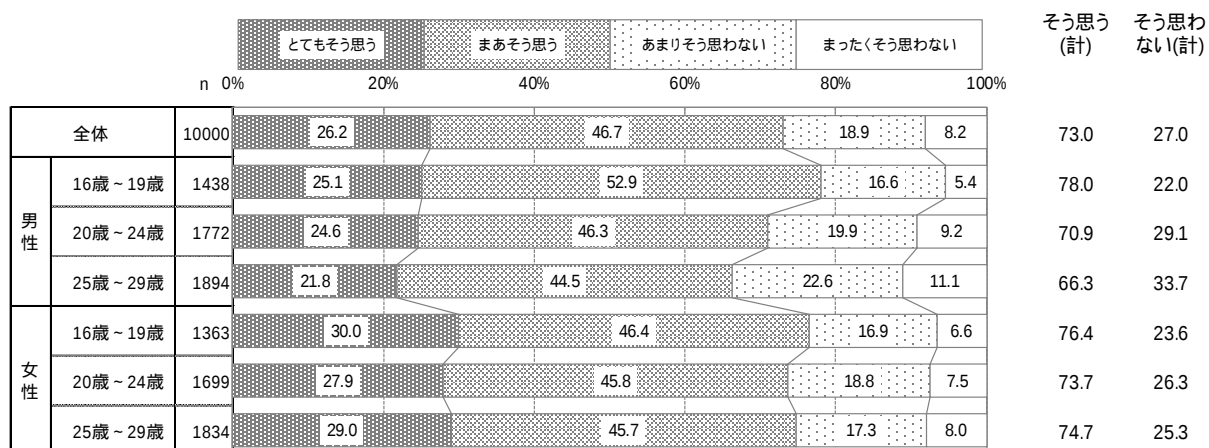


【幸せになっている】

40 代の将来像【幸せになっている】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(46.7%)。次いで「とてもそう思う」(26.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(52.9%)が最も高い。一方、「あまりそう思わない」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(22.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 2 2



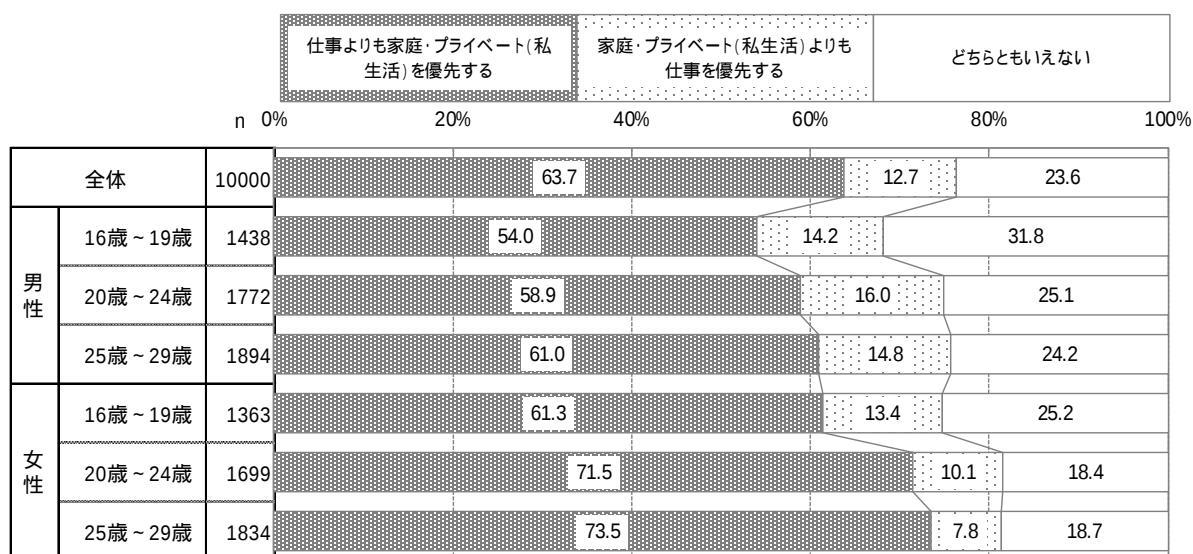
(3) ワークライフバランス

Q13. あなたは、仕事と家庭・プライベート（私生活）のどちらを大切にしたいですか。[SA]

ワークライフバランスについて全体で最も高いのは、「仕事よりも家庭・プライベート（私生活）を優先する」（63.7%）である。次いで「どちらともいえない」（23.6%）、「家庭・プライベート（私生活）よりも仕事を優先する」（12.7%）と続く。

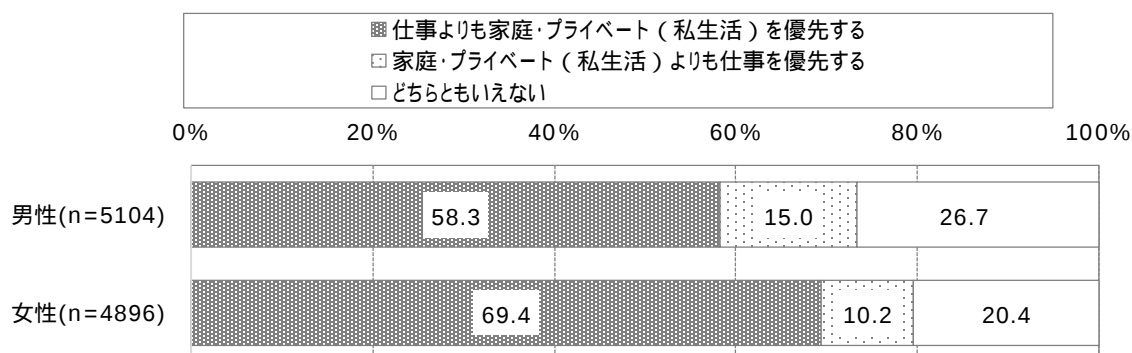
性年齢区分別でみると、“女性 20 歳～24 歳”と“女性 25 歳～29 歳”は「仕事よりも家庭・プライベート（私生活）を優先する」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「どちらともいえない」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(31.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 2 3



Q13.の質問を性別でみると、「仕事よりも家庭・プライベート（私生活）を優先する」は女性は 69.4%、男性は 58.3%であった。

図 1 2 4



<平成 23 年度調査結果>

Q あなたは、仕事と家庭のどちらを大切にしたいですか。また、その関係についてどう考えていますか。(1つ選択)

図 1 2 5

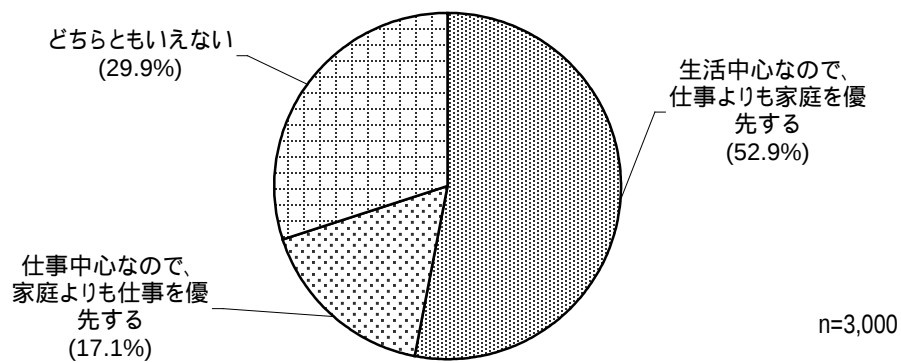
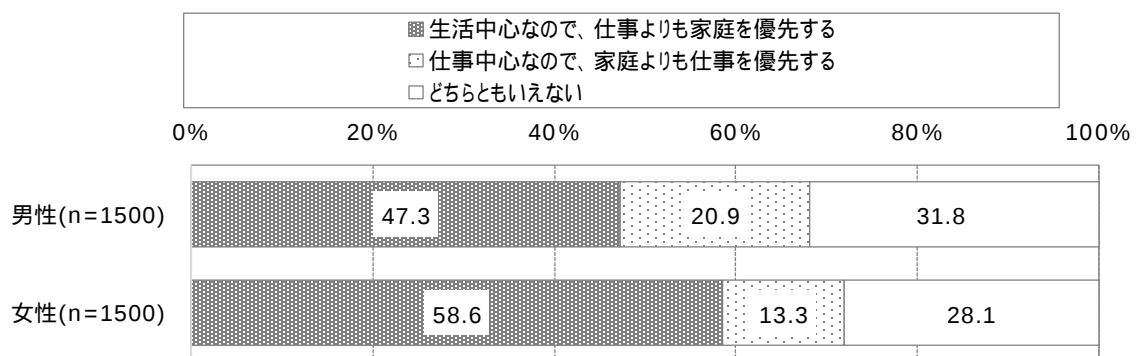


図 1 2 6



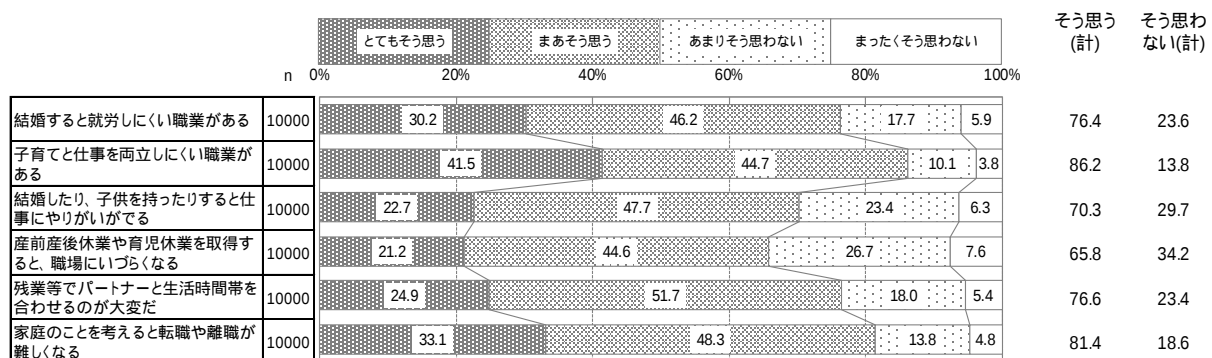
(4) 仕事と家庭との関係

Q14. 仕事と家庭との関係についてどう思いますか。

以下のそれぞれについて、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」のうちから1つ選んで答えてください。[SA]

仕事と家庭との関係について、「そう思う(計)」が最も高いのは、“子育てと仕事を両立しにくい職業がある”(86.2%)。次いで“家庭のことを考えると転職や離職が難しくなる”(81.4%)、“残業等でパートナーと生活時間帯を合わせるのが大変だ”(76.6%)と続く。一方、「そう思わない(計)」が最も高いのは、“産前産後休業や育児休業を取得すると、職場にいづらくなる”(34.2%)。次いで“結婚したり、子供を持ったりすると仕事にやりがいができる”(29.7%)、“結婚すると就労しにくい職業がある”(23.6%)と続く。

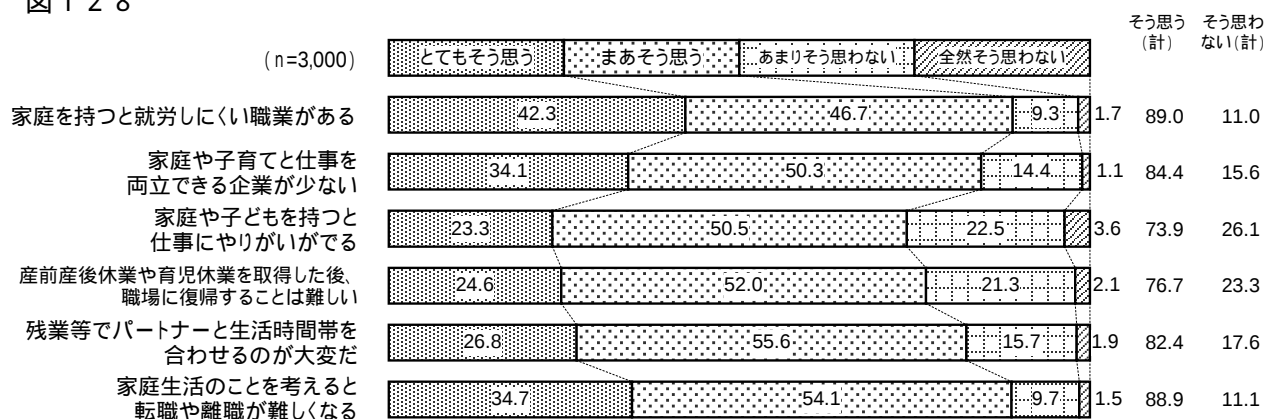
図127



<平成23年度調査結果>

Q 仕事と家庭との関係についてどう思うか、以下のそれぞれについて、とてもそう思う、まあそう思う、あまりそう思わない、全然そう思わない、のうちから一つ選んで答えてください。

図128

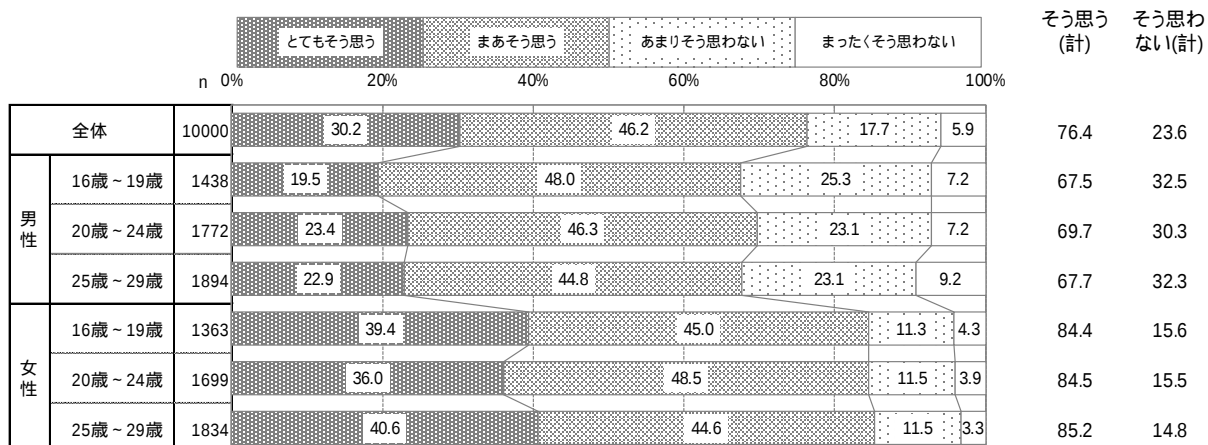


【結婚すると就労しにくい職業がある】

仕事と家庭との関係【結婚すると就労しにくい職業がある】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(46.2%)。次いで「とてもそう思う」(30.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、女性は全年齢共に「とてもそう思う」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「まったくそう思わない」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(9.2%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 2 9

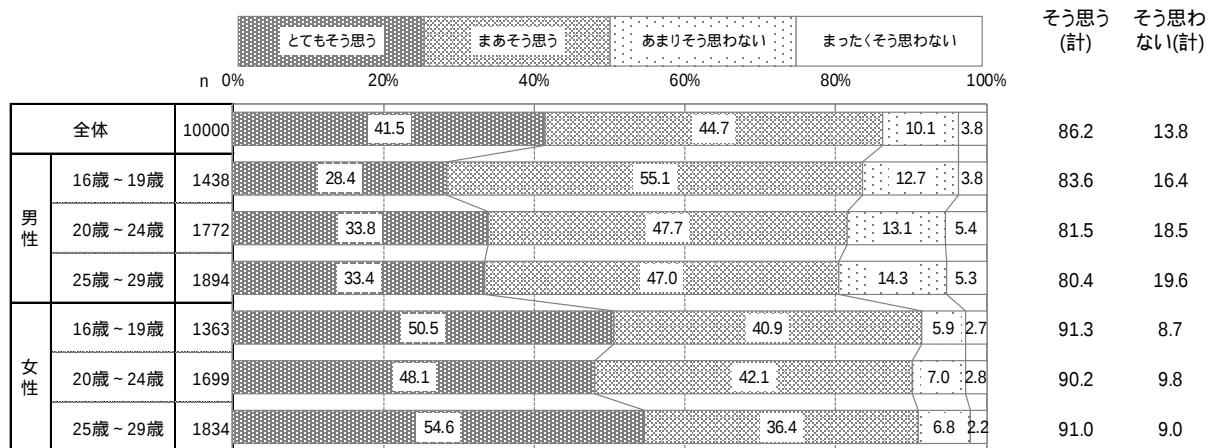


【子育てと仕事を両立しにくい職業がある】

仕事と家庭との関係【子育てと仕事を両立しにくい職業がある】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(44.7%)。次いで「とてもそう思う」(41.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(55.1%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。女性は全年齢層で「とてもそう思う」の割合が高く、特に“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(54.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 0

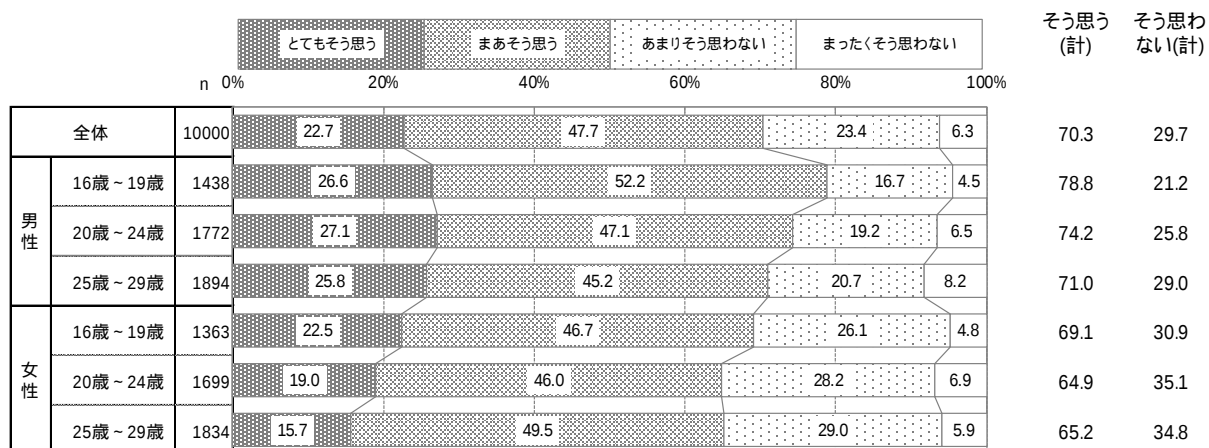


【結婚したり、子供を持ったりすると仕事にやりがいがある】

仕事と家庭との関係【結婚したり、子供を持ったりすると仕事にやりがいがある】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(47.7%)。次いで「あまりそう思わない」(23.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、“男性 16 歳～19 歳”は「そう思う(計)」(78.8%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 1

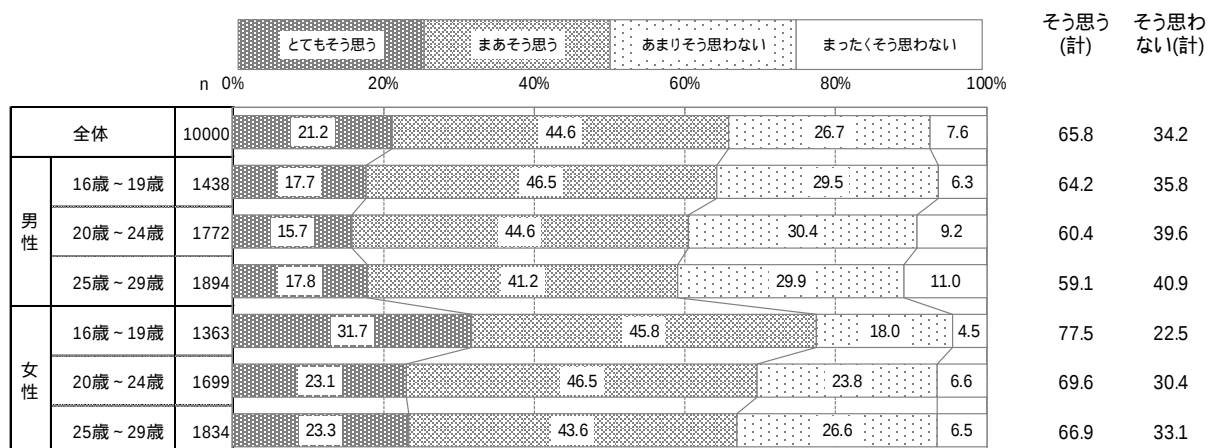


【産前産後休業や育児休業を取得すると、職場にいづらくなる】

仕事と家庭との関係【産前産後休業や育児休業を取得すると、職場にいづらくなる】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(44.6%)。次いで「あまりそう思わない」(26.7%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とてもそう思う」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(31.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。一方、“男性 20 歳～24 歳”と“男性 25 歳～29 歳”は「そう思わない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 2

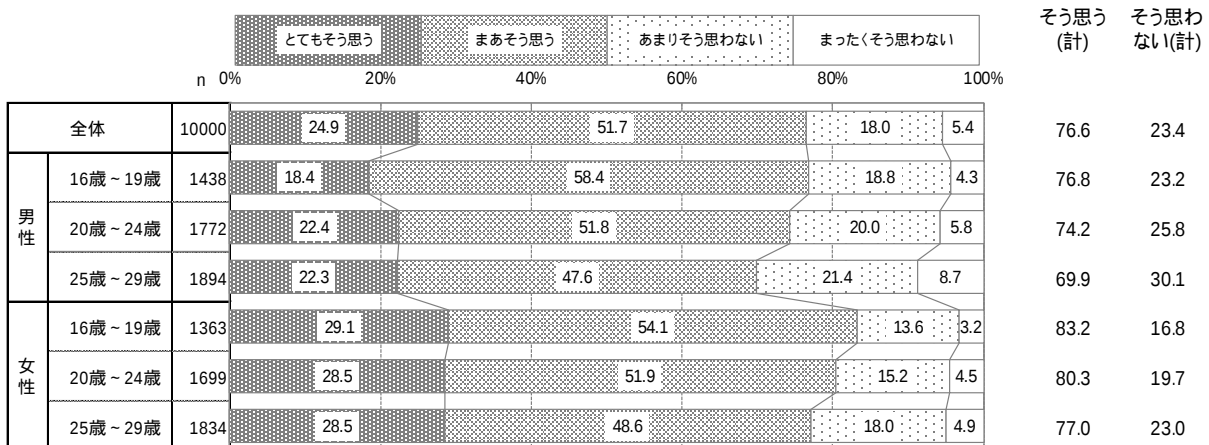


【残業等でパートナーと生活時間帯を合わせるのが大変だ】

仕事と家庭との関係【残業等でパートナーと生活時間帯を合わせるのが大変だ】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(51.7%)。次いで「とてもそう思う」(24.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「まあそう思う」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(58.4%)が最も高い。一方、「まったくそう思わない」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(8.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 3

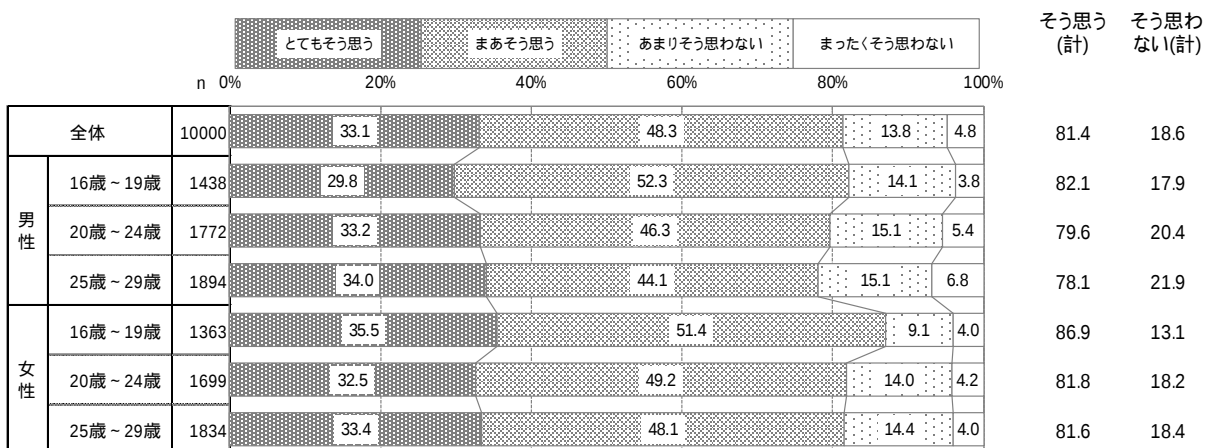


【家庭のことを考えると転職や離職が難しくなる】

仕事と家庭との関係【家庭のことを考えると転職や離職が難しくなる】について全体で最も高いのは、「まあそう思う」(48.3%)。次いで「とてもそう思う」(33.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、“男性 25 歳～29 歳”は「そう思わない(計)」(21.9%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 4



3 就労に対する不安

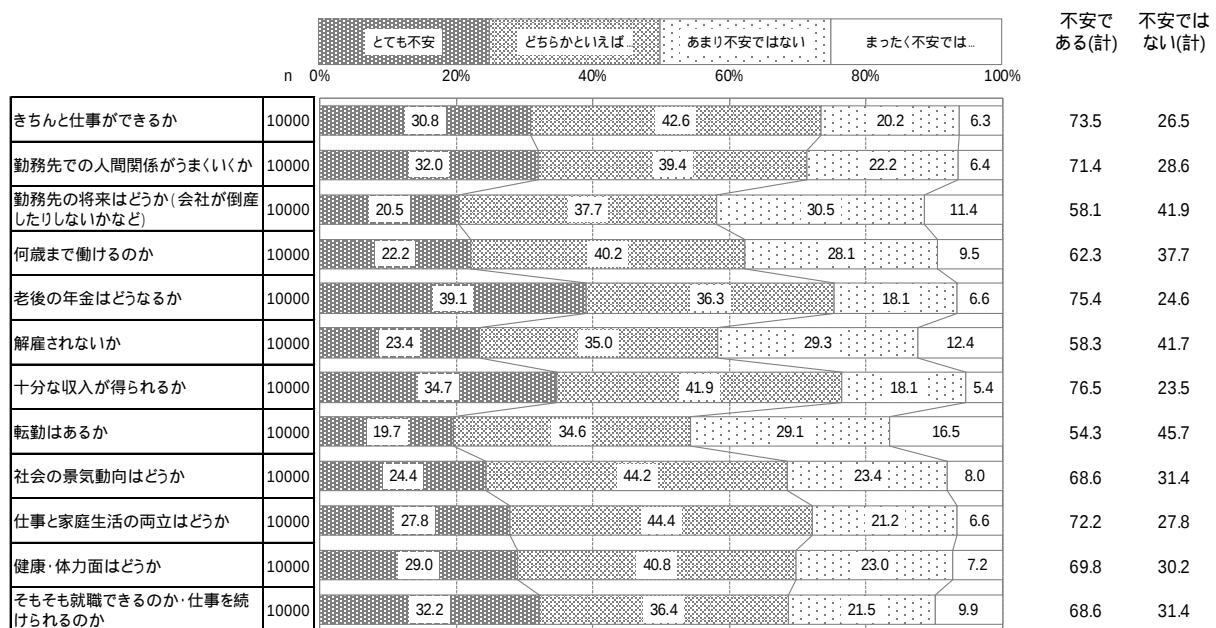
(1) 働くことへの不安

Q15. あなたは、働くことに関して、現在または将来、以下のようなことがどのくらい不安ですか。

それぞれについて、「とても不安」「どちらかといえば不安」「あまり不安ではない」「まったく不安ではない」のうちから1つ選んで教えてください。[SA]

働くことへの不安として、「不安である(計)」が最も高いのは、“十分な収入が得られるか”(76.5%)。次いで“老後の年金はどうか”(75.4%)、“きちんと仕事ができるか”(73.5%)と続く。一方、「不安ではない(計)」が最も高いのは、“転職はあるか”(45.7%)。次いで“勤務先の将来はどうか(会社が倒産したりしないかなど)”(41.9%)、“解雇されないか”(41.7%)と続く。

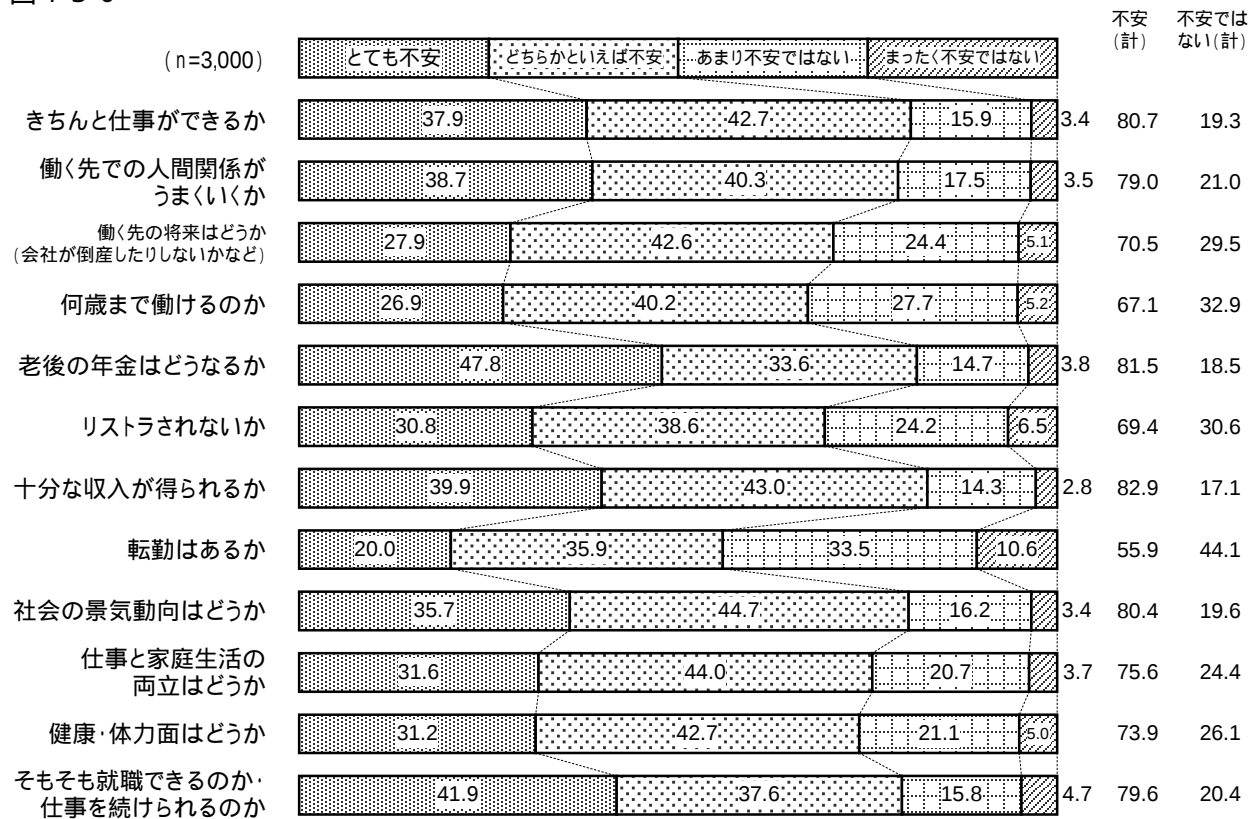
図135



<平成 23 年度調査結果>

Q あなたは、働くことに関して、現在または将来、以下のようなことがどのくらい不安ですか。
それぞれについて、 とても不安、 どちらかといえば不安、 あまり不安ではない、 ま
ったく不安ではない、 のうちから一つ選んで答えてください。

図 1 3 6

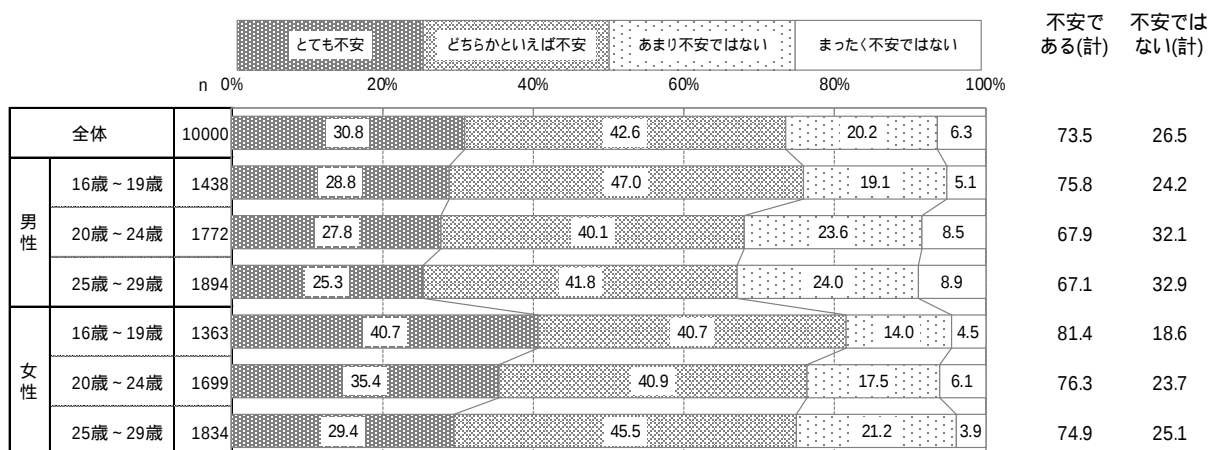


【きちんと仕事ができるか】

働くことへの不安【きちんと仕事ができるか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(42.6%)。次いで「とても不安」(30.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても不安」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(40.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。一方、“男性 20 歳～24 歳”と“男性 25 歳～29 歳”は「不安ではない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 7

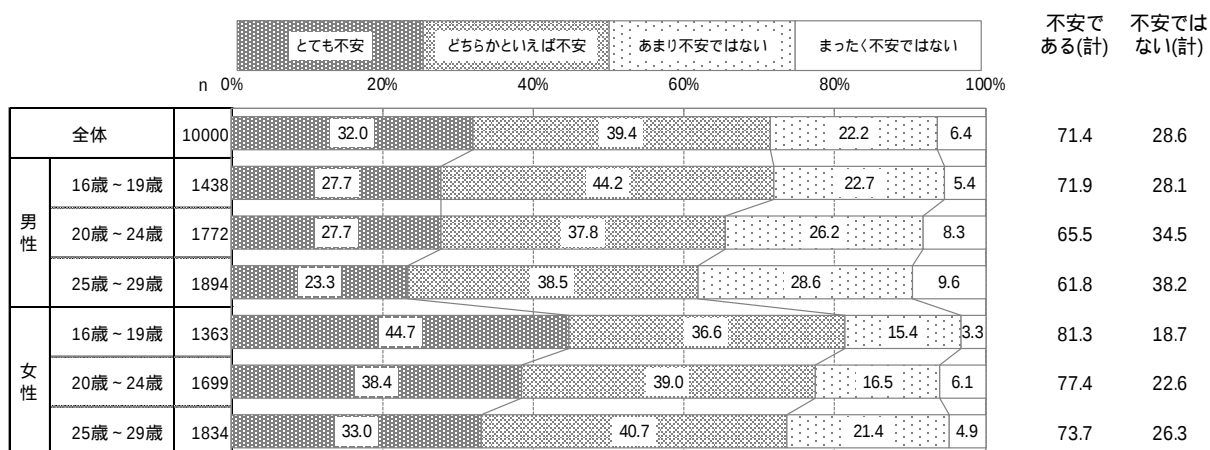


【勤務先での人間関係がうまくいくか】

働くことへの不安【勤務先での人間関係がうまくいくか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(39.4%)。次いで「とても不安」(32.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても不安」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(44.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。一方、“男性 20 歳～24 歳”と“男性 25 歳～29 歳”は「不安ではない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 8

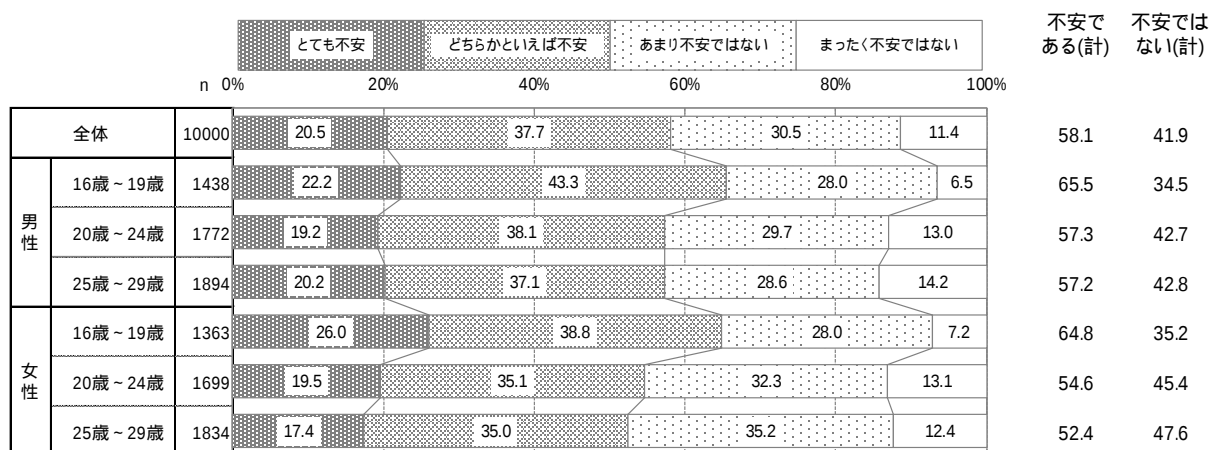


【勤務先の将来はどうか（会社が倒産したりしないかなど）】

働くことへの不安【勤務先の将来はどうか（会社が倒産したりしないかなど）】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(37.7%)。次いで「あまり不安ではない」(30.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらかといえば不安」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(43.3%)、「とても不安」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(26.0%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 3 9

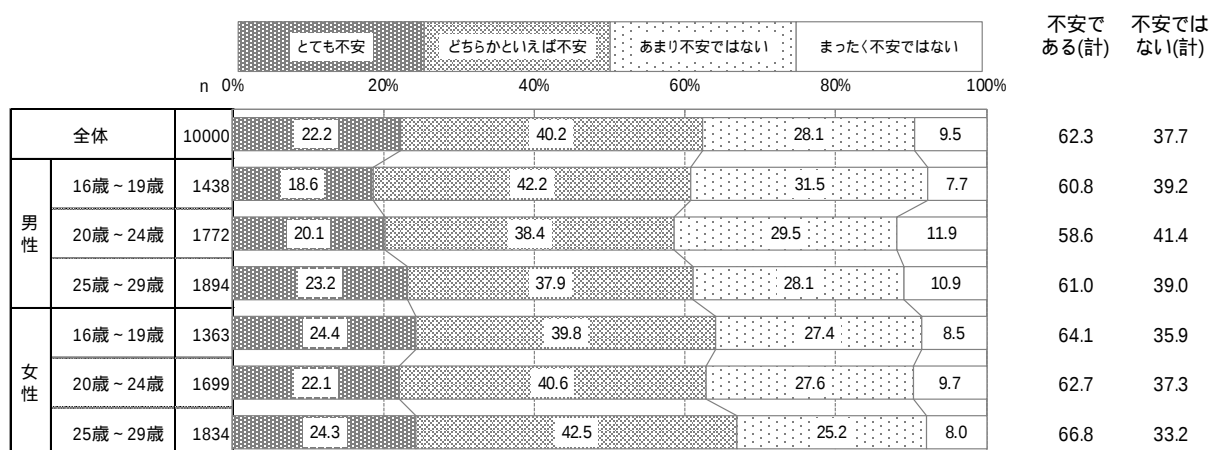


【何歳まで働けるのか】

働くことへの不安【何歳まで働けるのか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(40.2%)。次いで「あまり不安ではない」(28.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、“男性 20 歳～24 歳”は「不安ではない(計)」(41.4%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 0

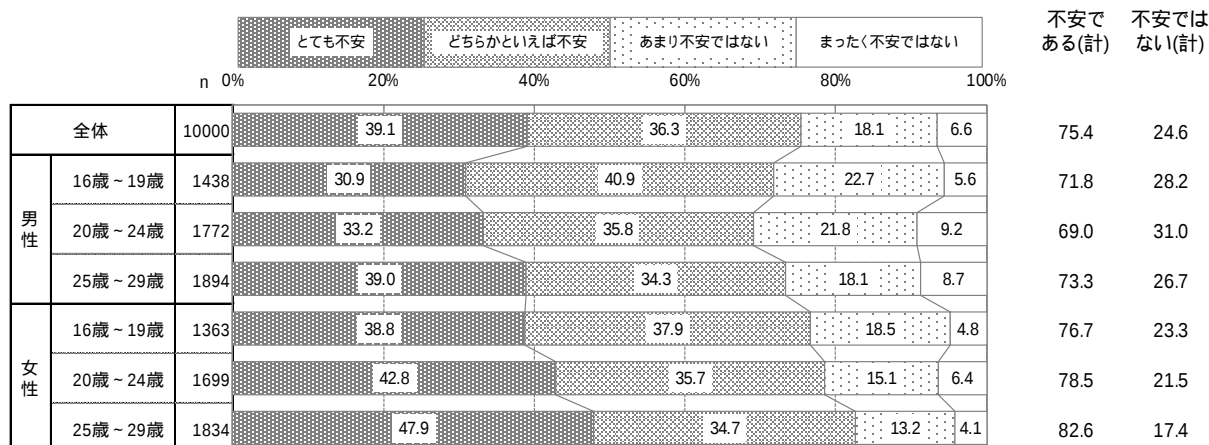


【老後の年金はどうか】

働くことへの不安【老後の年金はどうか】について全体で最も高いのは、「とても不安」(39.1%)。次いで「どちらかといえば不安」(36.3%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても不安」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(47.9%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。一方、“男性 20 歳～24 歳”は「不安ではない(計)」(31.0%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 1

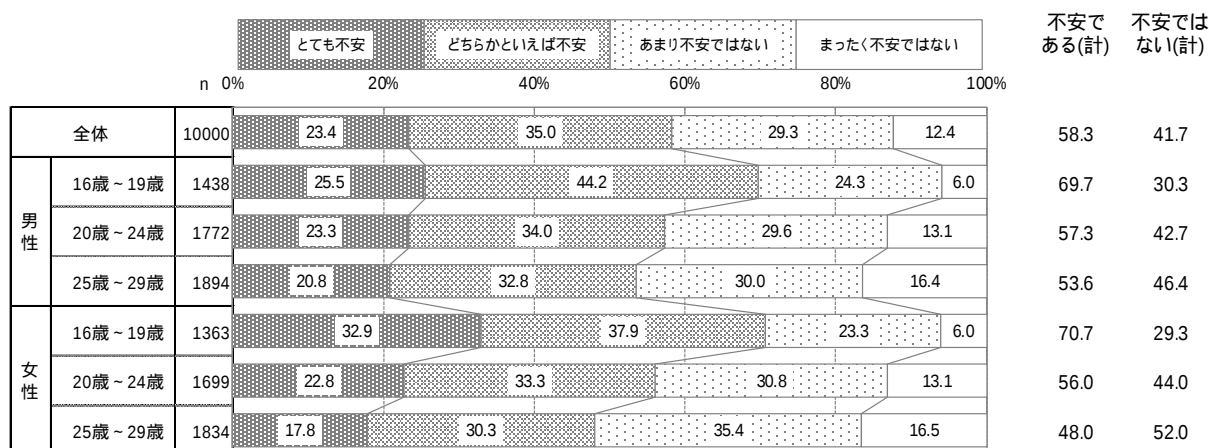


【解雇されないか】

働くことへの不安【解雇されないか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(35.0%)。次いで「あまり不安ではない」(29.3%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に“16 歳～19 歳”は「不安である(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「あまり不安ではない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(35.4%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 2

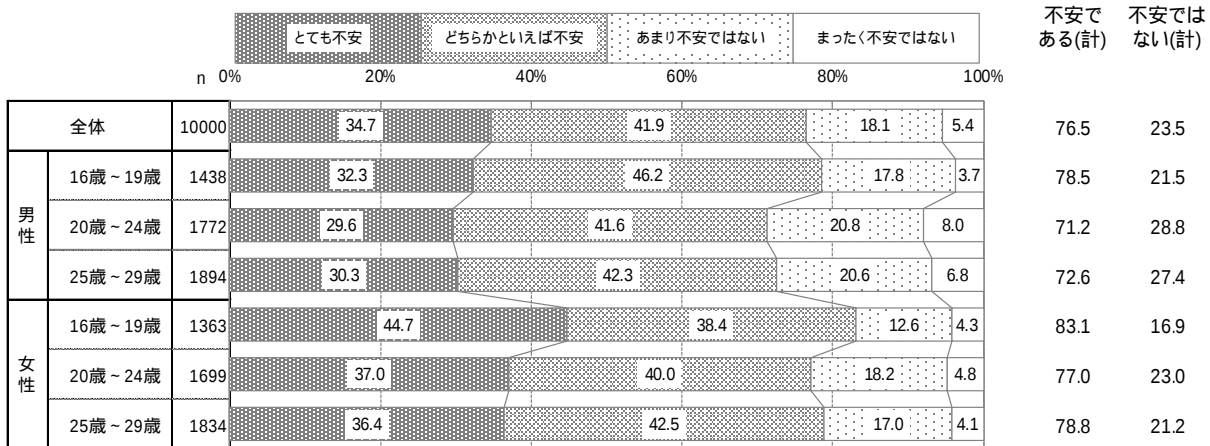


【十分な収入が得られるか】

働くことへの不安【十分な収入が得られるか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(41.9%)。次いで「とても不安」(34.7%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらかといえば不安」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(46.2%)、「とても不安」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(44.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 3

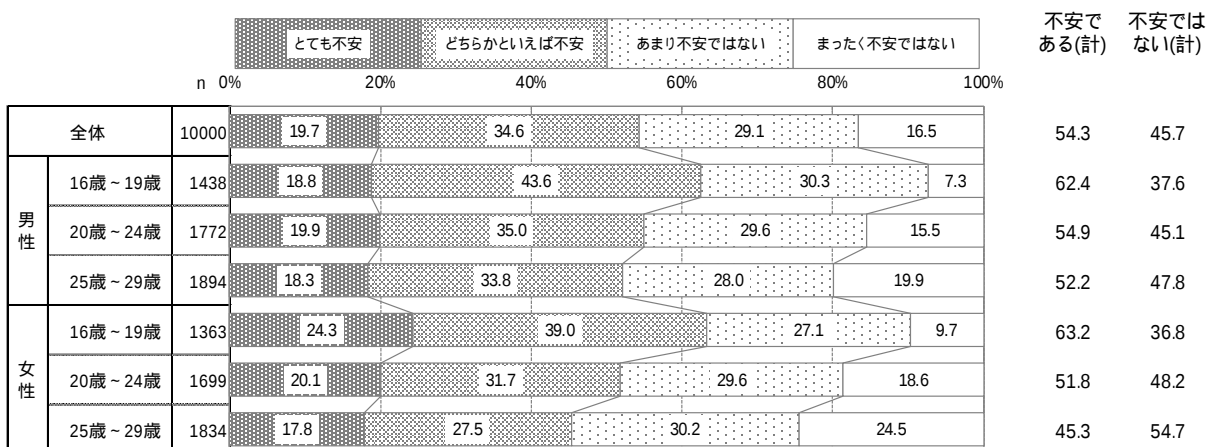


【転勤はあるか】

働くことへの不安【転勤はあるか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(34.6%)。次いで「あまり不安ではない」(29.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらかといえば不安」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(43.6%)、「とても不安」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(24.3%)がそれぞれ最も高い。一方、「まったく不安ではない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(24.5%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 4

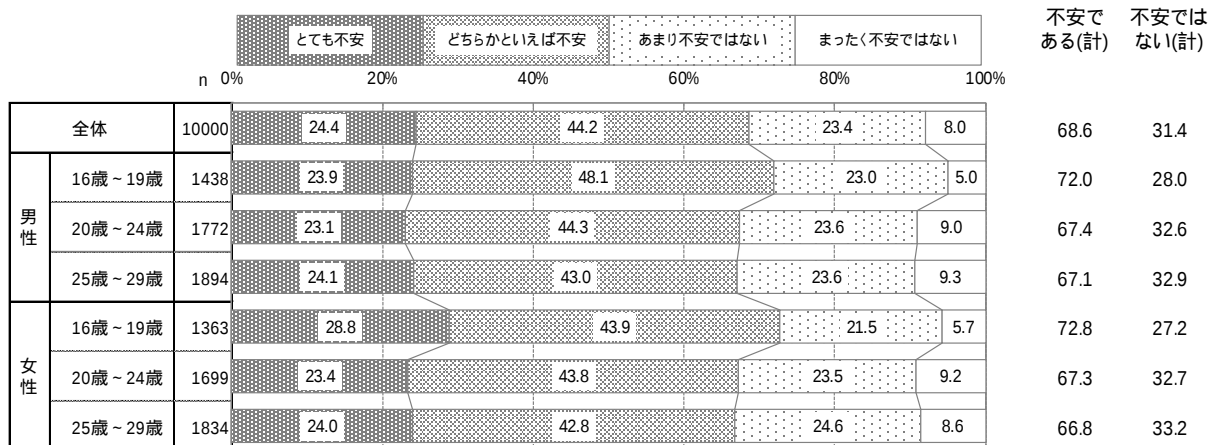


【社会の景気動向はどうか】

働くことへの不安【社会の景気動向はどうか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(44.2%)。次いで「とても不安」(24.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらかといえば不安」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(48.1%)、「とても不安」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(28.8%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 5

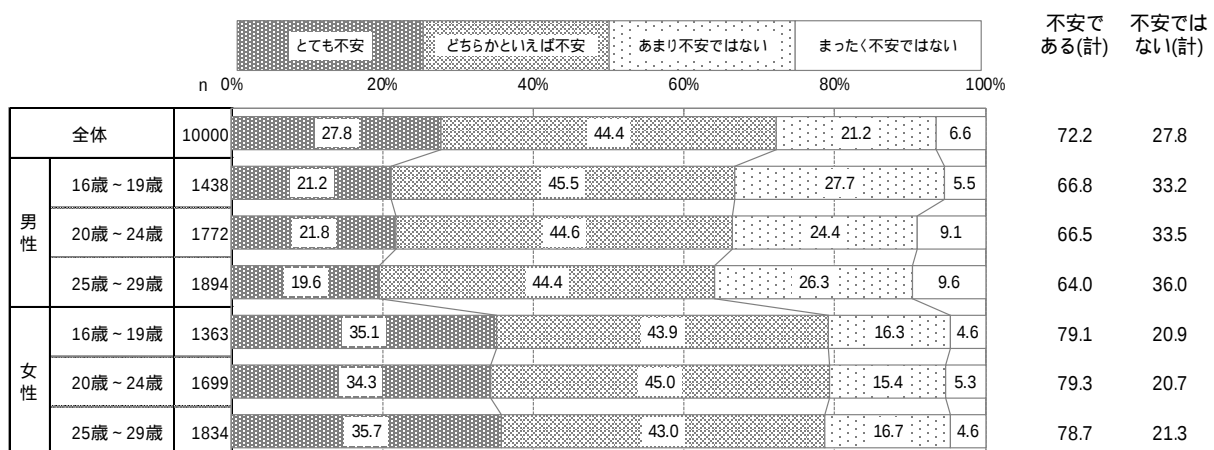


【仕事と家庭生活の両立はどうか】

働くことへの不安【仕事と家庭生活の両立はどうか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(44.4%)。次いで「とても不安」(27.8%)と続く。

性年齢区分別でみると、女性は全年齢共に「とても不安」の割合が高い。一方、男性は全年齢共に「不安ではない(計)」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 6

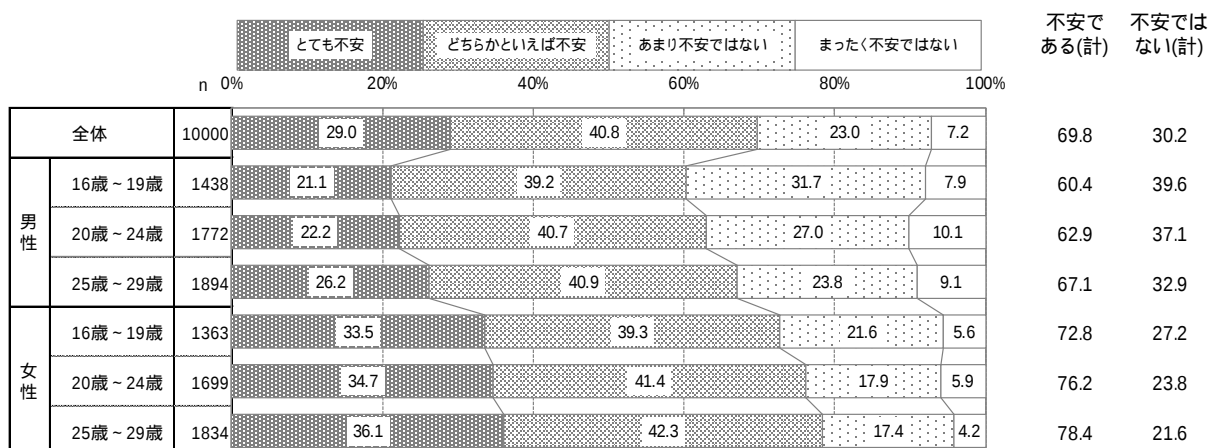


【健康・体力面はどうか】

働くことへの不安【健康・体力面はどうか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(40.8%)。次いで「とても不安」(29.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、女性は全年齢共に「とても不安」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「あまり不安ではない」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(31.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 7

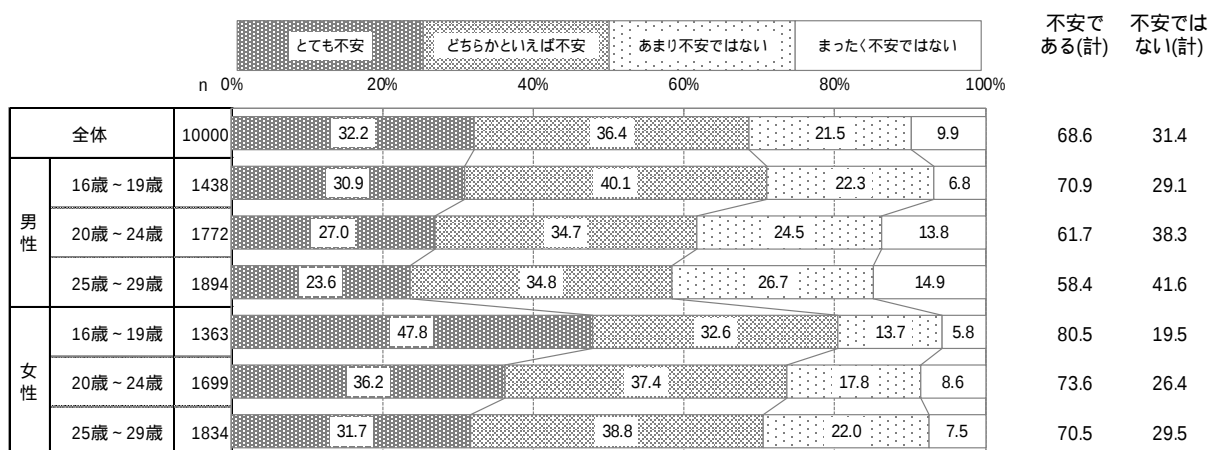


【そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか】

働くことへの不安【そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか】について全体で最も高いのは、「どちらかといえば不安」(36.4%)。次いで「とても不安」(32.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「とても不安」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(47.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 4 8



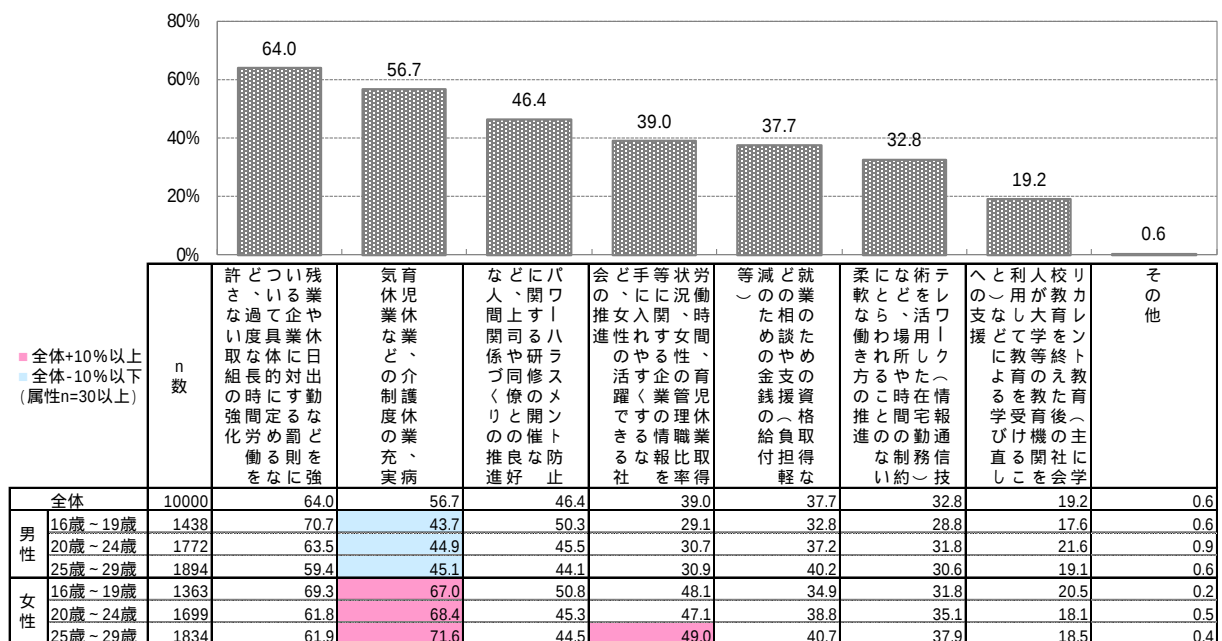
(2) 不安解消のための取組

Q16. 働くことへの不安を解消するために、次の取組は役に立つと思いますか。[MA]

不安解消のための取組について全体で最も高いのは、「残業や休日出勤などを強いる企業に対する罰則について具体的に定めるなど、過度な長時間労働を許さない取組の強化」(64.0%)。次いで「育児休業、介護休業、病気休業などの制度の充実」(56.7%)、「パワーハラスメント防止に関する研修の開催など、上司や同僚との良好な人間関係づくりの推進」(46.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に“16歳～19歳”は「残業や休日出勤などを強いる企業に対する罰則について具体的に定めるなど、過度な長時間労働を許さない取組の強化」、「パワーハラスメント防止に関する研修の開催など、上司や同僚との良好な人間関係づくりの推進」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。「育児休業、介護休業、病気休業などの制度の充実」の回答は、“女性25歳～29歳”に占める割合(71.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図149



4 就労に関する相談先

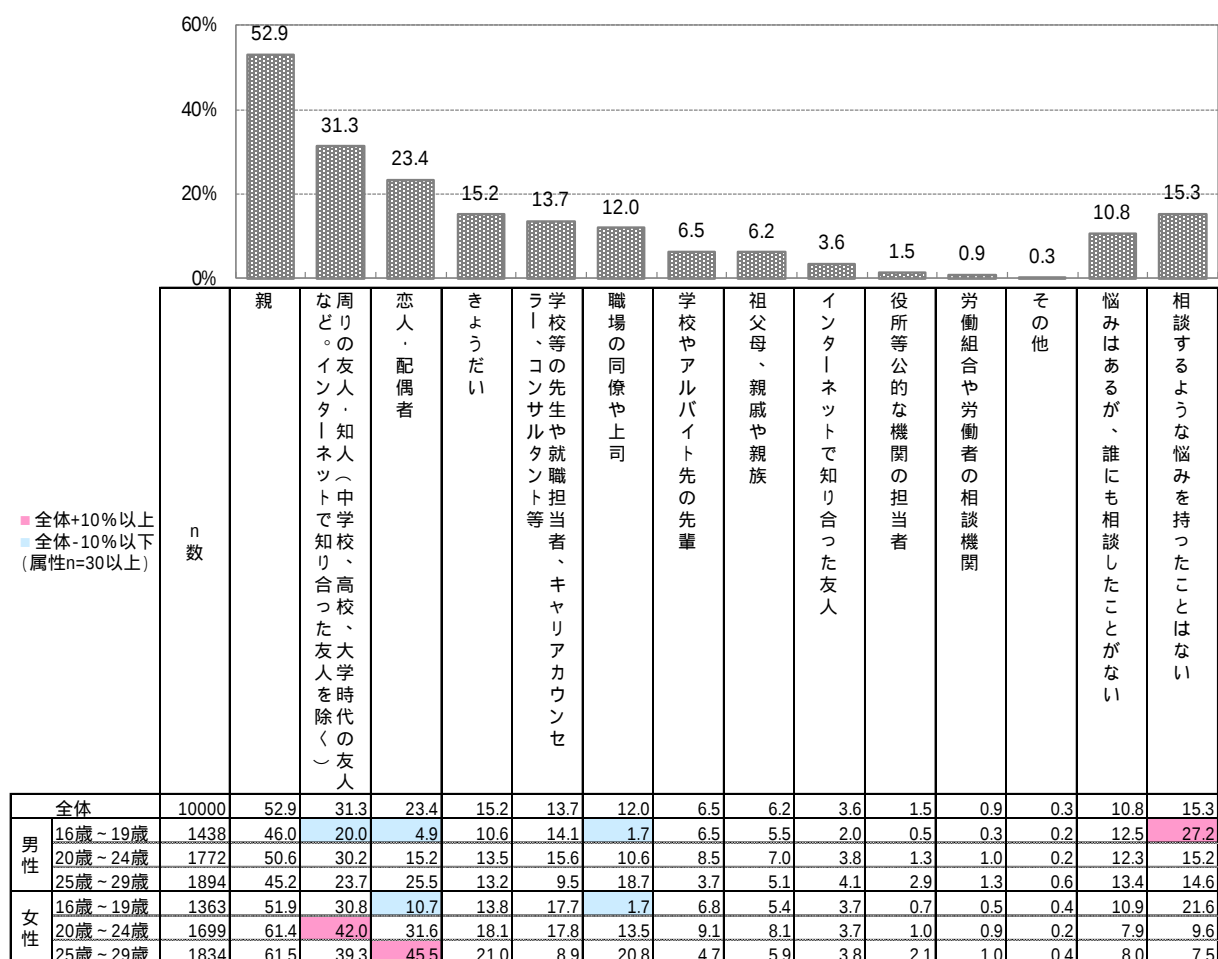
(1) 働くことに関する相談先

Q17. あなたは、「働くこと」(就職をすることや就職してから働き続けること等をすべて含みます。以下同じ。)の悩み等について、誰かにこれまで相談したことがありますか。[MA]

働くことに関する相談先について全体で最も高いのは、「親」(52.9%)。次いで「周りの友人・知人(中学校、高校、大学時代の友人など。インターネットで知り合った友人を除く)」(31.3%)、「恋人・配偶者」(23.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、“女性 20 歳～24 歳”と“女性 25 歳～29 歳”は「親」、「きょうだい」、「周りの友人・知人(中学校、高校、大学時代の友人など。インターネットで知り合った友人を除く)」、「恋人・配偶者」、「職場の同僚や上司」の割合が高い。一方、「相談するような悩みを持ったことはない」の回答は、男女共に“16 歳～19 歳”に占める割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

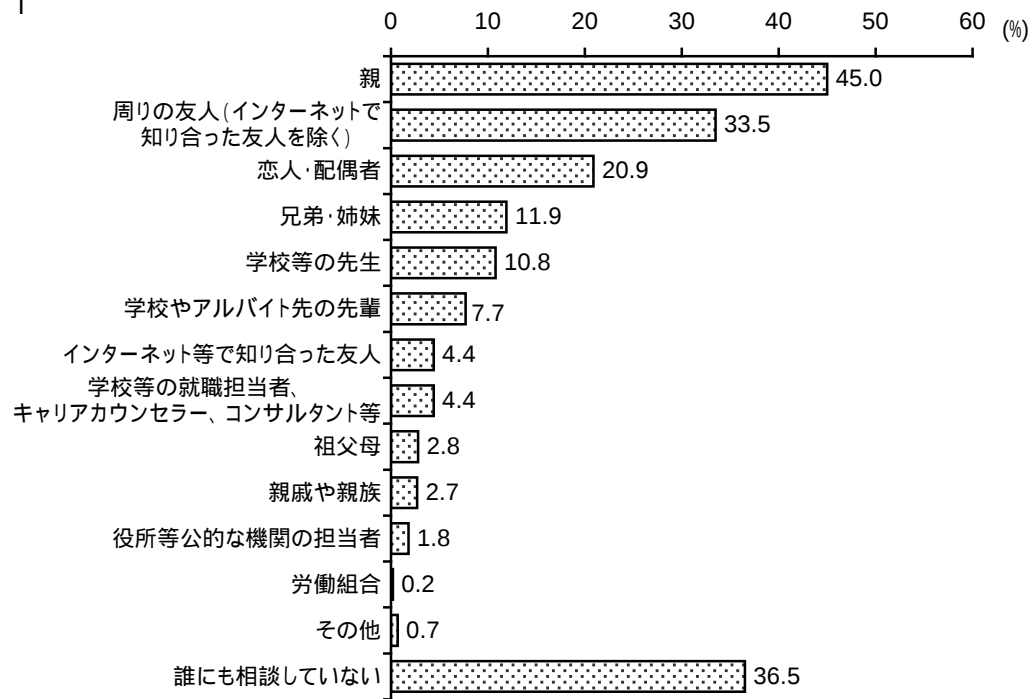
図 150



<平成 23 年度調査結果>

Q あなたは、「働くこと」(就職をすることや就職してから働き続けること等を含みます。以下同じ。)の悩み等について、誰かに相談したことがありますか。(複数選択可)

図 1 5 1



n=3,000

(2) 相談の効果

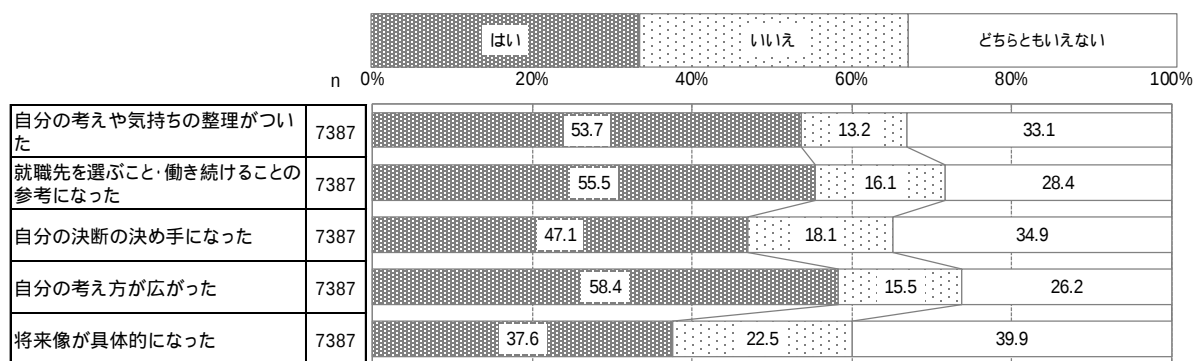
Q18. 前問で、「働くことの悩みを相談した事がある」と回答した方にお伺いします。

相談した結果が次のようなことに役立ちましたか。

以下のそれぞれについて、「はい」「いいえ」「どちらともいえない」のうちから1つ選んで答えてください。[SA]

相談の効果について“自分の考えや気持ちの整理がついた”では「はい」(53.7%)、“就職先を選ぶこと・働き続けることの参考になった”では「はい」(55.5%)、“自分の決断の決め手になった”では「はい」(47.1%)、「自分の考え方が広がった」では「はい」(58.4%)、「将来像が具体的になった」では「どちらともいえない」(39.9%)が高い割合となった。

図152

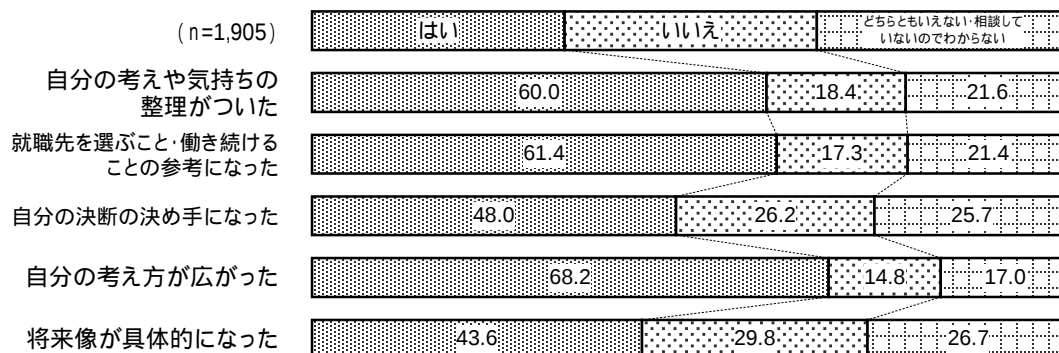


Q17で働くことの悩みを相談した経験者のみ回答。

<平成23年度調査結果>

Q 相談した結果が次のようなことに役立ちましたか。以下のそれぞれについて、 はい、 いいえ、 どちらともいえない・相談していないのでわからない、のうちから一つ選んで答えてください。

図153

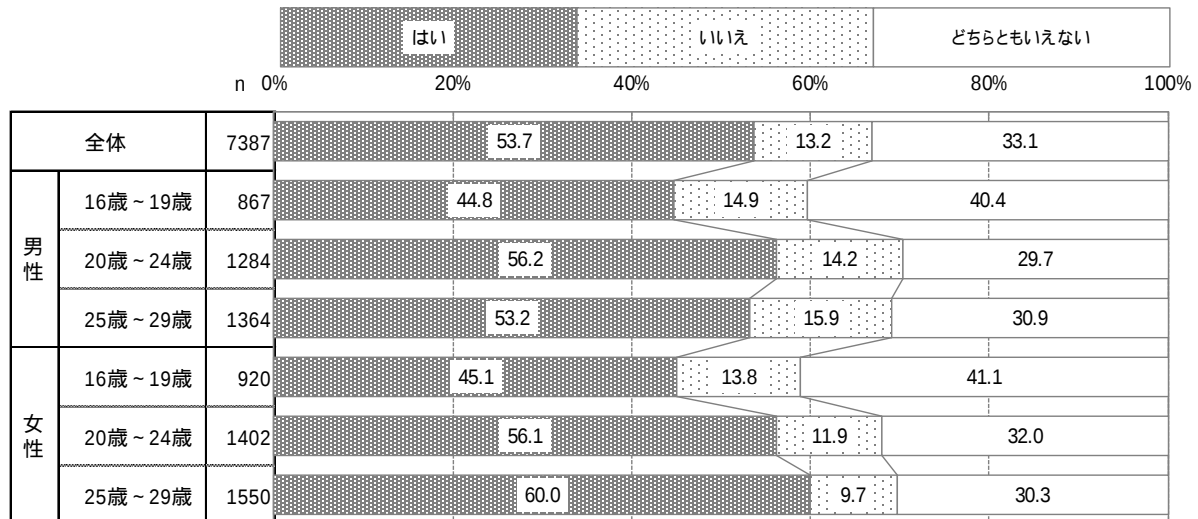


【自分の考えや気持ちの整理がついた】

相談の効果【自分の考えや気持ちの整理がついた】について全体で最も高いのは、「はい」(53.7%)。次いで「どちらともいえない」(33.1%)と続く。

性年齢区分別でみると、「はい」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(60.0%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。男女共に“16 歳～19 歳”は「どちらともいえない」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 5 4



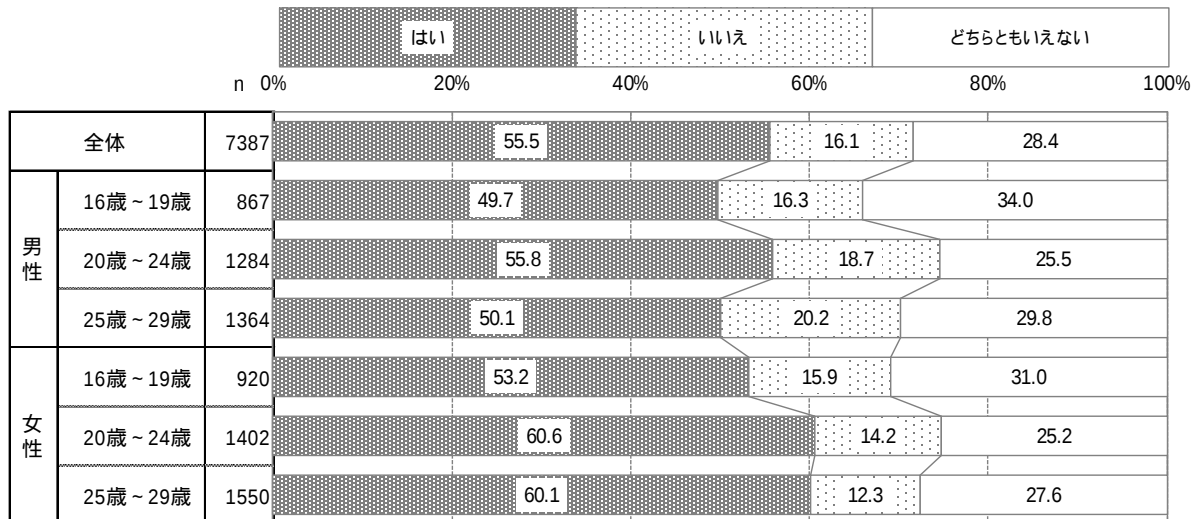
Q17 で働くことの悩みを相談した経験者のみ回答。

【就職先を選ぶこと・働き続けることの参考になった】

相談の効果【就職先を選ぶこと・働き続けることの参考になった】について全体で最も高いのは、「はい」(55.5%)。次いで「どちらともいえない」(28.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、“女性 20 歳～24 歳”と“女性 25 歳～29 歳”は「はい」の割合が高い。一方、「いいえ」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(20.2%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 5 5



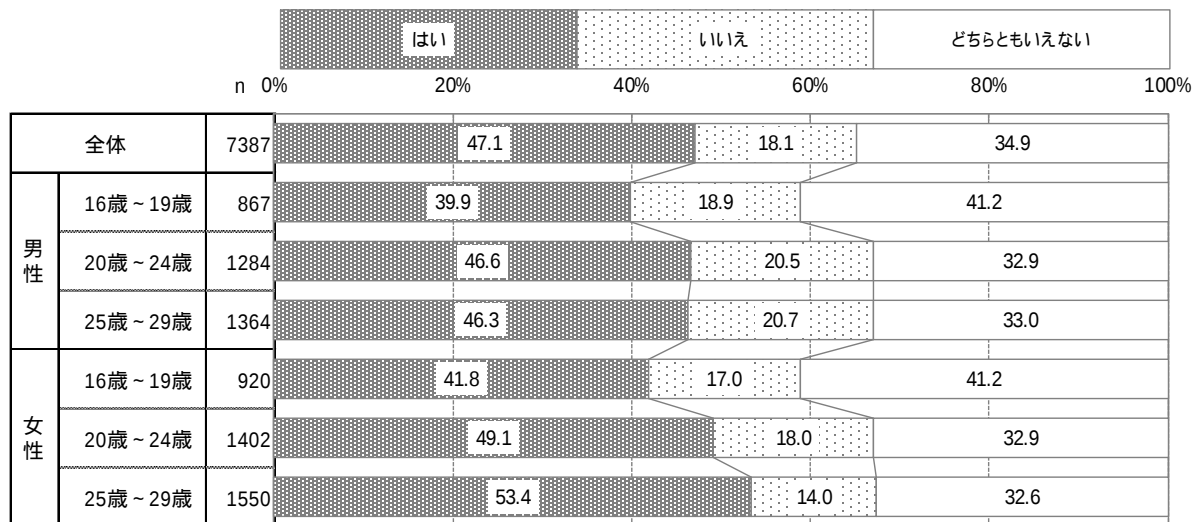
Q17 で働くことの悩みを相談した経験者のみ回答。

【自分の決断の決め手になった】

相談の効果【自分の決断の決め手になった】について全体で最も高いのは、「はい」(47.1%)。次いで「どちらともいえない」(34.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「はい」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(53.4%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 5 6



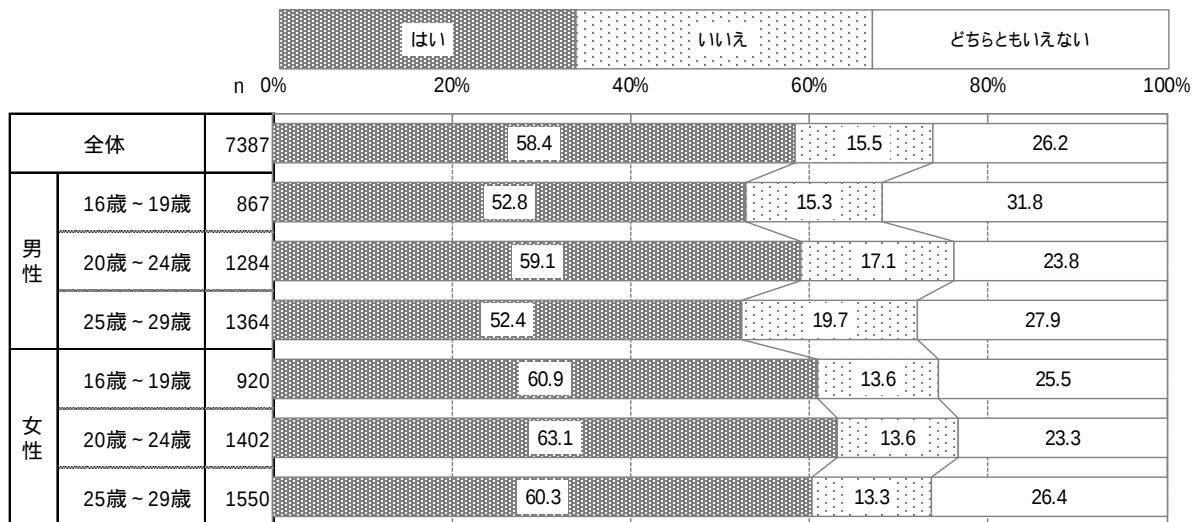
Q17 で働くことの悩みを相談した経験者のみ回答。

【自分の考え方が広がった】

相談の効果【自分の考え方が広がった】について全体で最も高いのは、「はい」(58.4%)。次いで「どちらともいえない」(26.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらともいえない」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(31.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 5 7



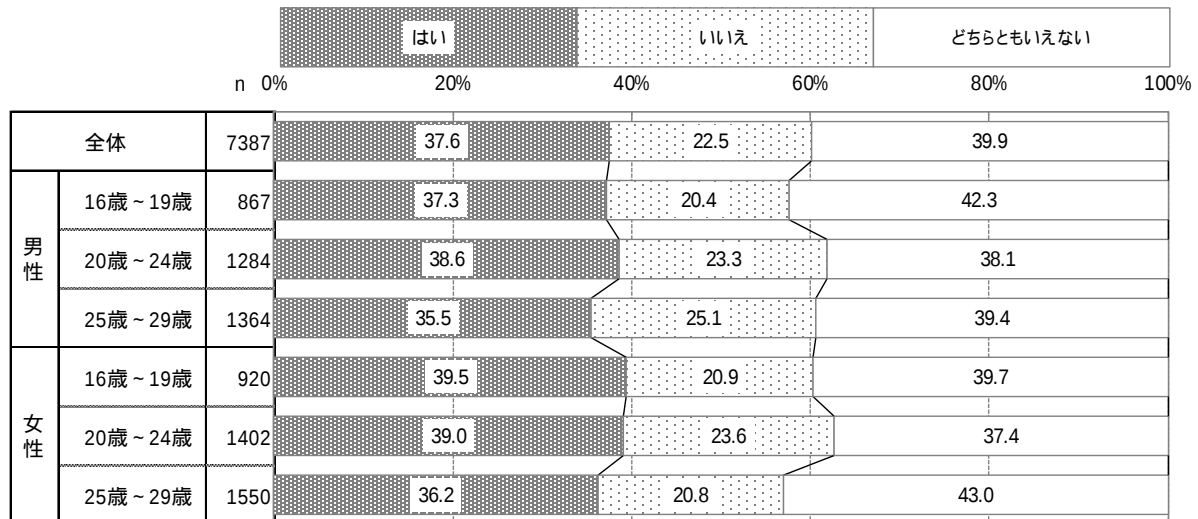
Q17 で働くことの悩みを相談した経験者のみ回答。

【将来像が具体的になった】

相談の効果【将来像が具体的になった】について全体で最も高いのは、「どちらともいえない」(39.9%)。次いで「はい」(37.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、「いいえ」の回答は“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(25.1%)、「どちらともいえない」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(43.0%)がそれぞれ最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 5 8



Q17 で働くことの悩みを相談した経験者のみ回答。

5 キャリア教育・職業教育

(1) キャリア教育・職業教育の経験

Q19. あなたは、次のようなキャリア教育・職業教育を受けた経験がありますか。[MA]

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。職業教育とは、一定又は特定の職業に従事するために必要な、知識、技能、能力や態度を育てる教育のこと。

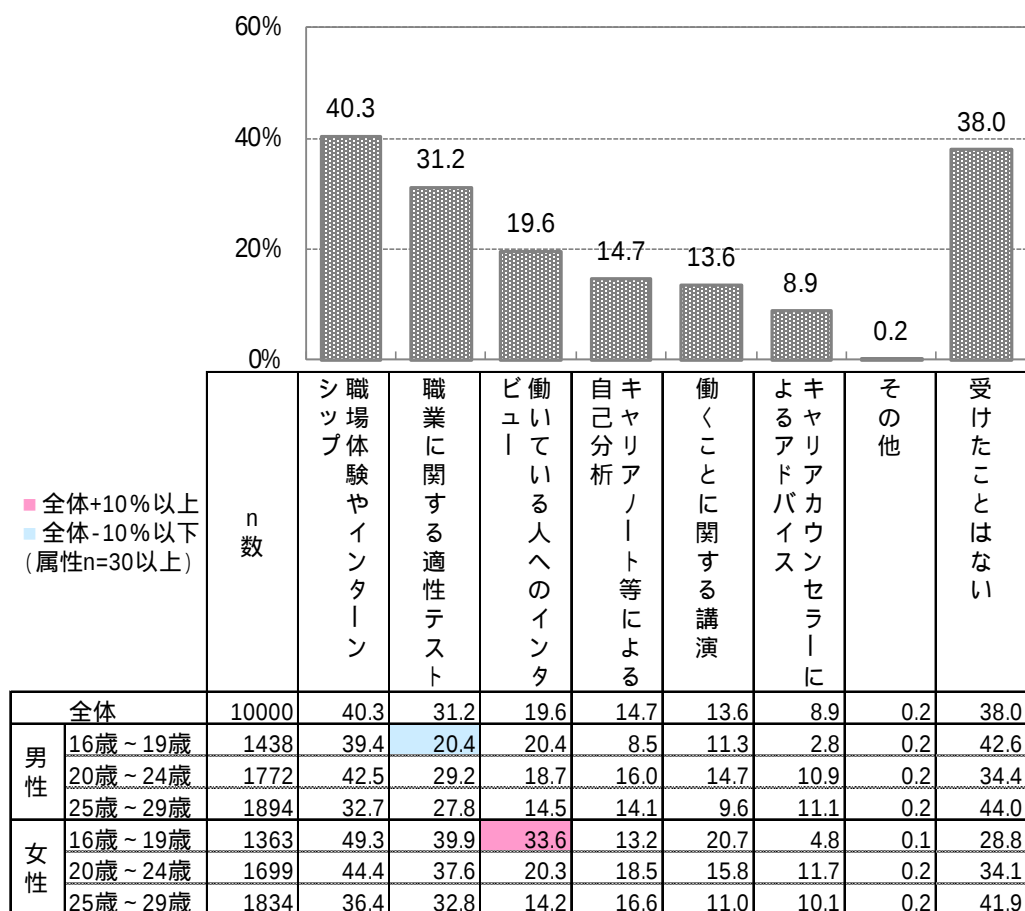
職場体験とは、事業所等の職場で実際に働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動。

インターンシップとは、一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度。

キャリア教育・職業教育の経験について(「受けたことはない」を除いて)全体で最も高いのは、「職場体験やインターンシップ」(40.3%)。次いで「職業に関する適性テスト」(31.2%)、「働いている人へのインタビュー」(19.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、“女性 16 歳～19 歳”は「職場体験やインターンシップ」(49.3%)、「働いている人へのインタビュー」(33.6%)、「働くことに関する講演」(20.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

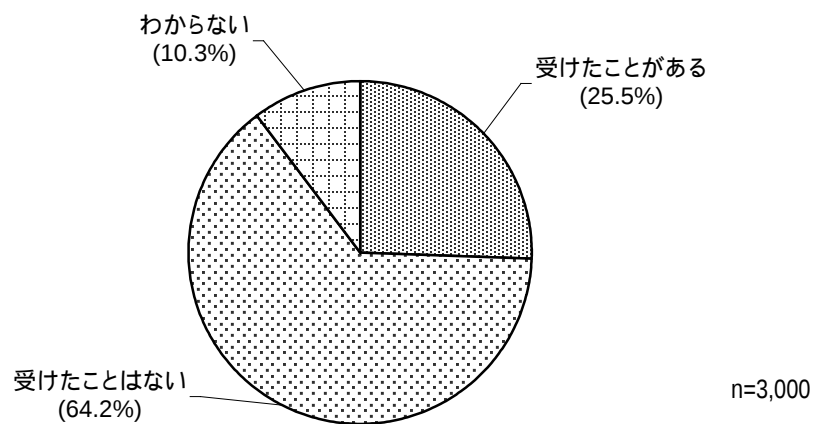
図 159



<平成 23 年度調査結果>

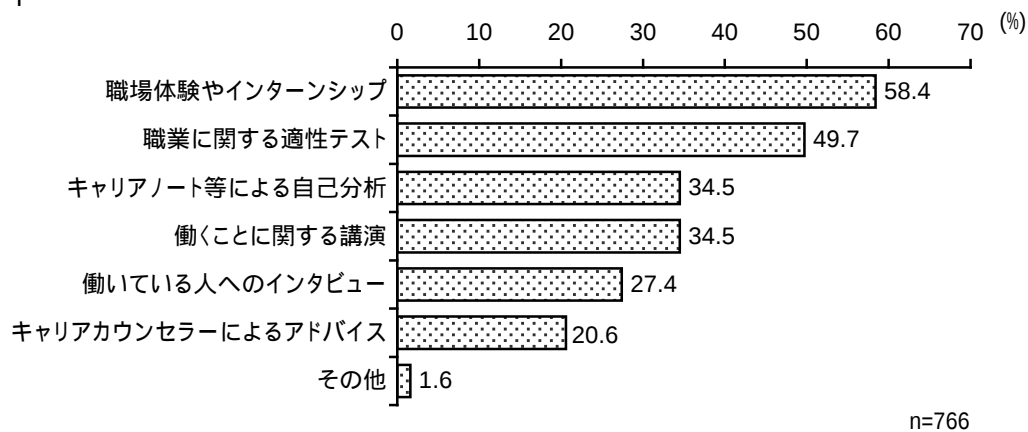
Q あなたは、キャリア教育・職業教育を受けたことがありますか。(1つ選択)

図 1 6 0



Q あなたが受けた、キャリア教育・職業教育はどのようなものでしたか。(複数選択可)

図 1 6 1

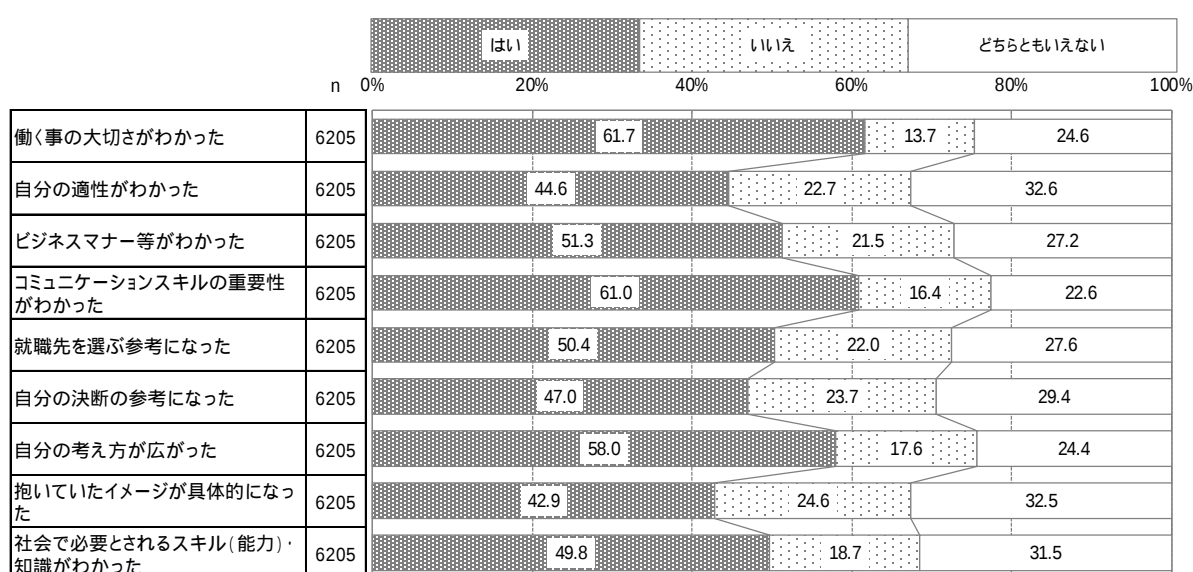


(2) キャリア教育・職業教育の効果

Q20. 前問で、「キャリア教育・職業教育を受けた経験がある」と回答した方にお伺いします。
 キャリア教育・職業教育を受けた結果、次のような点で役に立ちましたか。
 以下のそれぞれについて、「はい」「いいえ」「どちらともいえない」のうちから 1 つ選んで
 教えてください。[SA]

キャリア教育・職業教育の効果について“働く事の大切さがわかった”では「はい」(61.7%)、“自分の適性がわかった”では「はい」(44.6%)、“ビジネスマナー等がわかった”では「はい」(51.3%)、“コミュニケーションスキルの重要性がわかった”では「はい」(61.0%)、“就職先を選ぶ参考になった”では「はい」(50.4%)、“自分の決断の参考になった”では「はい」(47.0%)、“自分の考え方が広がった”では「はい」(58.0%)、“抱いていたイメージが具体的になった”では「はい」(42.9%)、“社会で必要とされるスキル(能力)・知識がわかった”では「はい」(49.8%)が高い割合となった。

図 1 6 2

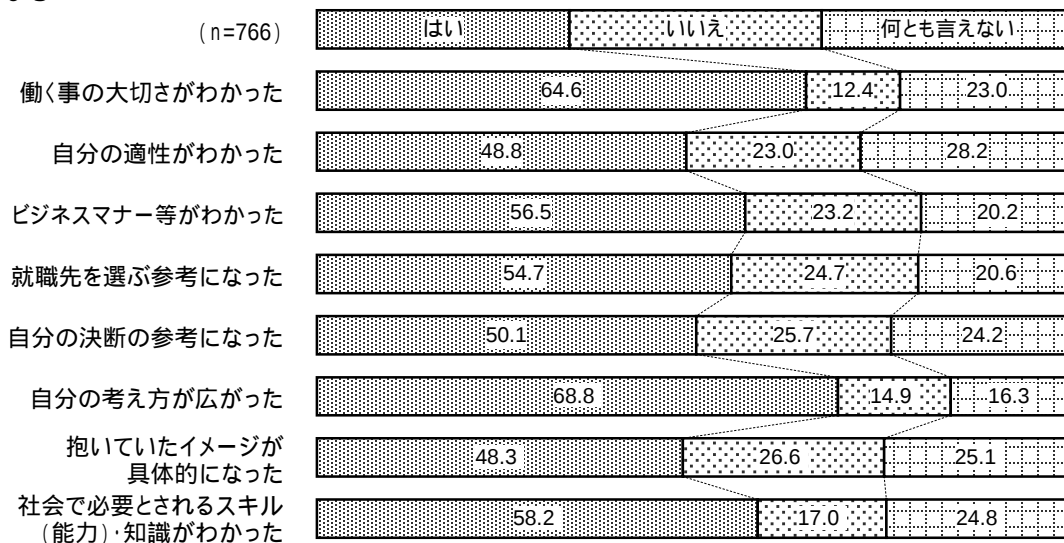


Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

<平成 23 年度調査結果>

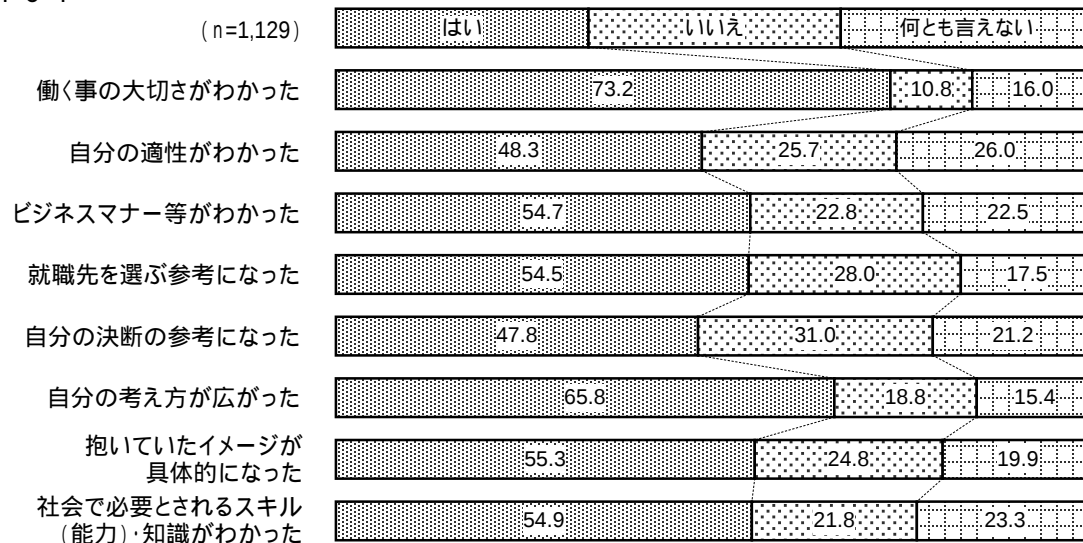
Q キャリア教育・職業教育を受けた結果、次のような点で役に立ちましたか。以下のそれぞれについて、 はい、 いいえ、 何とも言えない、 のうちから一つ選んで教えてください。

図 1 6 3



Q 体験した結果が、次のような点で役に立ちましたか。以下のそれぞれについて、 はい、 いいえ、 何とも言えない、 のうちから一つ選んで教えてください。

図 1 6 4

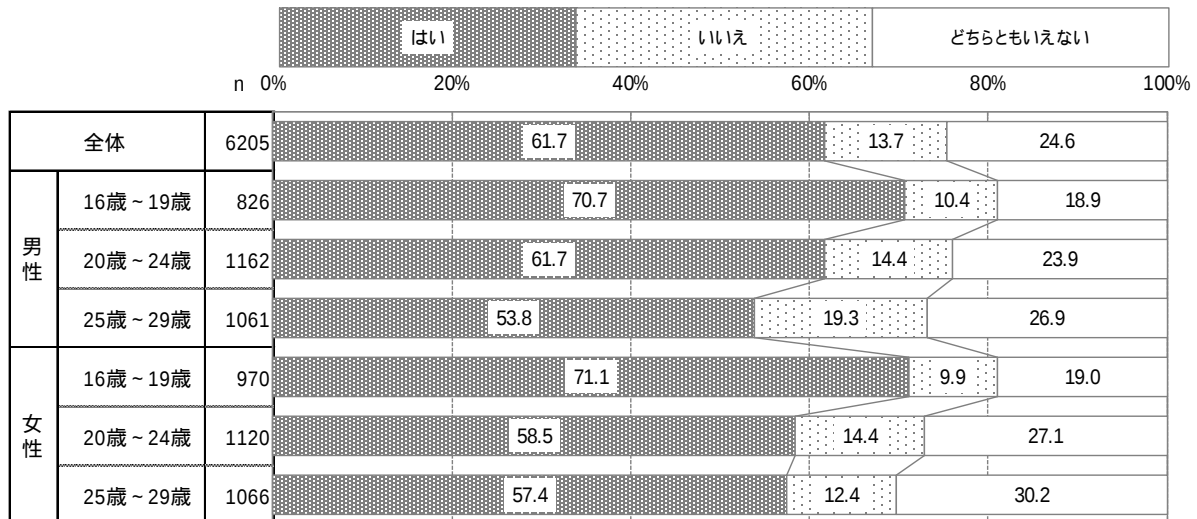


【働く事の大切さがわかった】

キャリア教育・職業教育の効果【働く事の大切さがわかった】について全体で最も高いのは、「はい」(61.7%)。次いで「どちらともいえない」(24.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に“16歳～19歳”は「はい」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、「いいえ」の回答は、“男性25歳～29歳”に占める割合(19.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図165



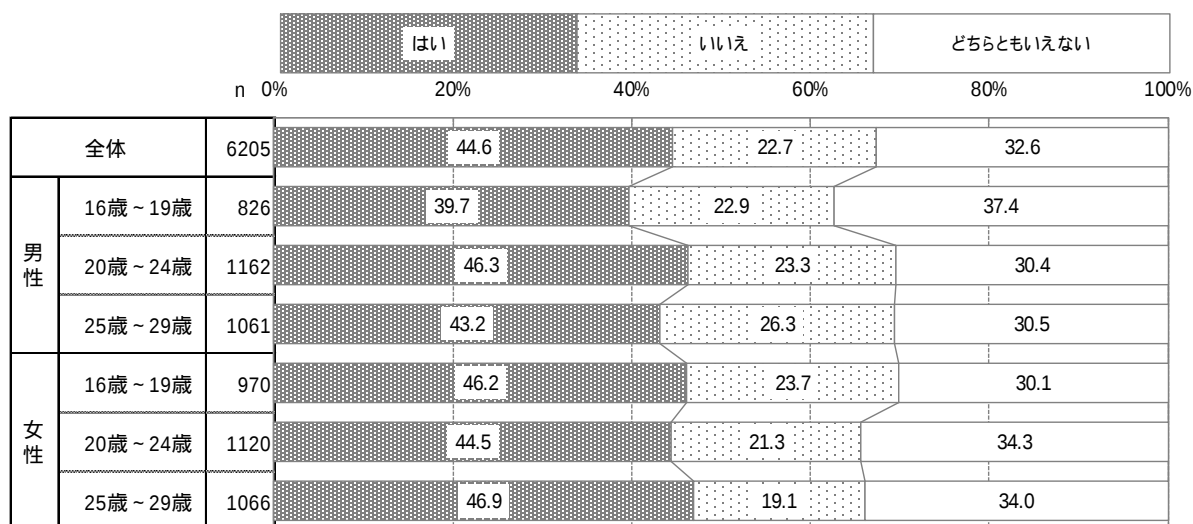
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【自分の適性がわかった】

キャリア教育・職業教育の効果【自分の適性がわかった】について全体で最も高いのは、「はい」(44.6%)。次いで「どちらともいえない」(32.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらともいえない」の回答は、“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(37.4%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 6 6



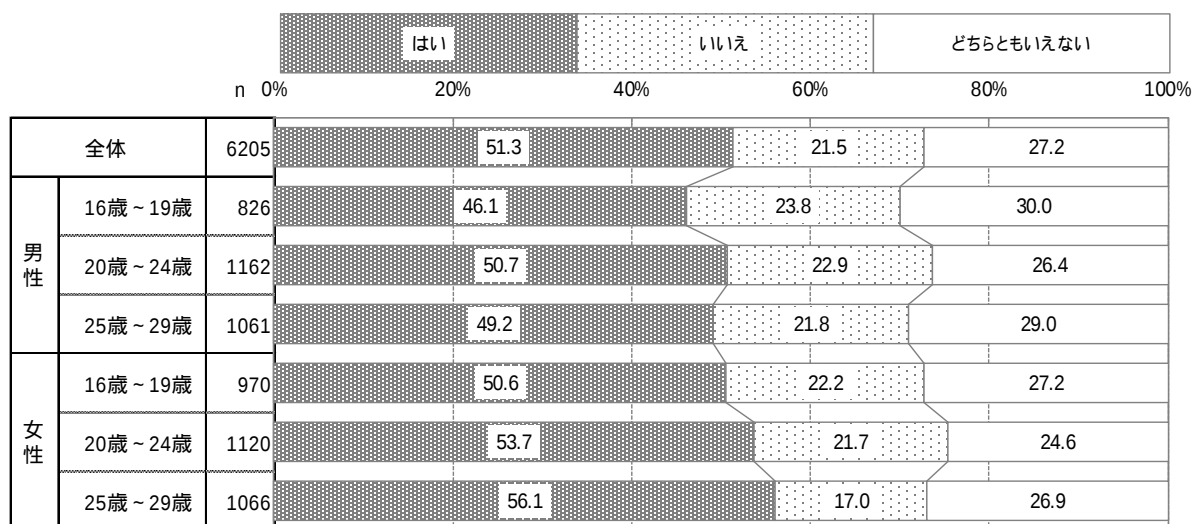
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【ビジネスマナー等がわかった】

キャリア教育・職業教育の効果【ビジネスマナー等がわかった】について全体で最も高いのは、「はい」(51.3%)。次いで「どちらともいえない」(27.2%)と続く。

性年齢区分別でみると、「はい」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(56.1%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 6 7



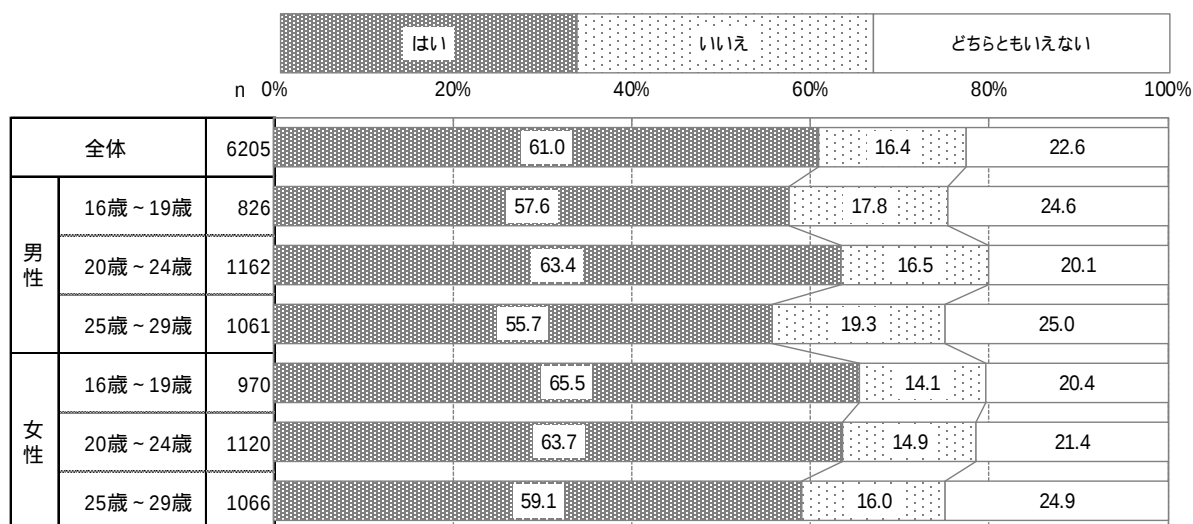
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【コミュニケーションスキルの重要性がわかった】

キャリア教育・職業教育の効果【コミュニケーションスキルの重要性がわかった】について全体で最も高いのは、「はい」(61.0%)。次いで「どちらともいえない」(22.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、“男性 20 歳～24 歳”、“女性 16 歳～19 歳”、“女性 20 歳～24 歳”は「はい」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 6 8



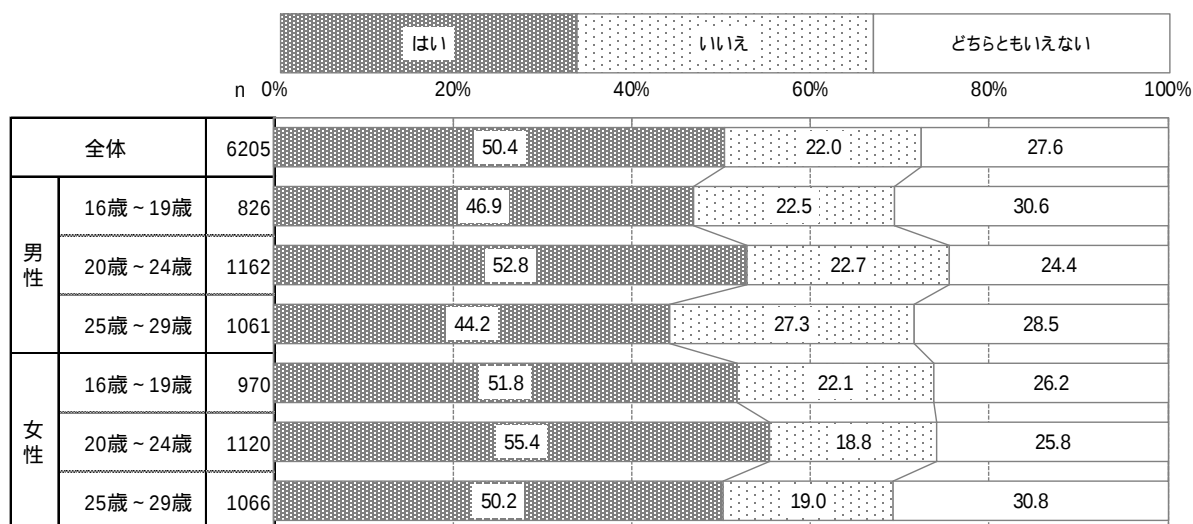
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【就職先を選ぶ参考になった】

キャリア教育・職業教育の効果【就職先を選ぶ参考になった】について全体で最も高いのは、「はい」(50.4%)。次いで「どちらともいえない」(27.6%)と続く。

性年齢区分別でみると、「いいえ」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(27.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 6 9



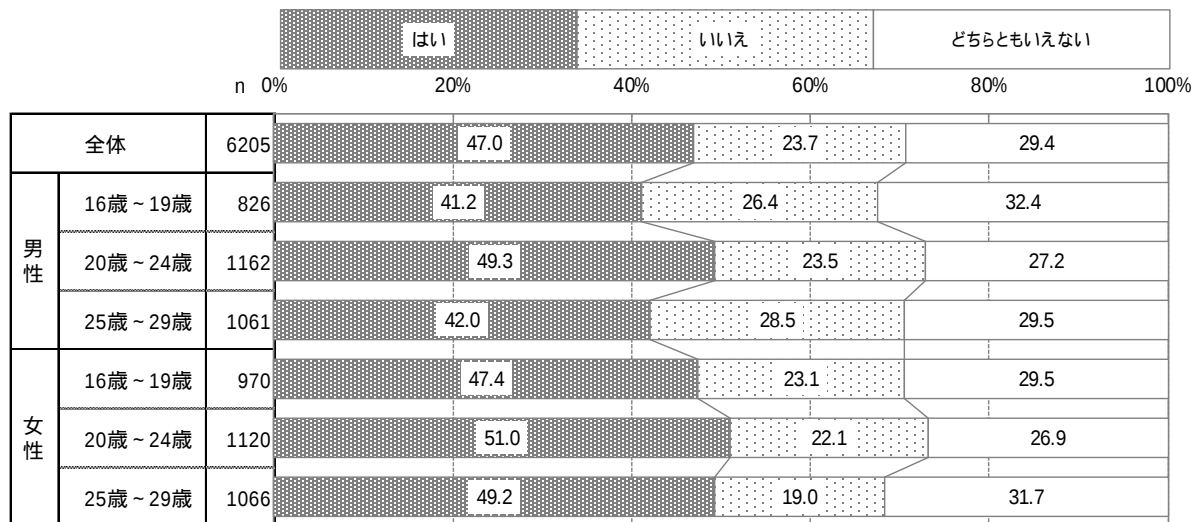
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【自分の決断の参考になった】

キャリア教育・職業教育の効果【自分の決断の参考になった】について全体で最も高いのは、「はい」(47.0%)。次いで「どちらともいえない」(29.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「いいえ」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(28.5%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 170



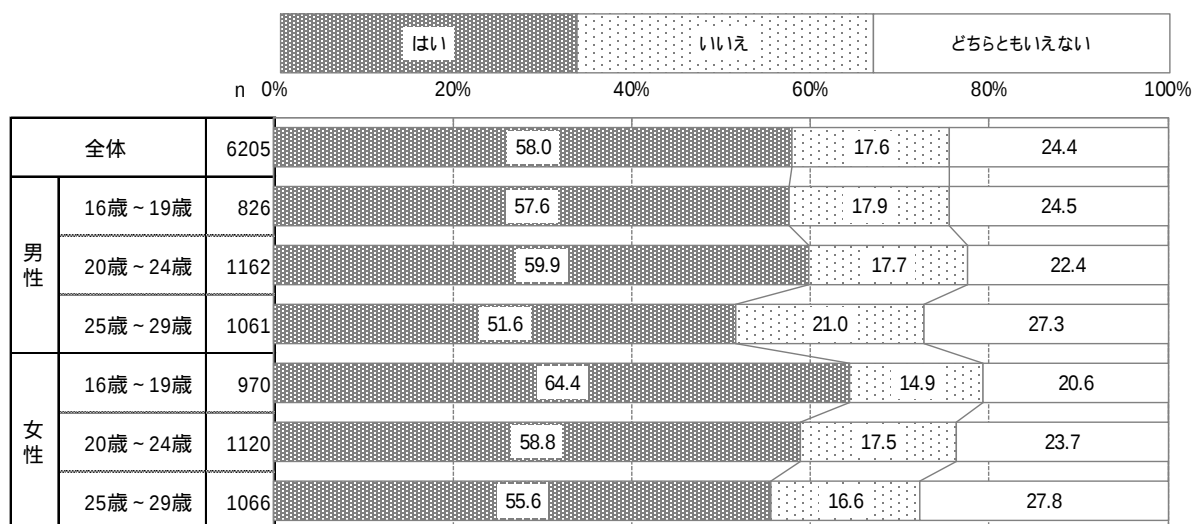
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【自分の考え方が広がった】

キャリア教育・職業教育の効果【自分の考え方が広がった】について全体で最も高いのは、「はい」(58.0%)。次いで「どちらともいえない」(24.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「はい」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(64.4%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 171



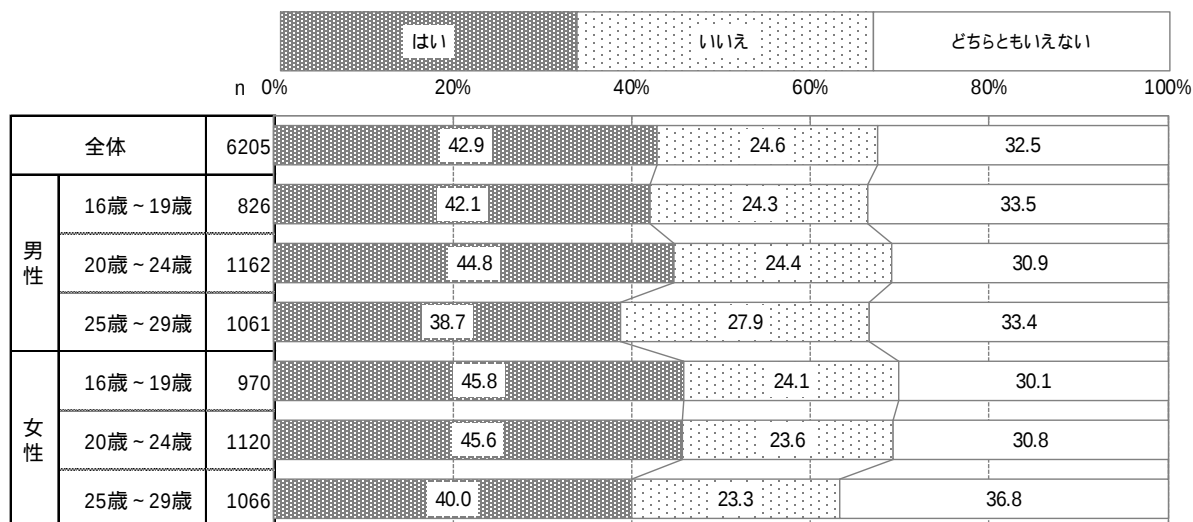
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【抱いていたイメージが具体的になった】

キャリア教育・職業教育の効果【抱いていたイメージが具体的になった】について全体で最も高いのは、「はい」(42.9%)。次いで「どちらともいえない」(32.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「どちらともいえない」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(36.8%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 7 2



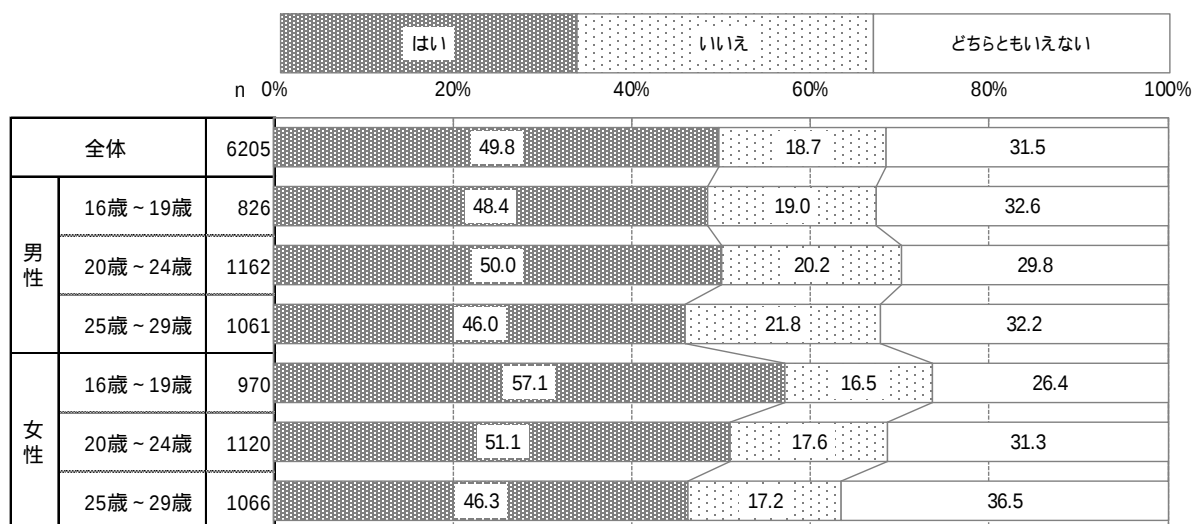
Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

【社会で必要とされるスキル（能力）・知識がわかった】

キャリア教育・職業教育の効果【社会で必要とされるスキル（能力）・知識がわかった】について全体で最も高いのは、「はい」（49.8%）。次いで「どちらともいえない」（31.5%）と続く。

性年齢区分別でみると、「はい」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(57.1%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 7 3



Q19 でいずれかのキャリア教育・職業教育を受けた経験がある者のみ回答。

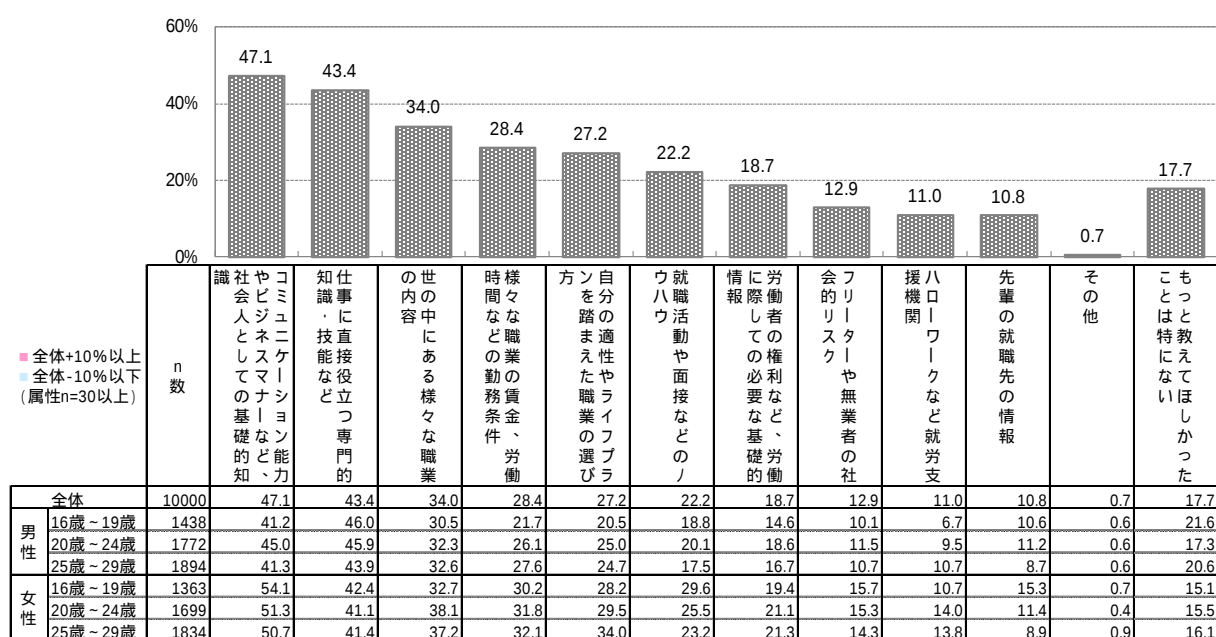
(3) 就労に関して教わりたかったこと

Q21. 就労に関して、学生時代（小学校、中学校、高等学校、大学等に在学したすべての学校の期間）に、もっと教えてほしかったことを教えてください。[MA]

就労について教わりたかったことについて全体で最も高いのは、「コミュニケーション能力やビジネスマナーなど、社会人としての基礎的知識」(47.1%)。次いで「仕事に直接役立つ専門的知識・技能など」(43.4%)、「世の中にある様々な職業の内容」(34.0%)と続く。

性年齢区分別でみると、「就職活動や面接などのノウハウ」及び「先輩の就職先の情報」の回答は、「女性 16 歳～19 歳」に占める割合(それぞれ 29.6%、15.3%)、「自分の適性やライフプランを踏まえた職業の選び方」の回答は、「女性 25 歳～29 歳」に占める割合(34.0%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 174



6 働き方の実態、就業、無業の理由

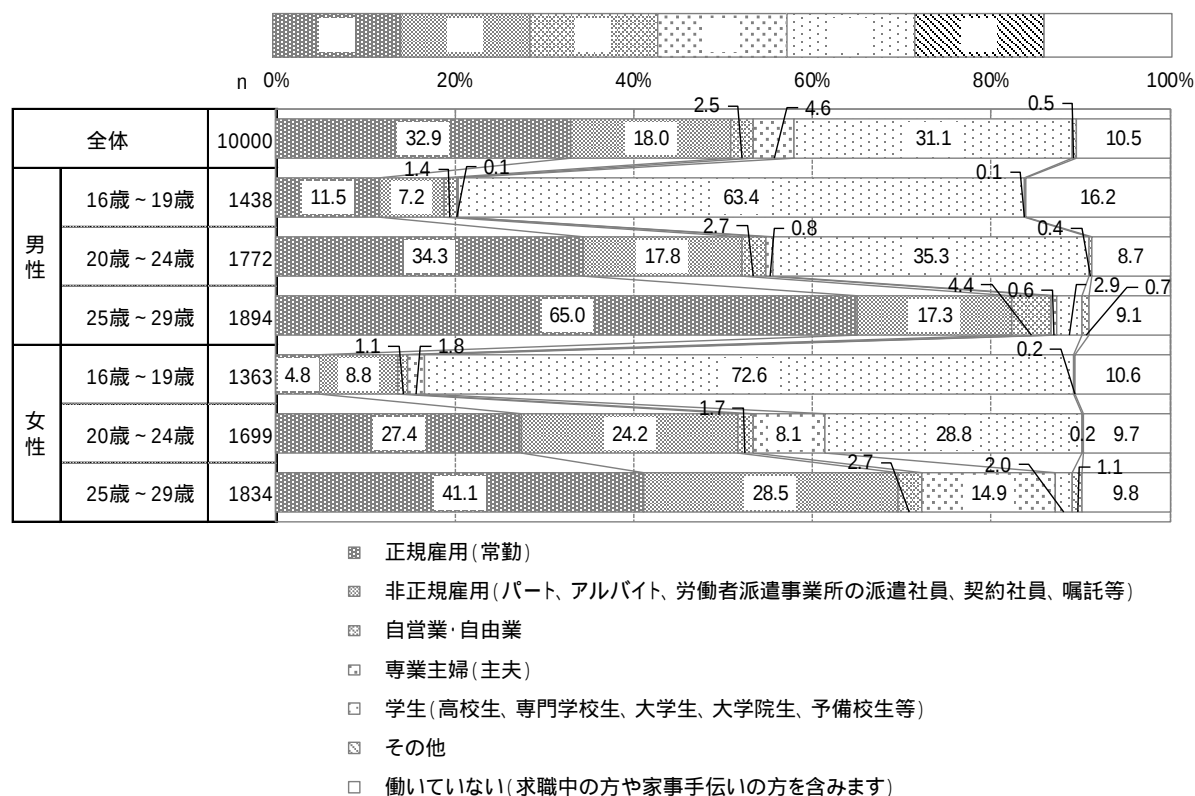
(1) 現在の雇用形態

Q22. あなたは現在（最近1週間）主にどのような働き方をしていますか。[SA]

現在の雇用形態について全体で最も高いのは、「正規雇用（常勤）」(32.9%)。次いで「学生（高校生、専門学校生、大学生、大学院生、予備校生等）」(31.1%)、「非正規雇用（パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等）」(18.0%)と続く。

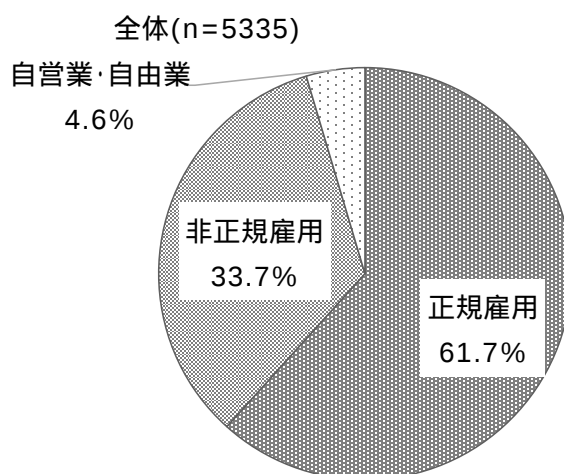
性年齢区分別でみると、「働いていない(求職中の方や家事手伝いの方を含みます)」の回答は「男性 16 歳～19 歳」に占める割合(16.2%)、「正規雇用（常勤）」及び「自営業・自由業」の回答は「男性 25 歳～29 歳」に占める割合(それぞれ 65.0%、4.4%)、「学生（高校生、専門学校生、大学生、大学院生、予備校生等）」の回答は「女性 16 歳～19 歳」に占める割合(72.6%)、「非正規雇用（パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等）」及び「専業主婦（主夫）」の回答は「女性 25 歳～29 歳」に占める割合(それぞれ 28.5%、14.9%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 175



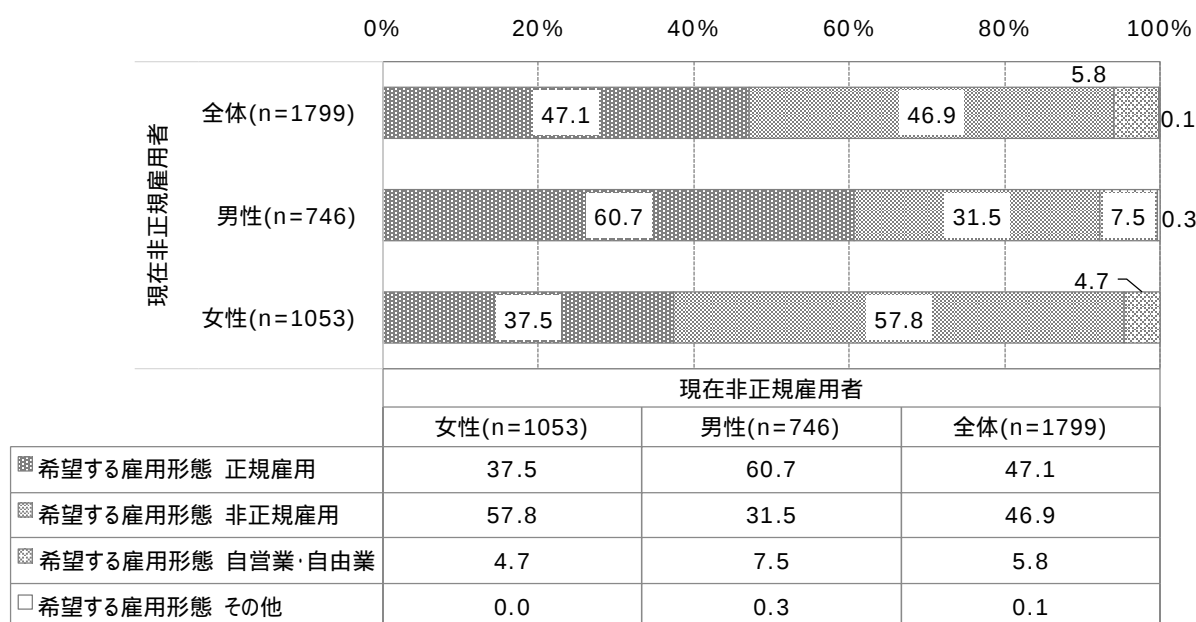
Q22.の質問のうち、就業者の雇用形態割合は、「正規雇用」(61.7%)が最も高く、次いで「非正規雇用」(33.7%)、「自営業・自由業」(4.6%)と続く。

図 1 7 6



現在非正規雇用者(Q22)の希望雇用形態(Q3)を性別(SQ1)で見ると、男性の「希望する雇用形態 正規雇用」(60.7%)が最も高く、次いで女性の「希望する雇用形態 非正規雇用」(57.8%)であった。

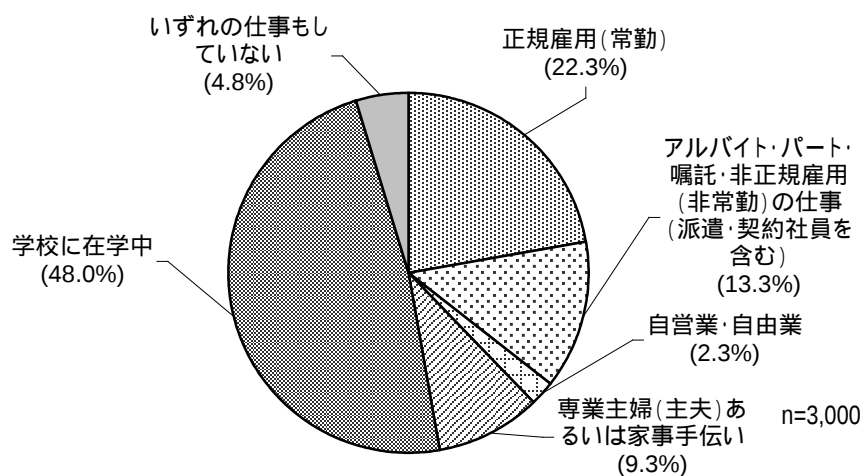
図 1 7 7



<平成 23 年度調査結果>

Q あなたの現在の職業について教えてください。その職業は正規雇用（常勤）ですか。（1 つ選択）

図 1 7 8



(2) 現在の職業について理由

Q23. 前問で、「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」と回答した方にお伺いします。

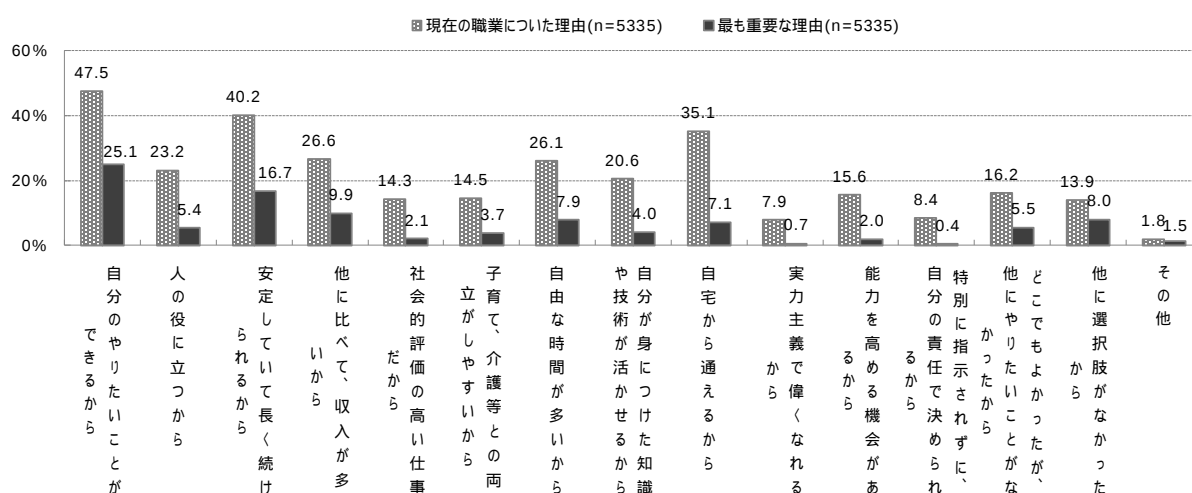
あなたが、現在の職業について理由は何ですか。[MA]

そのうち、最も重要な理由は何ですか。[SA]

現在の職業について理由（複数選択）について最も高いのは、「自分のやりたいことができるから」(47.5%)。次いで「安定していて長く続けられるから」(40.2%)、「自宅から通えるから」(35.1%)と続く。

最も重要な理由について最も高いのは、「自分のやりたいことができるから」(25.1%)。次いで「安定していて長く続けられるから」(16.7%)、「他に比べて、収入が多いから」(9.9%)と続く。

図179

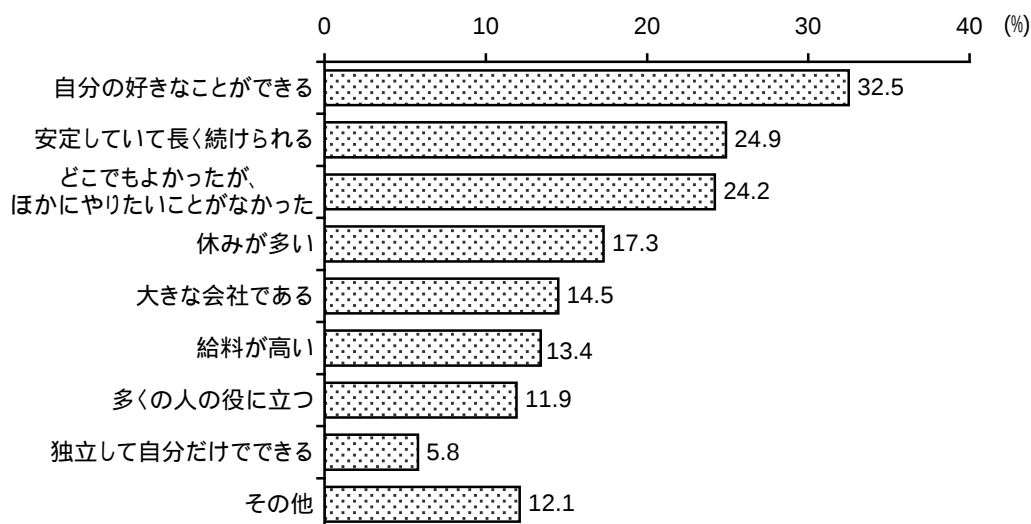


Q22で「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」を選択した者のみ回答。

<平成23年度調査結果>

Q あなたが、現在の職業について理由は何ですか。（複数選択可）

図180

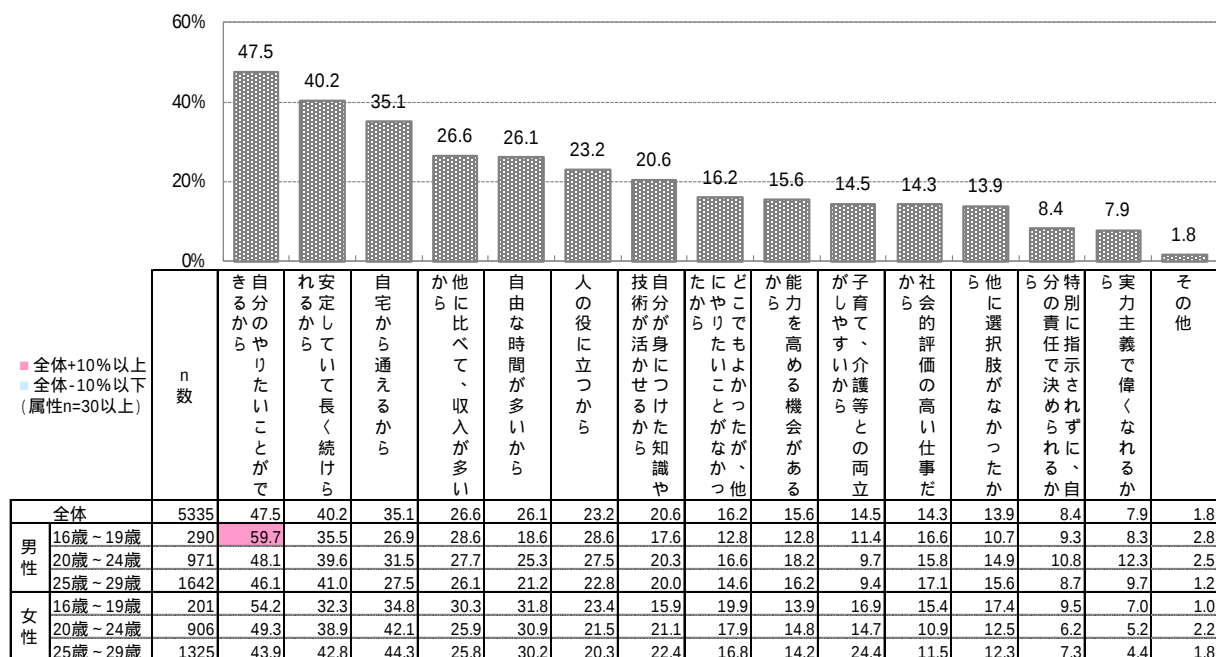


n=1,137

【現在の職業について理由（複数回答）】

現在の職業について理由（複数選択）を性年齢区分別でみると、「子育て、介護等との両立がしやすいから」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(24.4%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 8 1

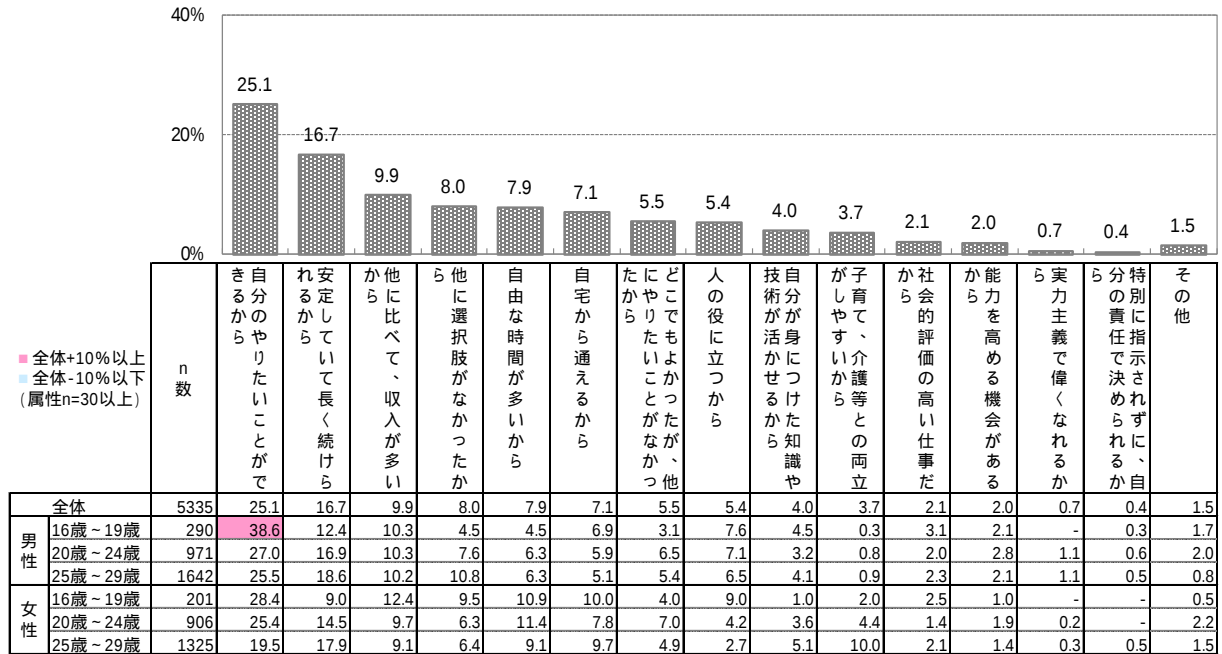


Q22 で「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」を選択した者のみ回答。

【最も重要な理由】

最も重要な理由を性年齢区別でみると、「自分のやりたいことができるから」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(38.6%)、「子育て、介護等との両立がしやすいから」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(10.0%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 8 2



Q22 で「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」を選択した者のみ回答。

(3) 現在働いていない理由

Q24. 前問で、「働いていない(求職中の方や家事手伝いの方を含みます)」と回答した方にお伺いします。

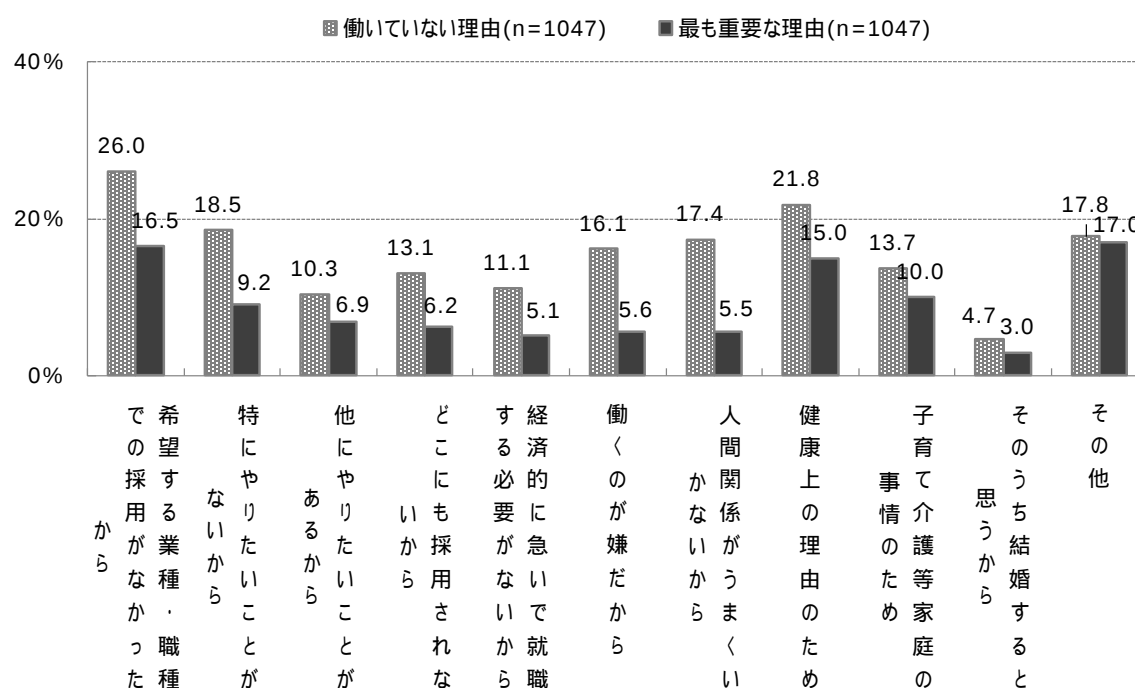
あなたが、現在、働いていない理由は何ですか。[MA]

そのうち、最も重要な理由は何ですか。[SA]

現在働いていない理由(複数選択)について最も高いのは、「希望する業種・職種での採用がなかったから」(26.0%)。次いで「健康上の理由のため」(21.8%)、「特にやりたいことがないから」(18.5%)と続く。

最も重要な理由について最も高いのは、「希望する業種・職種での採用がなかったから」(16.5%)。次いで「健康上の理由のため」(15.0%)、「子育て介護等家庭の事情のため」(10.0%)と続く。

図183

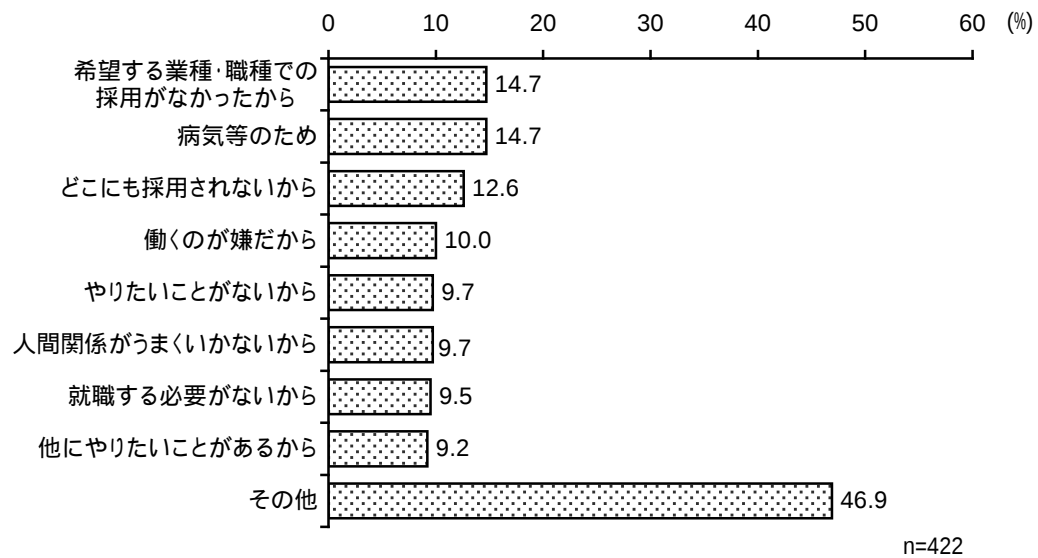


Q22で「働いていない(求職中の方や家事手伝いの方を含みます)」を選択した者のみ回答。

<平成 23 年度調査結果>

Q あなたが、現在働いていない理由は何ですか。(複数選択可)

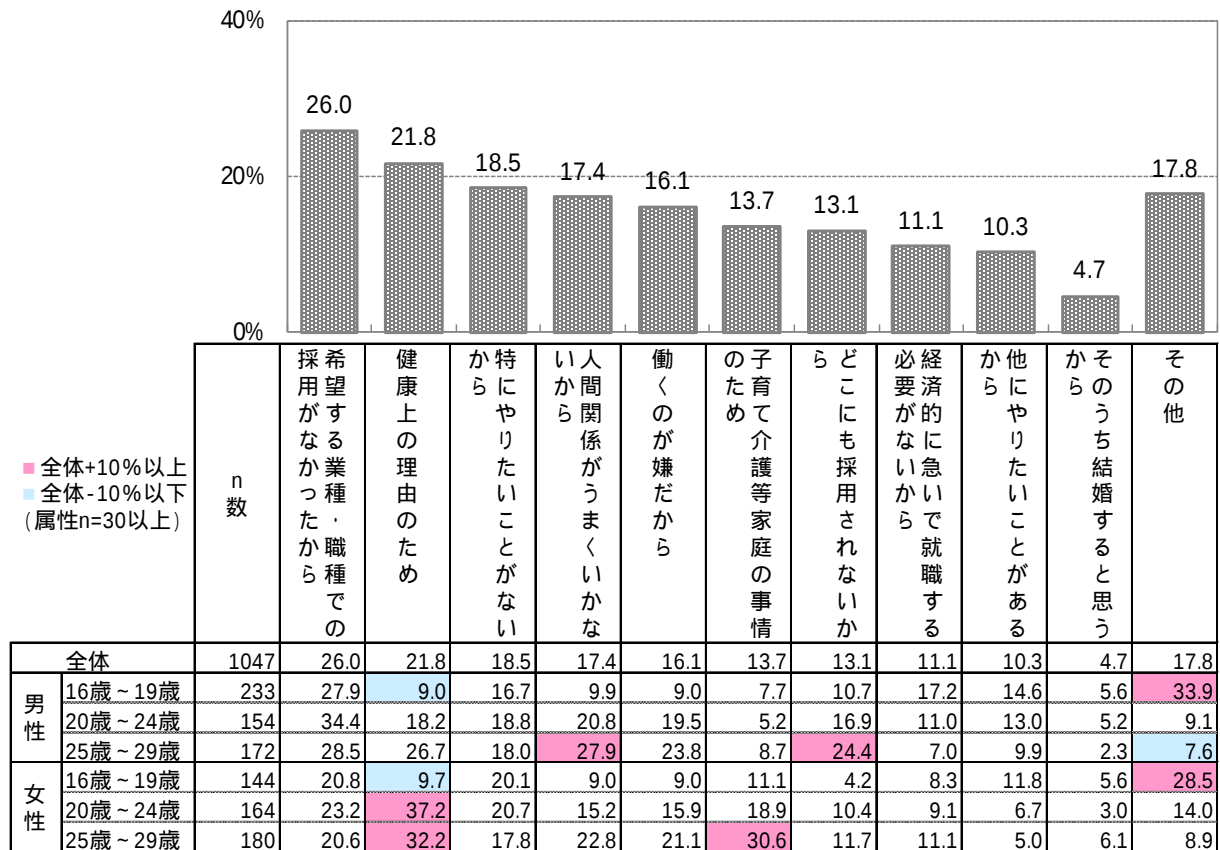
図 1 8 4



【働いていない理由（複数回答）】

現在働いていない理由（複数選択）を性年齢区分別でみると、「どこにも採用されないから」の回答は“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(24.4%)、「子育て介護等家庭の事情のため」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(30.6%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 8 5

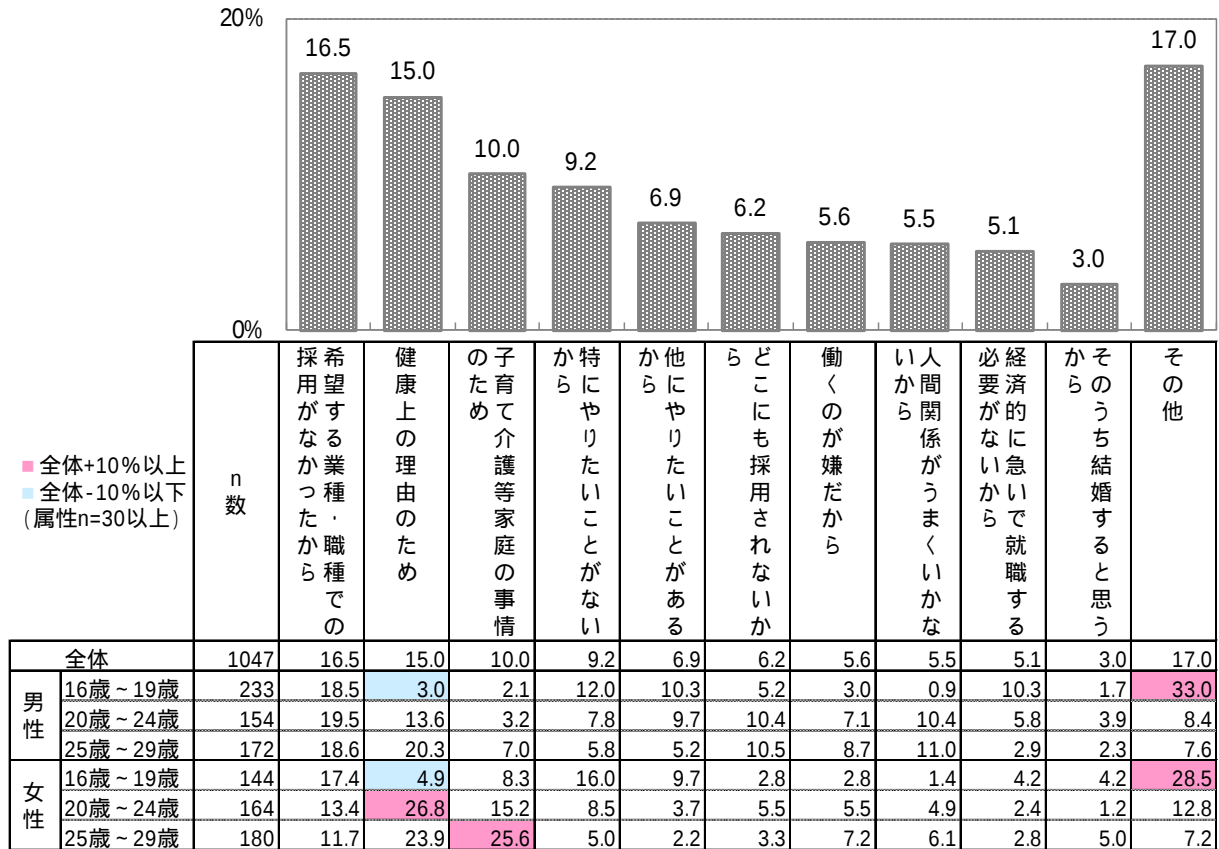


Q22 で「働いていない（求職中の方や家事手伝いの方を含みます）」を選択した者のみ回答。

【最も重要な理由】

最も重要な理由を性年齢区分別でみると、「経済的に急いで就職する必要があるから」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(10.3%)、「特にやりたいことがないから」の回答は“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(16.0%)がそれぞれ高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。また、「子育て介護等家庭の事情のため」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(25.6%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 8 6



Q22 で「働いていない（求職中の方や家事手伝いの方を含みます）」を選択した者のみ回答。

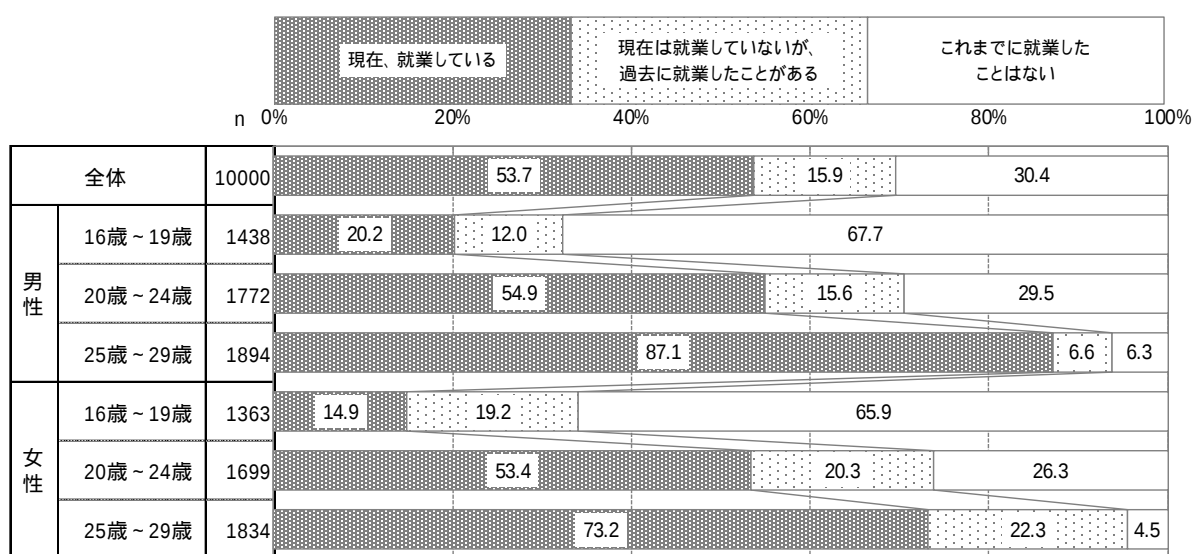
(4) 就業経験

Q25. あなたの就業経験（パート、アルバイト等を含む。ただし、在学中のアルバイト経験を除く）について教えてください。[SA]

就業経験について全体で最も高いのは、「現在、就業している」(53.7%)。次いで「これまでに就業したことはない」(30.4%)、「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」(15.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「現在、就業している」の回答は“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(87.1%)、「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(22.3%)、「これまでに就業したことはない」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(67.7%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められる。

図 1 8 7



Q22 で「専業主婦（主夫）」「学生（高校生、専門学校生、大学生、大学院生、予備校生等）」「その他」「働いていない（求職中の方や家事手伝いの方を含みます）」を選択した者のみ回答。

Q22 で現在「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」を「現在、就業している」に加算。

(5) 初職の雇用形態

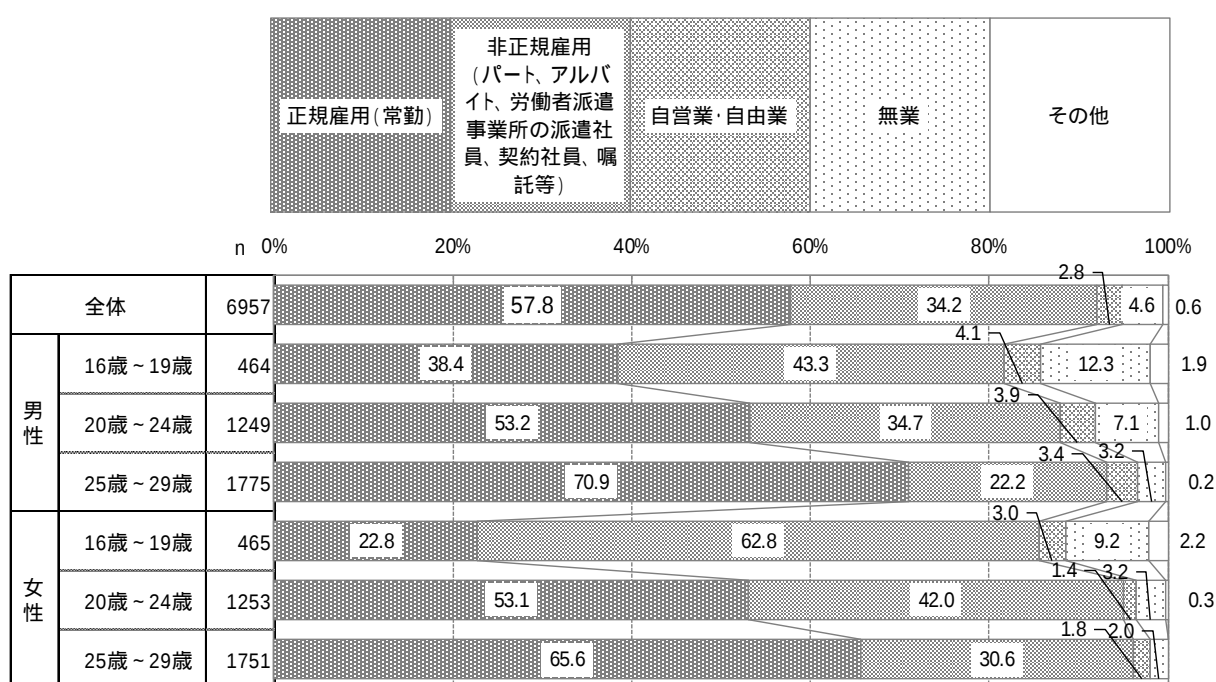
Q26. 就業経験のある方にお伺いします。

学校等を卒業または中途退学した直後の、就業の雇用形態等について教えてください。[SA]

初職の雇用形態について全体で最も高いのは、「正規雇用（常勤）」(57.8%)。次いで「非正規雇用（パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等）」(34.2%)、「無業」（4.6%）と続く。

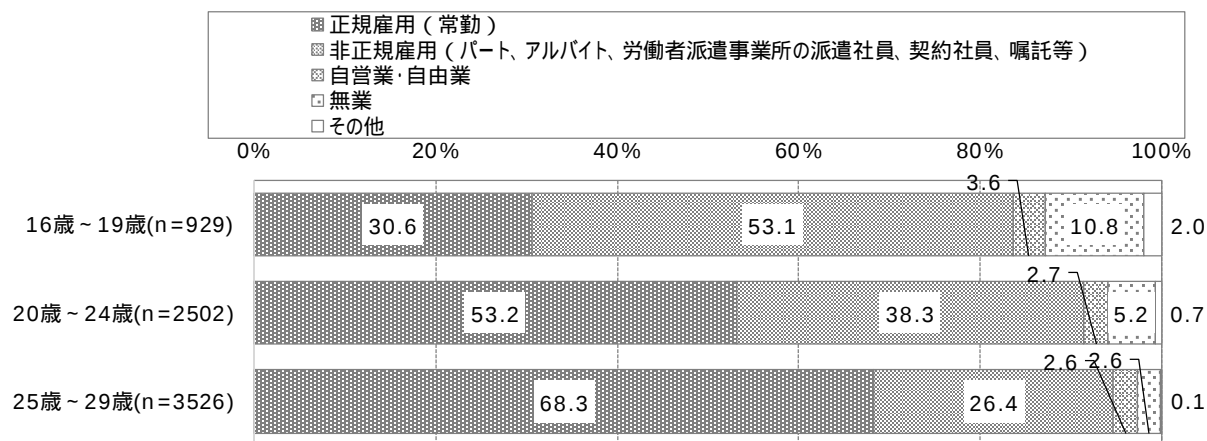
性年齢区分別でみると、男女共に“25 歳～29 歳”は「正規雇用（常勤）」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。「非正規雇用（パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託等）」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(62.8%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 8 8



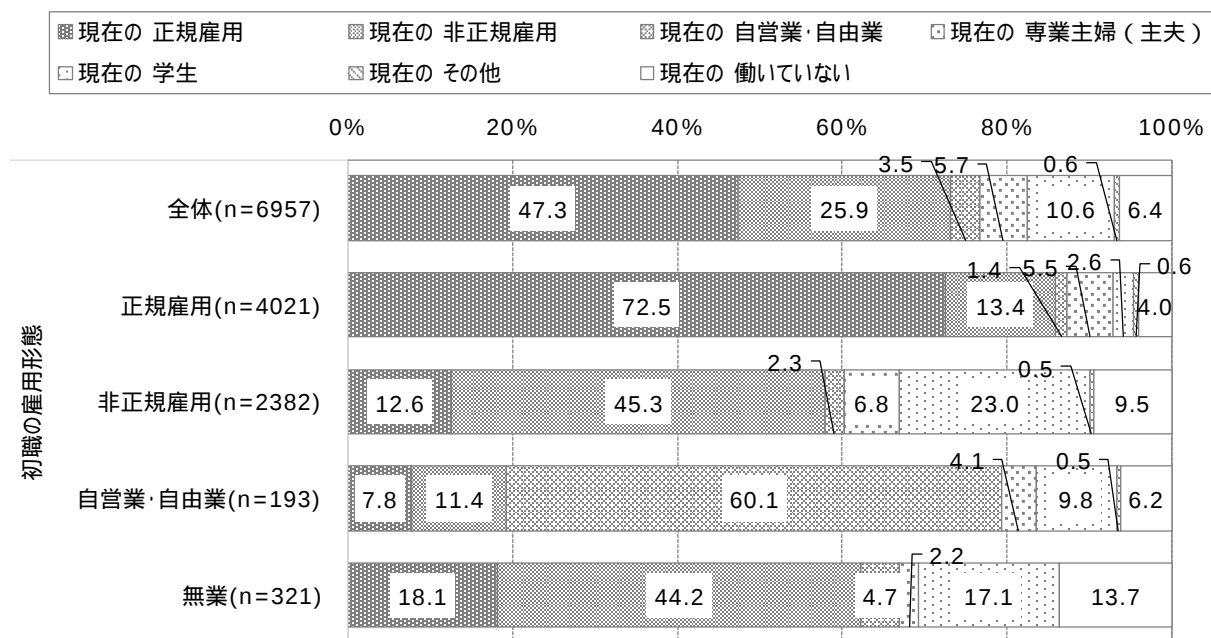
Q22 で「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」、または Q25 で「現在、就業している」「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」を選択した者のみ回答。

図 1 8 9



初職の雇用形態(Q26)ごとに現在の雇用形態をみると、初職で「正規雇用」は、現在「正規雇用」(72.5%)が最も高く、次いで初職で「自営業・自由業」は、「現在「自営業・自由業」(60.1%)、初職で「非正規雇用」は、現在「非正規雇用」(45.3%)であった。

図 1 9 0



(6) 初職の就業時期

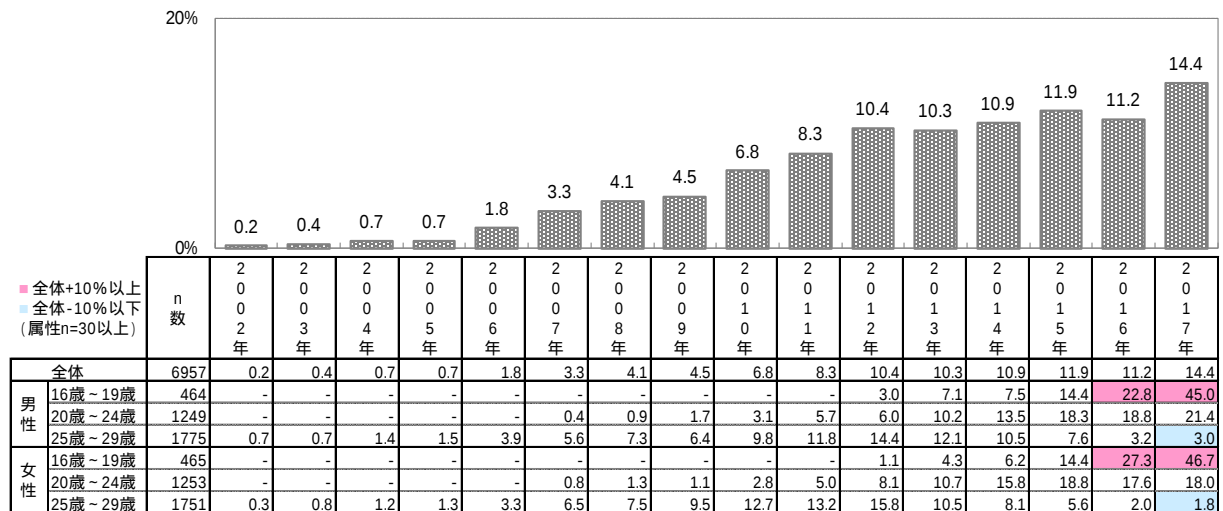
Q27. 就業経験のある方にお伺いします。

学校等を卒業または中途退学した後、最初の就業の時期について教えてください。[SA]

初職の就業時期について全体で最も高いのは、「2017 年」(14.4%)。次いで「2015 年」(11.9%)、「2016 年」(11.2%)、「2014 年」(10.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、男女共に「16 歳～19 歳」は「2017 年」の割合が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 9 1



Q22 で「正規雇用 (常勤)」「非正規雇用」「自営業・自由業」、または Q25 で「現在、就業している」「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」を選択した者のみ回答。

(7) 初職の就業のきっかけ

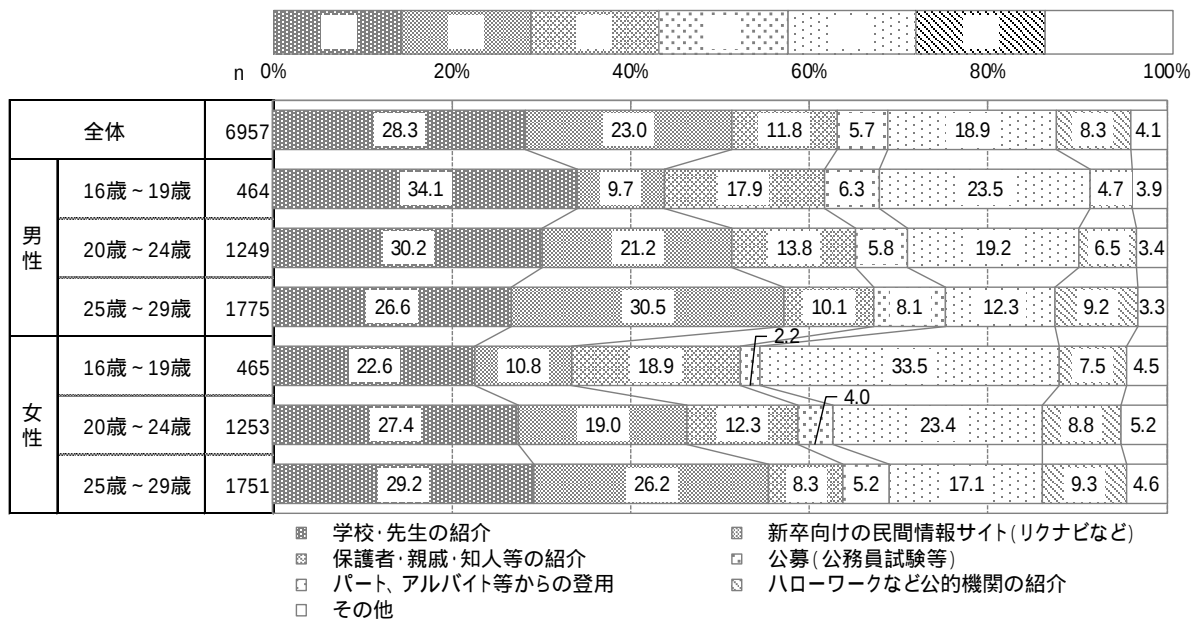
Q28. 就業経験のある方にお伺いします。

学校等を卒業または中途退学した後、最初の就業のきっかけについて教えてください。[SA]

初職の就業のきっかけについて全体で最も高いのは、「学校・先生の紹介」(28.3%)。次いで「新卒向けの民間情報サイト(リクナビなど)」(23.0%)、「パート、アルバイト等からの登用」(18.9%)と続く。

性年齢区分別でみると、「学校・先生の紹介」の回答は「男性 16 歳～19 歳」に占める割合(34.1%)、「保護者・親戚・知人等の紹介」の回答は、「男性 16 歳～19 歳」及び「女性 16 歳～19 歳」に占める割合(それぞれ 17.9%、18.9%)がそれぞれ高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。また、「新卒向けの民間情報サイト(リクナビなど)」の回答は「男性 25 歳～29 歳」に占める割合(30.5%)、「パート、アルバイト等からの登用」の回答は「女性 16 歳～19 歳」に占める割合(33.5%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 9 2



Q22 で「正規雇用(常勤)」「非正規雇用」「自営業・自由業」、または Q25 で「現在、就業している」「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」を選択した者のみ回答。

(8) 初職の雇用形態の希望度

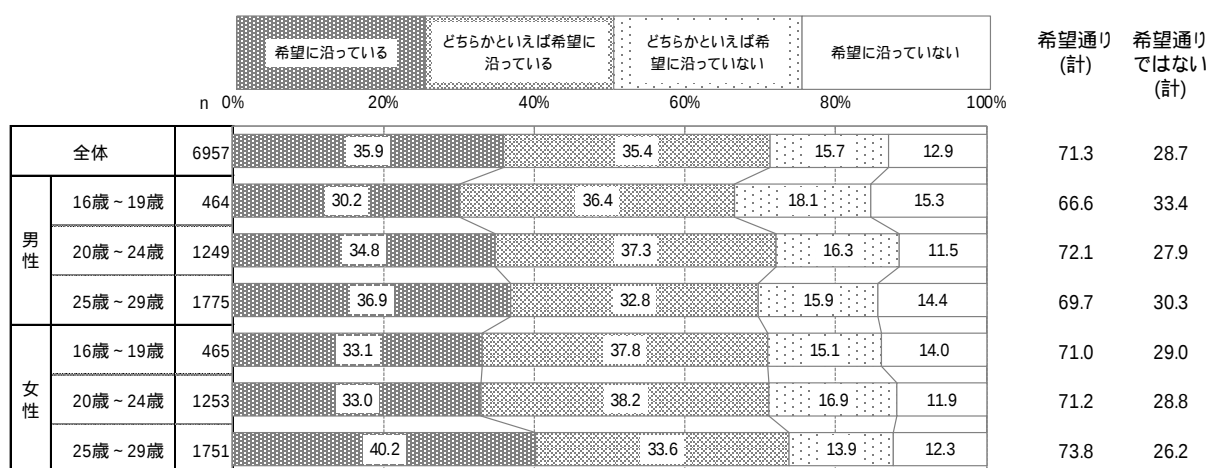
Q29. 就業経験のある方にお伺いします。

学校等を卒業または中途退学した後、最初の就業は、自分の希望に沿った雇用形態等（正規雇用、非正規雇用等）ですか。[SA]

初職の雇用形態の希望度について全体で最も高いのは、「希望に沿っている」(35.9%)。次いで「どちらかといえば希望に沿っている」(35.4%)と続く。

性年齢区分別でみると、「希望に沿っている」の回答は、“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(40.2%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 9 3



Q22 で「正規雇用（常勤）」「非正規雇用」「自営業・自由業」、または Q25 で「現在、就業している」「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」を選択した者のみ回答。

(9) 初職の就業の継続状況

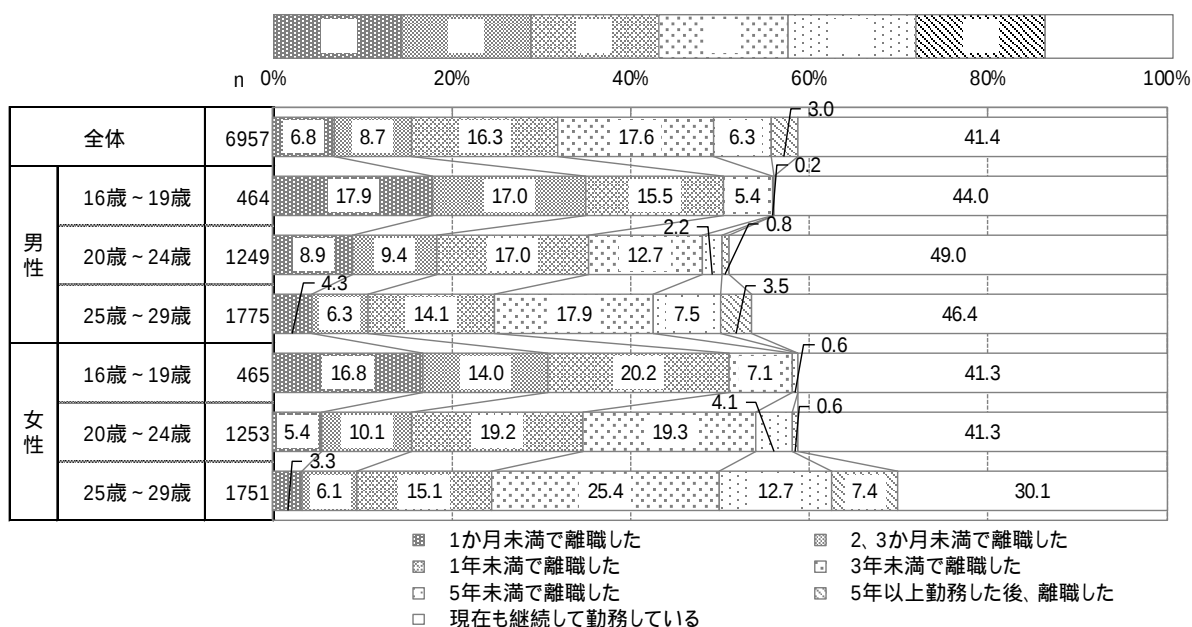
Q30. 就業経験のある方にお伺いします。

学校等を卒業または中途退学した後、最初の就業先での勤務の継続状況について教えてください。[SA]

初職の就業の継続状況について全体で最も高いのは、「現在も継続して勤務している」(41.4%)。次いで「3年未満で離職した」(17.6%)、「1年未満で離職した」(16.3%)、「2、3か月未満で離職した」(8.7%)と続く。

性年齢区分別でみると、「1か月未満で離職した」及び「2、3か月未満で離職した」の回答は、男女共に「16歳～19歳」に占める割合、「5年未満で離職した」の回答は「男性25歳～29歳」に占める割合がそれぞれ高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。また、「3年未満で離職した」及び「5年未満で離職した」の回答は、「女性25歳～29歳」に占める割合(それぞれ25.4%、12.7%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

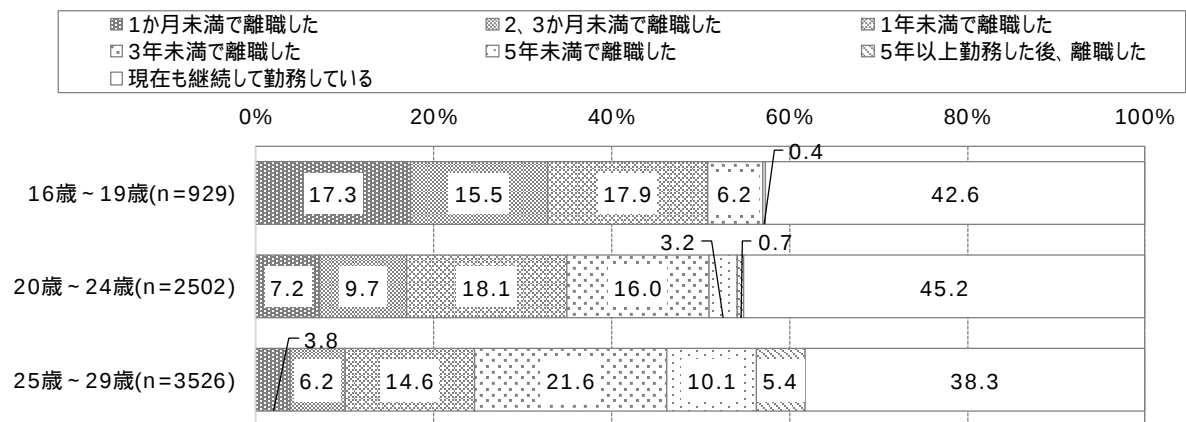
図194



Q22で「正規雇用(常勤)」「非正規雇用」「自営業・自由業」、またはQ25で「現在、就業している」「現在は就業していないが、過去に就業したことがある」を選択した者のみ回答。

Q30.の質問に対し、年齢階層別にみると、すべての年齢階層で「現在も継続して勤務している」者の割合が約4割であった。「16歳～19歳」では、「1か月未満で離職した」(17.3%)、「2、3か月未満で離職した」(15.5%)が他の年齢階層よりも高い。

図195



(1 0) 初職の就業先の離職理由

Q31. 前問で、「最初の就業先を離職した」と回答した方にお伺いします。

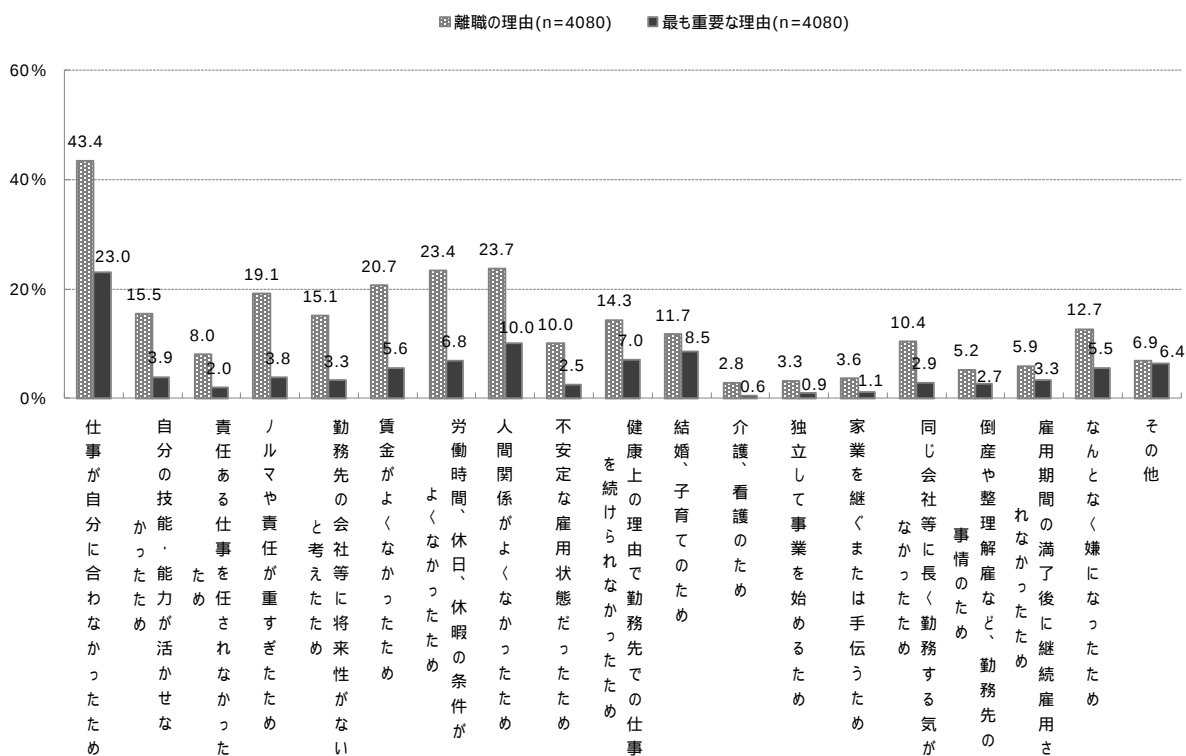
離職の理由について教えてください。[MA]

そのうち、最も重要な理由は何ですか。[SA]

初職の就業先の離職理由(複数選択)について最も高いのは、「仕事が自分に合わなかったため」(43.4%)。次いで「人間関係がよくなかったため」(23.7%)、「労働時間、休日、休暇の条件がよくなかったため」(23.4%)と続く。

最も重要な理由について最も高いのは、「仕事が自分に合わなかったため」(23.0%)。次いで「人間関係がよくなかったため」(10.0%)、「結婚、子育てのため」(8.5%)と続く。

図 1 9 6

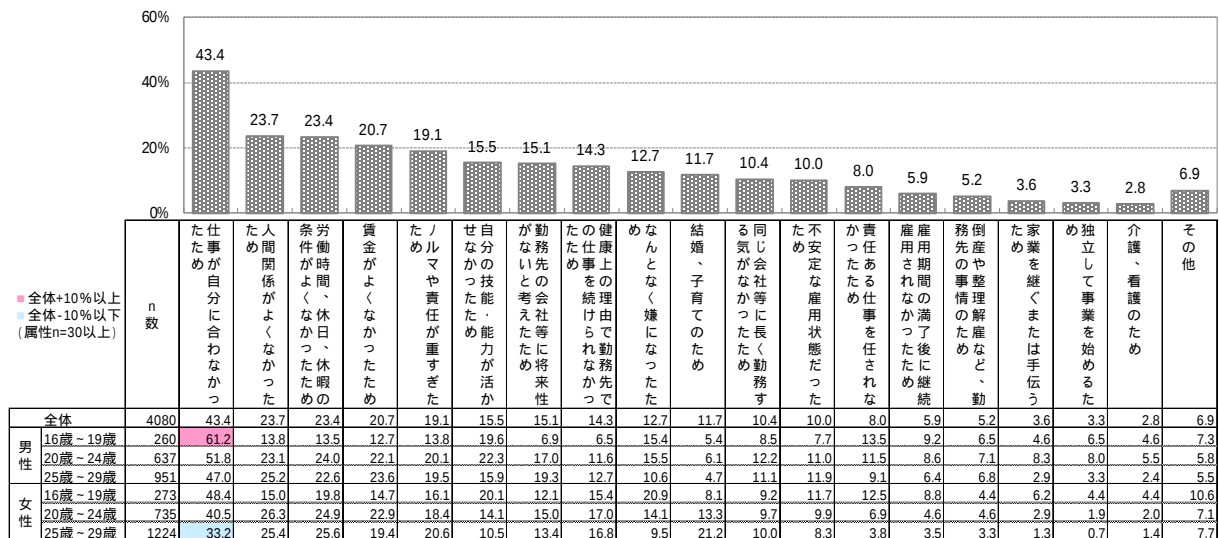


Q30 で最初の就職先を離職したと回答した者のみ回答。

【離職の理由（複数回答）】

初職の就業先の離職理由(複数選択)を性年齢区分でみると、「仕事が自分に合わなかったため」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(61.2%)、「結婚、子育てのため」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(21.2%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 197

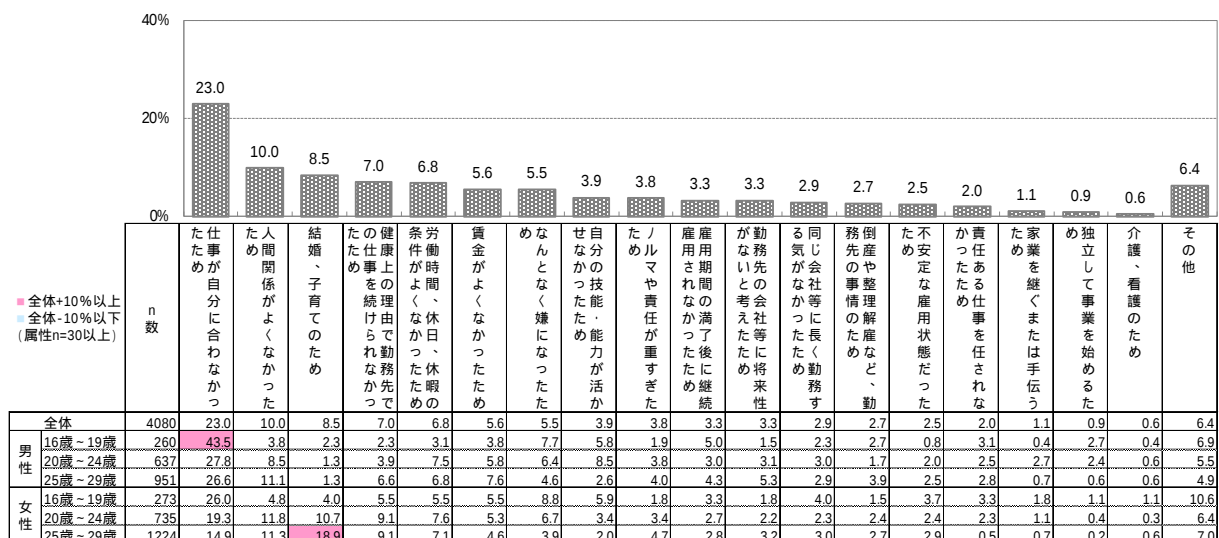


Q30 で最初の就職先を離職したと回答した者のみ回答。

【最も重要な理由】

最も重要な理由を性年齢区分でみると、「仕事が自分に合わなかったため」の回答は“男性 16 歳～19 歳”に占める割合(43.5%)、「勤務先の会社等に将来性がないと考えたため」の回答は“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(5.3%)、「結婚、子育てのため」の回答は“女性 25 歳～29 歳”に占める割合(18.9%)がそれぞれ最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 198



Q30 で最初の就職先を離職したと回答した者のみ回答。

7 現在の生活水準意識

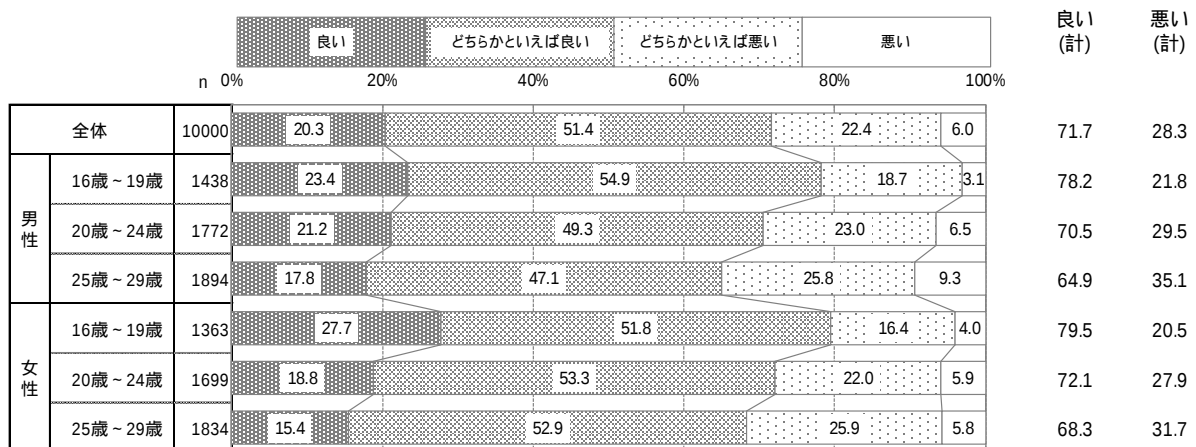
(1) 現在の暮らし向き

Q32. あなたの現在の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べて、どれに当たると思いますか。あなたの実感をお答えください。[SA]

現在の暮らし向きについて全体で最も高いのは、「どちらかといえば良い」(51.4%)。次いで「どちらかといえば悪い」(22.4%)、「良い」(20.3%)と続く。

性年齢区分別でみると、「良い」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(27.7%)が最も高い。一方、「悪い」の回答は、“男性 25 歳～29 歳”に占める割合(9.3%)が最も高く、他の性別・年齢区分と比較した結果、有意差が認められた。

図 1 9 9



(2) 現在の生活充実度

Q33. あなたは、今の生活が充実していると思いますか。あなたの実感をお答えください。[SA]

現在の生活充実度について全体で最も高いのは、「どちらかといえば充実している」(48.2%)。次いで「充実している」(23.5%)と続く。

性年齢区分別でみると、「充実している」の回答は、“女性 16 歳～19 歳”に占める割合(32.6%)が最も高い。一方、“男性 25 歳～29 歳”は「充実していない(計)」(36.2%)が高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

図 2 0 0

